SoftBank X01NK 取扱説明書

第 1 版

適合宣言

CE 434 NOKIA CORPORATION は、その責任において、本製品「RM-89」が Council Directive 1999/5/EC の規定に準拠していることをここに宣言します。

適合宣言書につきましては、こちらをご参照ください。

http://www.nokia.com/phones/declaration_of_conformity/

交差した線が引いてある車輪付きのごみ箱マークは、欧州連合では製品の寿命が尽きたときに分別回収されることを意味しています。これは本製品だけでなく、このマークが付いているどのアクセサリ製品にも適用されます。これらの製品を自治体の無分別廃棄物として廃棄しないでください。

Nokia、Nokia Connecting People、Pop-Port、Eseries、E61 は、Nokia Corporation の登録商標または商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。

Nokia tune は Nokia Corporation の商標です。

symbian 本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています (Symbian Software Ltd © 1998-2004)。Symbian および Symbian OS は、Symbian Ltd の商標です。

本機は米国特許 No 5818437 を取得しており、また、その他の特許を出願中です。T9 テキスト入力ソフトウェアの著作権 © は Tegic Communications, Inc. が所有しています。

本機は RSA BSAFE 暗号、または RSA Security のセキュリティプロトコルソフトウェアを使用しています。

Java™ およびすべての Java ベースの商標は、Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。

本製品は、次の目的に関して、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づくライセンス許可を得ています。(i) 消費者が個人的および非営利的活動において MPEG-4 Visual Standard に準拠して情報をエンコードする場合、それに関連する個人的および非営利的使用。(ii) ライセンス許可を得たプロバイダによって提供された MPEG-4 ビデオに関連する使用。前述以外の使用のためには、黙示的なものも含め、いかなるライセンスも許諾されていません。宣伝、内部的、商業的な使用に関係する追加情報は、MPEG LA. LLC から入手できます。

<http://www.mpegla.com> を参照してください。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

Nokia は、状況のいかんを問わず、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。

本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。

Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。

使用できる製品は地域により異なります。お近くの Nokia 代理店にお問い合わせください。

輸出規制

本機には、米国および他の国の輸出関連法令の適用対象となる商品、技術、またはソフトウェアが含まれています。法令に違反する輸出は禁じられています。

目次

安全上のご注意

次のガイドラインをお読みください。ここに記載されている注意事項をお守りいただくことで、危険な状態が生じる可能性や違法行為を未然に防ぐことができます。また、本書では更に詳しい説明も記載しています。

安全を確認して電源をお入れください

携帯電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

交通安全を最優先に

ご使用になる地域のすべての法令に従ってください。運転中は、携帯電話を手に持たないでください。運転中は安全第一を心がけてください。

電波干渉

携帯電話は電波干渉に敏感で、電波干渉を受けると動作に影響が及ぶ場合があります。

病院では電源をお切りください

規則に従い、医療機器の近くでは電話機の電源をお切りください。

航空機内では電源を切ってください

規則に従い、航空機内では電話機の電源をお切りください。無線機器の使用は、機内で何らかの電波干渉を引き起こすことがあります。

給油時には電源をお切りください

ガソリンスタンドなど、燃料や化学薬品の近くでは携帯電話を使用しないでください。

爆発現場付近では携帯電話を使用しないでください

規則に従い、爆発処理が行われている現場では携帯電話を使用しないでください。

正しくご使用ください

製品に付属の取扱説明書に従い、電話機を通常の位置で使用し、不必要にアンテナ部分に触れないでください。

正規サービス

資格のあるサービススタッフ以外は、装置の取り付けや修理を行わないでください。

アクセサリと電池

指定のアクセサリや電池を使用してください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

水をかけないでください

本機は防水仕様ではありません。水気のあるところで使用しないでください。

データのバックアップ

本機に保存した重要なデータは、すべてバックアップ、またはメモを取るようにしてください。

他の機器への接続

本機を他の機器へ接続する場合、その製品に付属の取扱説明書に記載された安全上の注意をお読みください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

緊急通報

本機の電源が入っており、サービスエリア内であることを確認します。終了キーを必要なだけ押して通話中の電話を終了する、または使用中のメニューを終了し、待受画面に戻します。緊急通報の電話番号を入力し、開始キーを押します。電話がつながったら現在地を知らせて、指示があるまで電話を切らないでください。

本機について

本機は、GSM850/900/1800/1900、WCDMA2100 ネットワーク上での利用が認められています。これらのネットワークについての詳細は、ご契約されているサービスプロバイダにご確認ください。

本機を、すべての法律に従って正しくご使用ください。また、他人のプライバシーや正当な権利を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

警告：アラーム以外の本機のあらゆる機能を使うためには、電源を入れる必要があります。電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。

ネットワークサービス

本機を利用するにあたって、サービスプロバイダのサービスが必要となります。本機の機能のほとんどがネットワーク側の機能に依存しています。これらのネットワークサービスは、すべてのネットワークで利用できるとは限りません。また、ネットワークサービスをご利用になる前に、ご契約されているサービスプロバイダのサービスに加入するなどの手続きが必要になる場合があります。ご契約されているサービスプロバイダから、サービスをご利用になる際の詳細な指示や、課金についての説明が必要になる場合があります。一部のネットワークでは、ネットワークサービスの利用に制限がある場合があります。ネットワークによっては、各言語特有の文字やサービスをすべてサポートできない場合があります。

ご契約されているサービスプロバイダが、本機の一部の機能を停止、または無効にしている場合があります。その場合は、それらの機能が本機のメニューに表示されません。本機は特別な仕様に設定されている場合があります。その場合は、メニュー名やメニューの順番、アイコンなどが異なって表示される場合があります。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機は、TCP/IP プロトコルを基盤とした WAP 2.0 プロトコル（HTTP と SSL）に対応しています。本機の MMS、ブラウザ、E-mail、またはブラウザや MMS を経由したコンテンツダウンロードなどの機能には、このような技術に対応したネットワークが必要になります。

アクセサリ、電池、充電器

充電器をご使用になる前に、その型番を確認してください。本機は、AC-4、AC-3、および DC-4 充電器と、CA-44 アダプタと共に使用する場合は ACP-8、ACP-9、ACP-12、LCH-8、LCH-9、LCH-12 および AC-1 充電器に対応しています。

警告：本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

アクセサリの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。

本機やアクセサリには、小さな部品がついています。小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

はじめに

本書で使用される記号

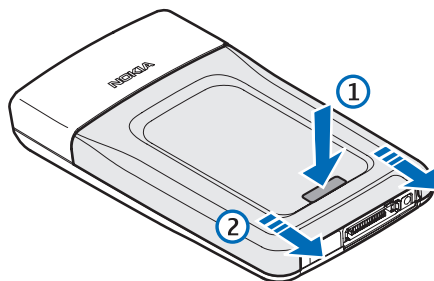
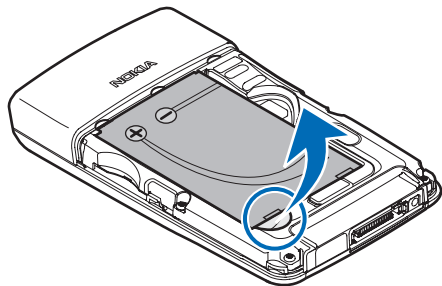
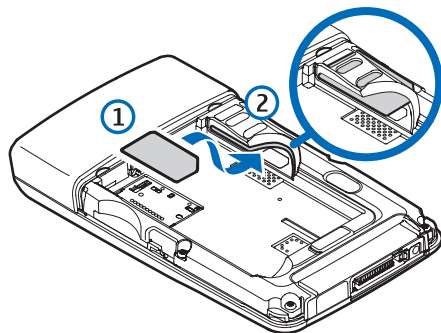
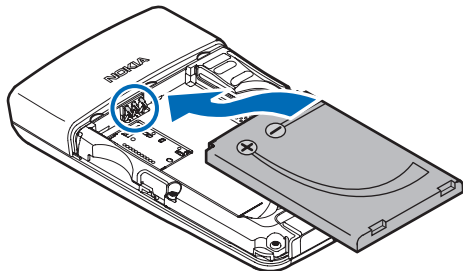
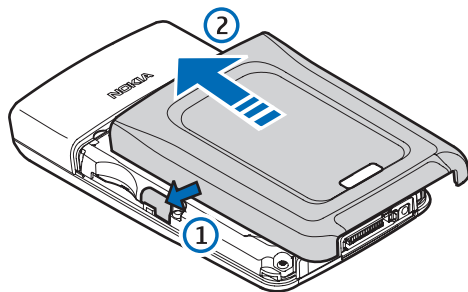
本書には次のマークが使用されています。

注意：	本機を操作する上で必要な注意点を記載しています。
重要：	セキュリティに関する記述です。
警告：	操作中などに身体に影響を及ぼす可能性が想定される場合、注意事項を記載しています。
ヒント：	操作の補足的な説明を記載しています。

注意：ご契約されているサービスプロバイダが、本機の一部の機能を停止、または無効にしている場合があります。その場合は、それらの機能が本機のメニューに表示されません。本機は、特別な仕様に設定されている場合があります。その場合は、メニュー名やメニューの順番、アイコンなどが異なって表示される場合があります。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

SIM カードと電池パックを取り付ける

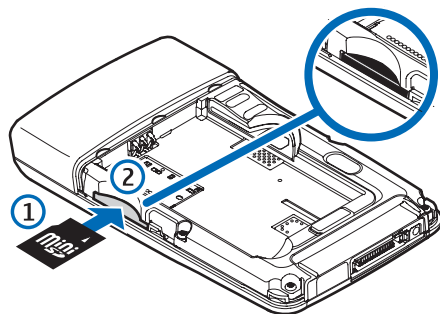
SIM カードは、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。SIM カードサービスの使用についての情報は、SIM カードベンダーにお問い合わせください。SIM カードベンダーとは、サービスプロバイダ、携帯電話事業者、またはその他の業者をさします。

1. 電池パックを取り外す際には、必ず本機の電源を切り、充電器の接続をはずしてください。本機を裏返して、バックカバーの解除ボタン（1）を押し、矢印の方向（2）にバックカバーをスライドします。

2. 電池パックが取り付けられている場合は、電池パックを矢印の方向に持ち上げて格納部から取り外します。

3. SIM カードの角が欠けたほうを本機の下方向に向け、カードの接触面が本機側になるようにして、SIM カード（1）を SIM カードスロット（2）に挿入します。

4. 電池パックを取り付けるには、電池格納部の対応するコネクタに電池パックの接触部分を合わせ、矢印の方向にカチッと音がするまで静かに押し込みます。

5. バックカバーをスロットに指し込み（1）、矢印の方向にカバーをスライドさせて固定します（2）。

SIM カードの代わりに、USIM カードが装着されている場合があります。USIM カードは、UMTS（ネットワークサービス）携帯電話でサポートされる SIM カードの拡張版です。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

メモリカードの挿入と取り外し

メモリカードがある場合には、以下の説明に従って挿入および取り外しを行ってください。

「メモリ」（P.22）を参照してください。

1. 電池のカバーを取り外します。
2. メモリカード（1）をメモリカードスロット（2）に完全に差し込み、固定させます。接触面は下になるようにしてください。

3. 電池のカバーを元に戻します。
4. メモリカードを取り外すには、電池カバーを取り外し、メモリカードを本機のほうに押してロックを解除します。その後、ゆっくりと本機からカードを引き抜きます。

重要 : カードにアクセスしているときに、操作の途中でメモリカードを取り外さないでください。操作の途中でカードを抜き取ると、本機およびメモリカードが損傷する恐れがあります。また、カードに保存されたデータが失われる可能性があります。

電池を充電する

1. 充電器をコンセントに接続します。
2. 電源コードを電池充電器のアダプタに接続します。ただし、ACP-12 をご使用の場合は、充電器プラグアダプターを接続してください。ディスプレイ上で、電池バーがスクロールし始めます。電池の残量がまったくない状態で充電すると、充電中であることを示すアイコンが表示されるまでに数分かかります。充電中も本機を使用することができます。
3. 電池が完全に充電されると、電池バーのスクロールが止まります。充電器を本機から取り外し、コンセントから外します。

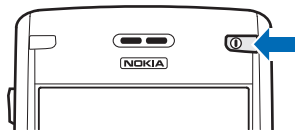
電池の残量レベルが操作には低すぎる場合、電源が自動的に切れます。

電源を入れる

1. 電源を入れるには、電源キーを押します。
2. PIN コード（USIM カードが装着されている場合は、UPIN コード）、ロックコード、あるいはセキュリティコードの入力が要求された場合は、コードを入力し、[OK] を選択します。
3. 電源を切るには、電源キーを押します。

ヒント：本機に電源を入れると、SIM カードプロバイダが認識されて、正しい SMS、MMS および GPRS 設定が自動的に構成されます。自動的に構成されない場合は、正しい設定についてサービスプロバイダに問い合わせるか、[ウィザード] アプリケーションを使用してください。

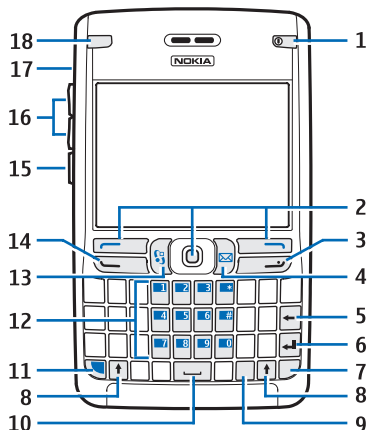
SIM カードが装着されていない場合、あるいは オフライン モードが選択されている場合は、ネットワークに依存する電話機能は使用できません。

電源キーの位置は次のとおりです。

基本設定を入力する

初めて本機に電源を入れる場合、または、電池パックを長い間取り外した後で電源を入れる場合、ご使用になる都市、時間、および日付の入力が求められます。設定は後で変更することができます。

1. リストから都市を選び [OK] を選択します。都市をブラウズするには、都市の名前を入力するか、スクロールします。新しく登録した都市のタイムゾーンが異なるとカレンダーに入力したスケジュールが変更されるので、都市は正確に選択することが重要です。

2. 時間を設定して、[OK] を選択します。
3. 日付を設定して、[OK] を選択します。

キーと各部の名称

1 — 電源キー

2 — 左ソフトキー、ジョイスティック、および右ソフトキー

3 — 終了キー

4 — E-mail キー

5 — クリアキー

6 — エンターキー

7 — 記号キー

8 — シフトキー

9 — Ctrl キー

10 — スペース／変換キー

11 — 文字キー

12 — 電話キーパッド

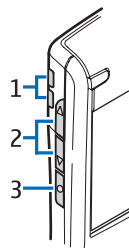
13 — メニューキー

14 — 開始キー

15 — 音声キー

16 — 音量キー

17 — スピーカー

18 — E-mail 着信ライト

1 — スピーカー

2 — 音量キー

3 — 音声キー

キーの機能

ソフトキー

ソフトキーのすぐ上に表示されているコマンドを使用するには、そのソフトキーを押します。「待受画面」（P.19）を参照してください。待受画面のショートカットを変更するには、 > [ツール] > [設定] > [電話機] > [待受画面のキー設定] の順に選択し、左ソフトキーおよび右ソフトキーのアプリケーションを選択します。

ジョイスティック

ジョイスティックを押して、編集や選択を行ったり、さまざまなアプリケーションでよく使われる機能にアクセスします。ジョイスティックを使用して左右、上下にスクロールしたり、画面上を移動することができます（たとえば、ブラウジングする場合など）。待受画面では、ジョイスティックを使ってスクロールしたりジョイスティックを押すことで、さまざまなショートカットにアクセスできます。ショートカットを変更するには、 > [ツール] > [設定] > [電話機] > [待受画面のキー設定] > [待受画面機能拡張] > [オフ] の順に選択して、[ナビゲーションキー右]、[ナビゲーションキー左]、[ナビゲーションキー下]、[ナビゲーションキー上]、および [決定キー] のショートカットを選択します。

開始キーと終了キー

電話を受けるには、開始キーを押します。待受画面では、開始キーを押すと通信履歴にアクセスできます。

応答の拒否、通話の終了および保留、アプリケーションを閉じるには、終了キーを押します。終了キーを長く押すと、データ接続（GPRS（パケットデータ接続）、回線交換）を終了します。

E-mail キー

E-mail のデフォルトの受信メールフォルダにアクセスするには、E-mail キーを押します。まだ E-mail アカウントを設定していない場合は、メールボックスガイドが開きます。E-mail キーを長く押すと、E-mail のデフォルトのエディタが開きます。メールボックスのサービスプロバイダによって機能が異なります。E-mail キーは自分で設定できます。「E-mail キーを設定する」（P.72）を参照してください。

記号キー

記号リストを表示するには、記号 を押します。

シフトキー

小文字で入力中に大文字を入力したり、大文字で入力中に小文字を入力するには、 を押します。

⇧ が画面に表示されるので、入力したいキーを押します。

大文字のみを入力するには、 を 2 回押します。ABC が画面に表示されます。小文字のみの入力に戻すには、 を 2 回押します。abc が画面に表示されます。

テキストを選択するには、 を押して、左または右にスクロールします。

文字キー

文字入力の切り替えを行う場合に使用するキーです。詳細は「文字の入力方法」（P.27）を参照してください。

Bluetooth 無線接続をオンにするには、 と Ctrl キーを同時に押します。Bluetooth 無線接続をオフにするには、 と Ctrl キーをもう一度押します。

赤外線をオンにするには、 と を同時に押します。

メニューキー

バックグラウンドでアプリケーションを実行したままにすると、電池の使用量が多くなり、電池寿命が短くなります。アプリケーションにアクセスするには、待受画面でメニューキーを押します。アプリケーションをバックグラウンドで開いたままで、アプリケーションからメニューに戻るには、メニューキーを押します。このキーを長く押すと、アクティブなアプリケーションのリストを表示して、切り替えることができます。本書では、「 を選択する」は、「メニューキーを押す」ことを示します。

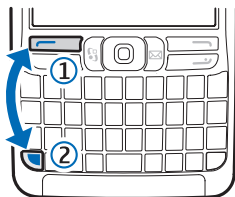
音声キー

音声キーを押すと [音声メモ] が開き、音声メモの録音が開始されます。音声コマンドを使用するには、音声キーを長く押します。「ボイスキー」（P.131）を参照してください。

キーパッドロック（キーガード）

キーパッドロックがオンのときでも、緊急電話番号として本機に登録された海外の緊急電話番号にはは電話をかけることができます。（注：日本の「110」、「119」にはかけられませんのでご注意ください。）

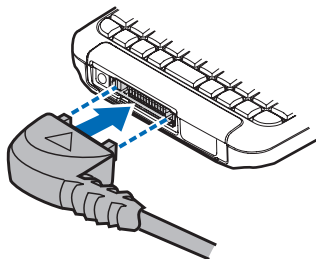
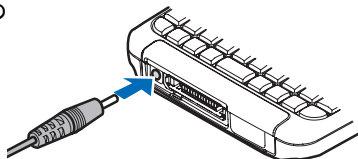
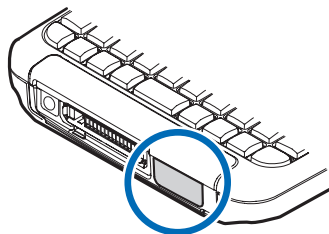
キーパッドロックは、キーを誤って押してしまうのを防ぐ場合に使用します。

待受画面でキーパッドをロックするには、左ソフトキー（1）と （2）を押します。ロックを解除するには、左ソフトキーと をもう一度押します。

ヒント： あるいは開いたアプリケーションでキーパッドをロックするには、電源キーを短く押して、**[キーガード設定]** を選択します。ロックを解除するには、左ソフトキーと を押します。

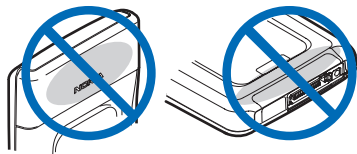
待受画面で本機をロックするには、電源キーを短く押して、**[電話機ロック]** を選択します。ロックコードを入力して、**[OK]** を選択します。ロックを解除するには、左ソフトキーを押して、自分のロックコードを入力し、**[OK]** を選択します。

コネクタ

警告： ヘッドセットを使用すると、周囲の音が聞き取りにくくなります。安全でない場所では、ヘッドセットを使用しないでください。

ヘッドセットおよびその他の部品のための Pop-Port コネクタ

電池充電器のコネクタ

赤外線ポート

アンテナ

本機には、2 つの内蔵アンテナがあります。

注意：他の無線機器の場合と同様に、電源が入っている状態でアンテナ部分に不必要に触れないでください。アンテナ部分に触れると、通話品質が低下するだけでなく、通常よりも多くの電力を消費する原因になります。本機の動作時にアンテナ領域に触れないようにすると、アンテナの性能や電池の寿命が最適な状態になります。

ディスプレイについて

変色したドット、あるいは明るいドットが画面の一部に現れたり、表示ドットの一部が失われる場合があります。これはこの種のディスプレイの特徴です。一部のディスプレイでは、ピクセルまたはドットが表示されたままになったり消えない場合があります。これは正常であり、故障ではありません。

待受画面

本機には、2 つの待受画面があります。待受画面と待受画面機能拡張です。

待受画面機能拡張

電源を入れて最初に表示される画面が、待受画面の機能拡張画面です。この画面では、ご契約の通信事業者やネットワーク名、アラームなどのいくつかのアイコン、すぐに使用できるアプリケーションなどが表示されます。たとえば、待受画面の機能拡張画面では、その日の会議などのカレンダー情報を表示できます。詳細を見るには、その情報にスクロールしてジョイスティックを押し、カレンダーを開きます。

よく使うアプリケーションを画面に登録するには、 > [ツール] > [設定] > [電話機] > [待受画面のキー設定] > [待受画面ショートカット設定] の順に選択します。ショートカット設定にスクロールして、ジョイスティックを押します。使用するアプリケーションにスクロールして、ジョイスティックを押します。

待受画面の機能拡張画面では、受信メールやメールボックスなどのメッセージングフォルダ内のメッセージを表示できます。 > [ツール] > [設定] > [電話機] > [待受画面のキー設定] の順に選択し、[待受画面メールボックス] 内のフォルダを選択します。

待受画面の基本画面を使用するには、 > [ツール] > [設定] > [電話機] > [待受画面のキー設定] > [待受画面機能拡張] > [オフ] の順に選択します。

留守番電話サービスセンター（ネットワークサービス）を呼び出すには、 を長く押します。

[サービス] を開いてウェブに接続するには、 を長く押します。

待受画面

待受画面では、ご契約の通信事業者、時刻、アラームなどのアイコンが表示されます。

待受画面では、次のショートカットを使用できます。これらのショートカットは通常、待受画面機能拡張がオンの場合には利用できません。通常のスクロール操作にはジョイスティックを使用します。

最近ダイヤルした番号を表示するには、開始キーを押します。電話をかける番号または名前にスクロールし、開始キーをもう一度押して電話をかけます。

留守番電話サービスセンター（ネットワークサービス）を呼び出すには、 を長く押します。

カレンダーを使用するには、右にスクロールします。

SMSを作成して送信するには、左にスクロールします。

電話帳を開くには、ジョイスティックを押します。

モードを変更するには、電源キーを短く押して、変更するモードにスクロールし、ジョイスティックを押してモードを切り替えます。

マナーモードにするには、 を長く押します。

[サービス] を開いてウェブに接続するには、 を長く押します。

ショートカットを変更するには、 > [ツール] > [設定] > [電話機] > [待受画面のキー設定] の順に選択します。

ショートカットの一覧は P.141 に掲載されています。ご参照ください。

ディスプレイで表示されるアイコン

本機は GSM ネットワークで使用されています。アイコンの隣にあるバーは、現在の場所でのネットワークの電波の強さを示しています。バーが高いほど、電波が強いことを示します。

3G 本機は WCDMA ネットワーク（ネットワークサービス）で使用されています。アイコンの隣にあるバーは、現在の場所でのネットワークの電波の強さを示しています。バーが高いほど、電波が強いことを示します。

電池の残量レベルを示します。バーが高いほど、電池の残量が多いことを示します。

[メール] の [受信メール] フォルダに未読のメールがあります。

@ リモートメールボックスに新しい E-mail を受信しました。

キーパッドがロックされています。

本機はロックされています。

不在着信がありました。

アラームがオンになっています。

電話やメールの着信時に音が鳴らない設定になっています。

Bluetooth 無線接続がオンになっています。

赤外線接続がオンになっています。このアイコンが点滅している場合、ほかの機器に接続しようとしているか、接続が失われています。

GPRS または EGPRS パケットデータ接続が利用できます。

GPRS または EGPRS パケットデータ接続がオンになっています。

GPRS または EGPRS パケットデータ接続が保留状態です。

3G WCDMA パケットデータ接続が利用できます。

3G WCDMA パケットデータ接続がオンになっています。

3G WCDMA パケットデータ接続が保留状態です。

無線 LAN を検索するようにセットされています。無線 LAN が利用できます。

暗号化されていないネットワークで、無線 LAN 接続がオンになっています。

暗号化されているネットワークで、無線 LAN 接続がオンになっています。

USB データケーブルで PC に接続されています。

データ通信（GSM ネットワーク回線交換）がオンになっています。

IP パススルーがオンになっています。

1 と 2 2 つの電話回線（ネットワークサービス）に加入している場合に、選択した電話回線を示します。

かかってくる電話がすべて別の番号に転送されます。

ヘッドセットが接続されています。

Bluetooth 無線接続によるヘッドセットへの接続が失われています。

ハンズフリーカーキットが接続されています。

ループセットが接続されています。

文字電話が接続されています。

同期しています。

プッシュトゥートーク通信中です。

音量調節

警告：スピーカーの使用中は、本機を耳元で使用しないでください。音量が非常に大きくなることがあります。

通話時に音量を調節するには、音量キーを押します。

スピーカー使用時に音量を調節するには、音量キーを押します。

メモリ

データを保存したりアプリケーションをインストールできる、内蔵メモリと外部メモリ（取り外し可能）という 2 つのメモリタイプがあります。

メモリの詳細

 > [オプション] > [メモリ詳細] の順に選択して、[電話機メモリ] または [メモリカード] を選択します。

 > [オプション] > [メモリ詳細] の順に選択すると、メモリの使用量や、空き容量を確認することができます。また、各データの種類が消費するメモリ量もわかります。たとえば、E-mail、テキスト文書、またはカレンダーのスケジュール登録で消費されるメモリ量を確認することができます。

ヒント：メモリを十分に確保するためには、定期的にデータを削除するか、メモリカードまたは PC にデータを転送してください。

メモリカード

本機は、mini SD（Secure Digital）カードを使用します。

本機では、互換性のある miniSD のみを使用してください。MMC（MultiMediaCards）、小型の MMC、またはフルサイズの SD カードのような他のメモリカードは、メモリカードスロットに入らず、本機と互換性がありません。互換性のないメモリカードを使用すると、本機やメモリカードが損傷する恐れがあります。またこのメモリカードに保存されているデータが失われる可能性があります。

本機は、メモリカード用に FAT16 および FAT32 ファイルシステムをサポートします。別の機器のメモリカードを使用する場合や、本機とメモリカードの互換性を保証したい場合は、本機でメモリカードをフォーマットする必要があります。メモリカードをフォーマットした場合、すべてのデータが失われます。

メモリカードをフォーマットする

メモリカードをフォーマットすると、カード内のすべてのデータが永久に失われます。メモリカードを使用する前にフォーマットが必要かどうかについては、製品お買い上げ店にお問い合わせください。メモリカードをフォーマットするには、[オプション] > [メモリカードのフォーマット] の順に選択します。フォーマットが完了したら、メモリカードの名前を入力します。

メモリカードへのバックアップと復元

内蔵メモリは定期的にメモリカードにバックアップすることを推奨します。データは、後で本機に復元できます。メモリカードのアクセス中にカードを取り外さないでください。操作の途中でカードを抜き取ると、本機およびメモリカードが損傷する恐れがあります。また、カードに保存されたデータが失われる可能性があります。内蔵メモリのデータをメモリカードにバックアップするには、 > [ツール] > [メモリ] > [オプション] > [電話機メモリバックアップ] の順に選択します。メモリカードから内蔵メモリにデータを復元するには、 > [ツール] > [メモリ] > [オプション] > [カードから復元] の順に選択します。

本機でメモリカードを使用できない場合は、メモリカードのタイプが正しくないか、本機用にフォーマットされていないか、カードのファイルシステムが壊れている可能性があります。

ヒント : メモリカードは、電池を取り外したり本機の電源をオフにしなくても、取り付け / 取り外しを行えます。

メモリカードのセキュリティ

メモリカードはパスワードで保護することで、不正なアクセスを防止できます。パスワードを設定するには、[オプション] > [パスワード設定] の順に選択します。パスワードは最大 8 文字で大文字と小文字が区別されます。パスワードは本機に保管されるため、同じ電話機でメモリカードを使用している間は、パスワードを再び入力する必要はありません。別の電話機でメモリカードを使用する場合は、パスワードの入力が必要です。すべてのメモリカードがパスワード保護をサポートするわけではありません。

メモリカードのパスワードを削除するには、[オプション] > [パスワード削除] の順に選択します。パスワードを削除すると、メモリカード内のデータは不正な使用から保護されなくなります。

機器間でデータを転送する

電話帳の内容などは、Bluetooth 無線接続あるいは赤外線を使用して、互換性のある Nokia 機器から本機に転送することができます。転送できるデータの種類は、電話機のモデルにより異なります。別の機器がデータ転送をサポートする場合、その機器と本機との間でデータを更新することができます。

Bluetooth 無線接続または赤外線でデータを転送する

互換性のある機器からデータ転送を開始するには、 > [ツール] > [データ転送] の順に選択します。

Bluetooth 無線接続

1. 選択画面で、[続行] を選択します。
2. [Bluetooth] を選択します。選択した接続タイプを両方の機器がサポートしている必要があります。
3. 一方の機器で Bluetooth 無線接続を起動します。次に本機で [続行] を選択して、アクティブな Bluetooth 無線接続を持つ機器を検索します。
4. この機器を検出したら本機で [停止] を選択します。
5. リストから一方の機器を選択します。本機にパスコード（1 ～ 16 桁）を入力するよう要求されます。パスコードは、この接続を確認するために一度だけ使用されます。
6. 本機にパスコードを入力し、[OK] を選択します。もう一方の機器にパスコードを入力し、[OK] を選択します。これで機器がペアリングされます。「機器をペアリングする」（P.90）を参照してください。

   一部のモデルでは、データ転送アプリケーションはメッセージとしてもう一方の機器に送信されます。もう一方の機器にデータ転送アプリケーションをインストールするには、メッセージを開いて、ディスプレイに表示される指示に従います。
7. 本機で、もう一方の機器から転送するデータを選択し、[OK] を選択します。

赤外線接続

1. 選択画面で、[続行] を選択します。
2. [赤外線通信] を選択します。選択した接続タイプを両方の機器がサポートしている必要があります。
3. 2 つの機器を接続します。「赤外線」（P.92）を参照してください。
4. 本機で、もう一方の機器から転送するデータを選択し、[OK] を選択します。

データは、もう一方の機器のメモリから、本機の対応する場所にコピーされます。コピー時間は、データ量により異なります。転送は、一度取り消して、後で実行することもできます。

データ転送手順は機器によって変わる場合があります。また、前にデータ転送を中断したかどうかでも変わります。転送できるデータは、もう一方の機器により異なります。

別の機器と同期させる

以前に本機にデータを転送しており、もう一方の機器が同期をサポートしている場合は、[データ転送] を使用して 2 つの機器間のデータを最新に保てます。

1. [電話機] を選択して、ジョイスティックを押します。
2. データ転送元の機器にスクロールし、ジョイスティックを押します。
3. [同期] を選択して、ジョイスティックを押します。機器は、データ転送を行ったときに選択したのと同じ接続タイプを使用して、同期を開始します。データ転送用に選択したデータのみが更新されます。

データ転送および同期の設定を変更するには、[同期] を選択して、機器にスクロールし、ジョイスティックを押して、[編集] を選択します。

暗証番号

本機のご使用にあたっては、「操作用暗証番号（ロックコード）」、「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号（ロックコード）

「12345」が初期設定です。ロックコードが必要な機能を操作するときに使用します。

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された 4 桁の暗証番号です。

オプションサービスを一般電話から操作する場合や「ウェブの有料情報」の申し込みの際に必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

本機（ネットワークサービス）を使用した電話の発着信を規制できます。設定を変更するには、サービスプロバイダからパスワードを入手する必要があります。発着信規制は、データ通信を含むすべての通話に影響します。

文字の入力方法

文字入力について

本機では、従来の携帯電話で使用されている入力方式（テンキー方式）に加えて、パソコンと同配列のフルキーボード（日本語はローマ字入力）を使用した入力方式をご利用になることができます。

日本語のひらがな、漢字、カタカナはフルキーボード方式とテンキー方式のいずれでも入力できます。

英数字はフルキーボード方式のみの入力となります。

ひらがな / 漢字モード、カタカナモードでテンキー方式を使用していた場合でも、英字モードと数字モードでは自動的にフルキーボードでの入力となります。

これらの入力方式は、文字入力中に切り替えることができます。

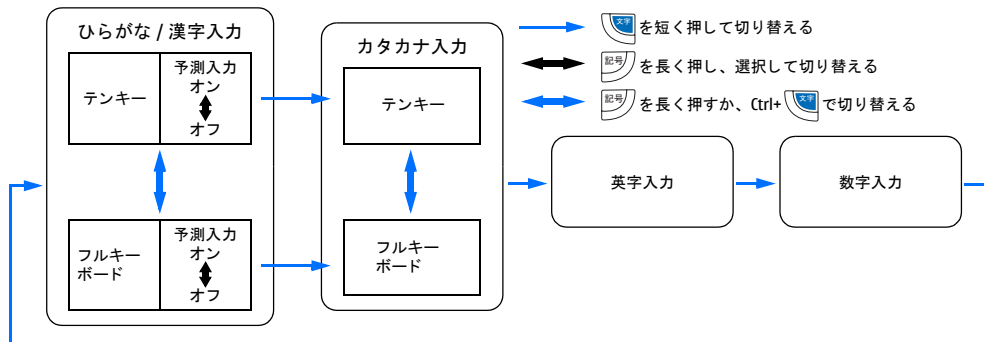
入力方式の切り替え

フルキーボード方式からテンキー方式に切り替えるには、記号 を長押しして、[テンキー] を選択します。

テンキー方式からフルキーボード方式に切り替えるには、記号 を長押しして、[フルキーボード] を選択します。

入力方式を切り替えることができるのは、ひらがな / 漢字モードとカタカナモードの場合です。

ヒント：ショートカット Ctrl+文字 を使用して 2 つのモード間を切り替えることもできます。

入力方式切り替え

フルキーボードの使用

フルキーボード方式を有効にすると、コンピュータのキーボードと同じ操作で文字を入力できます。

シフトキー

を押しながらアルファベットキーを押すと、大文字のアルファベットを入力できます。

を押しながら、キーの左上に記号が割り当てられているキーを押すと、その記号を入力できます。

Ctrl キー

Ctrl キーは、他のキーと組み合わせて、コピー / 切り取り/貼り付け等の操作に使用できます。「ショートカット」(P.141)を参照してください。

テンキーの使用

テンキー方式を有効にすると、キーボードの中央にある、1Rあ～0Mわを使用できるようになり、従来の携帯電話と同じ操作で文字を入力できます。

テンキー方式が有効の場合は、1Rあ～0Mわのみが有効です。これ以外のキーを押しても何も入力されません。

＊入力言語について

電話機の言語設定が日本語の場合、デフォルトの文字入力言語は日本語です。電話機の言語設定が英語の場合、デフォルトの文字入力言語は英語です。

電話機の言語設定については、「電話機の設定」(P.110) を参照してください。デフォルトの文字入力言語にかかわらず、文字入力モードを変えることで日本語と英語の入力が可能です。

文字の入力方法

文字入力モード

文字入力モードは、ひらがな / 漢字モード、カタカナモード、英字モード、数字モードを選択できます。

文字入力モードは、文字を1回押すごとに切り替わります。

切り替わる順番については、P.28 の図を参照してください。

日本語入力（フルキーボード方式の場合）

ローマ字入力で日本語を入力できます。漢字に変換するには、該当の文字が範囲選択された状態で␣/変換を押します。フルキーボード方式を有効にするには、「入力方式の切り替え」(P.27) を参照してください。

日本語入力では、通常入力と予測入力の 2 つのモードから選択できます。

ひらがな / 漢字の通常入力

通常入力モードでは、文字入力画面に、が表示されます。表示されていない場合は、記号を長押しして **[日本語予測オフ]** を選択し、通常入力モードに切り替えます。

入力手順

1. を押して、ひらがな / 漢字モードにします。
   文字入力画面に「漢字」と表示されます。また、を長押しし、[ひらがな / 漢字] を選択しても切り替えられます。
2. ローマ字入力で文字を入力します。「ローマ字入力キー対応表」（P.38）を参照してください。
   入力した文字は範囲選択されて表示されます。
3. 文字変換が不要な場合はジョイスティックを押して、入力した文字を確定します。
4. 文字変換をする場合には、入力された文字が範囲選択されている状態で ␣/変換 を 2 回押します。漢字変換候補リストが表示されます。ジョイスティックを下方向に 2 回押しても漢字変換候補リストを表示できます。
5. 文節の区切りが正しくない場合は、ジョイスティックを左または右に押して文節の区切りを変えます。
6. 漢字変換候補リストから確定したい語句を選択し、↵ またはジョイスティックを押します。
   範囲選択された文字が変換され、範囲選択が解除されます。

ひらがな / 漢字の予測入力

予測入力モードでは、文字入力画面に、が表示されます。表示されていない場合は、を長押しして [日本語予測オン] を選択し、予測入力モードに切り替えます。

入力手順

1. を押して、ひらがな / 漢字モードにします。
   文字入力画面に [漢字] と表示されます。また、を長押しし、[ひらがな / 漢字] を選択しても切り替えられます。
2. ローマ字入力で文字を入力します。
   入力した文字は変換の対象として範囲選択され、予測変換候補リストが表示されます。
   文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。
3. 予測変換候補リストから確定したい語句を選択し、ジョイスティックを押します。

- 確定したい語句が予測変換リストにない場合は、[通常変換] を押して、ジョイスティックを下方向に押し、漢字変換候補リストを表示します。
- 予測変換候補リストには、入力された内容から予測された次の語句が表示されます。語句を確定して次の文字を入力すると、別の予測変換候補リストが表示されます。

- クリアBS を押して 1 文字づつ消去していくと、表示される予測変換候補リストも変更されます。
- 頻繁に使用する語句、ユーザ辞書に登録した語句は、予測変換候補リストの上位に表示されます。

句読点などの入力については「記号の入力」（P.34）を参照してください。

カタカナの入力

カタカナを入力するには、文字 を押してカタカナモードにします。また、記号 を長押しし、[カタカナ] を選択しても切り替えられます。

カタカナ入力には、全角カタカナ入力と半角カタカナ入力があります。全角カタカナと半角カタカナを切り替えるには、記号 を長押しし、[全角] または [半角] を選択します。

全角の場合、文字入力画面に [カナ] と表示されます。

半角の場合、文字入力画面に [カタカナ] と表示されます。

句読点などの入力については「記号の入力」（P.34）を参照してください。

注意：カタカナ入力モードでは、予測入力モードを選択できません。

日本語入力（テンキー方式の場合）

従来の携帯電話と同じ操作で文字を入力できます。テンキー方式では、キーボードの中央にある、1 Rあ ～ 0 Mわ を使用できるようになり、入力したい文字が表示されるまで、その文字が割り当てられているキーを繰り返し押します。同じキーに割り当てられているかなを続けて入力する場合は、1 秒以上待ってから入力します。漢字に変換するには、範囲選択された状態で、ジョイスティックを下方向に押します。

テンキー方式を有効にするには、「入力方式の切り替え」（P.27）を参照してください。

日本語入力では、通常入力と予測入力の 2 つのモードから選択できます。

ひらがな / 漢字の通常入力

通常入力モードでは、文字入力画面に、 が表示されます。表示されていない場合は、記号 を長押しして [日本語予測オフ] を選択し、通常入力モードに切り替えます。

入力手順

1. を押して、ひらがな / 漢字モードにします。

   文字入力画面に「漢字」と表示されます。また、を長押しするか、を押して [ひらがな / 漢字] を選択しても切り替えられます。

2. ～ を入力します。

   入力した文字は範囲選択されて表示されます。

3. 文字変換が不要な場合はジョイスティックを押して、入力した文字を確定します。
4. 文字変換をする場合には、入力された文字が範囲選択されている状態でジョイスティックを下方向に 2 回押します。漢字変換候補リストが表示されます。
5. 文節の区切りが正しくない場合は、ジョイスティックを左または右に押して文節の区切りを変えます。
6. 漢字変換候補リストから確定したい語句を選択し、ジョイスティックを押します。

   範囲選択された文字が変換され、範囲選択が解除されます。

ひらがな / 漢字の予測入力

予測入力モードでは、文字入力画面に、が表示されます。表示されていない場合は、を長押しして [日本語予測オン] を選択し、予測入力モードに切り替えます。

入力手順

1. を押して、ひらがな / 漢字モードにします。

   文字入力画面に [漢字] と表示されます。また、を長押しするか、を押して [ひらがな / 漢字] を選択しても切り替えられます。

2. テンキー方式入力で文字を入力します。

   入力した文字は変換の対象として範囲選択され、予測変換候補リストが表示されます。

   文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。

3. 予測変換候補リストから確定したい語句を選択し、ジョイスティックを押します。

- 確定したい語句が予測変換リストにない場合は、[通常変換] を押して、ジョイスティックを下方向に押し、漢字変換候補リストを表示します。
- 予測変換候補リストには、入力された内容から予測された次の語句が表示されます。語句を確定して次の文字を入力すると、別の予測変換候補リストが表示されます。
- を押して 1 文字づつ消去していくと、表示される予測変換候補リストも変更されます。
- 頻繁に使用する語句、ユーザ辞書に登録した語句は、予測変換候補リストの上位に表示されます。

カタカナの入力

カタカナで入力するには、 を押してカタカナモードにします。文字入力画面に[カナ]または[カタカナ]と表示されます。また、 を長押しするか、 を押して[カタカナ]を選択しても切り替えられます。

カタカナ入力には、全角カタカナ入力と半角カタカナ入力があります。全角カタカナと半角カタカナを切り替えるには、 を長押しし、[全角]または[半角]を選択します。

全角の場合、文字入力画面に[カナ]と表示されます。

半角の場合、文字入力画面に[カタカナ]と表示されます。

注意：カタカナ入力モードでは、予測入力モードを選択できません。

小文字の入力

ひらがなやカタカナの「あいうえおつやゆよ」は小文字に変換できます。

小文字に変換するには、キーに割り当てられている文字が小文字で表示されるまで続けてキーを押すか、通常の文字が範囲選択されている状態で、ジョイスティックを下方向に押します。

濁点 / 半濁点の入力

ひらがな / 漢字モードやカタカナモードの場合、か行、さ行、た行、は行には、 を押して、濁点や半濁点をつけます。

か行、さ行、た行に濁点をつけるには、 を 1 回押します。もう一度押すと濁点は外れます。

は行では、 を 1 回押すと、濁点がつき、2 回押すと半濁点がつきます。

半角カタカナモードの場合、濁点や半濁点は、半角 1 文字分で入力されます。

濁点や、半濁点を削除するには を押します。

英数字入力

英字の入力は、フルキーボードを使用します。日本語入力をテンキー方式で行っていた場合でも、英字モードに切り替えると、フルキーボード方式を使用して、英字入力ができます。

英字モードの種類

英字モードには、次の 3 つの種類があります。

「Abc」（文頭大文字モード）：文頭の文字のみ大文字で入力され、続く文字は小文字で入力されます。ピリオドで文を終了し、 を押すと、再び文頭の文字が大文字で入力されます。

「abc」(小文字モード):モードを切り替えるまで常に小文字で入力されます。「Abc」で最初の文字が入力されると、文字入力画面の表示が「abc」に切り替わります。入力中に、 を押すと、「abc」モードと「ABC」モードを切り替えられます。

「ABC」(大文字モード):モードを切り替えるまで常に大文字で入力されます。入力中に、 を押すと、「abc」モードと「ABC」モードを切り替えられます。

注意:英字モードには予測入力機能はありません。

英字モードの入力

1. 文字入力画面で、 を押し、英字モードを選択します。また、 を長押しし、[英字モード] を選択しても切り替えられます。
   カーソルが先頭にある場合は、「Abc」モードが表示されます。そのほかの場所では、「abc」または「ABC」が表示されます。
2. 入力したい文字が割り当てられているキーを押します。
   キーの上部に示されている記号を入力するには、 を押してそのキーを押します。
   青い記号の入力方法については「キーボードの青い記号文字」(P.35)を参照してください。

数字モードの入力

数字を入力するには、 を押して数字モードにします。文字入力画面に が表示されます。数字モードでは、 ~ とそれ以外のキーの右上の記号を入力できます。

また、テンキー方式のひらがな / 漢字モードまたはカタカナモードで入力している場合は、数字キーを長押しすると数字を入力できます。

全角 / 半角の切り替え

英数字モードで半角と全角を切り替えるには、 を長押しし、[半角] または [全角] を選択します。

記号 / 絵文字入力

記号の入力

1. を押します。
   テンキー方式で入力している場合、フルキーボード方式で入力している場合とも、記号リストが表示されます。
2. 入力したい記号を選択し、ジョイスティックを押します。

キーボードの青い記号文字

1. 青い記号文字を入力するには、 を押します。
   入力画面に、 が表示されます。
2. 入力したい記号が割り当てられているキーを押します。

フルキーボード方式の場合：

、、、、 に、よく使用される記号が割り当てられています。

ひらがな / 漢字モードとカタカナモードの場合は、キーの右下に割り当てられている記号（。、「」など）を、該当のキーを押すことでそのまま入力できます。上の記号は、 を押して、そのキーを押して入力します。右上に記号があるキーについては、 を押すと右上の記号が入力されます。

英字モードの場合は、キーの左下に割り当てられた記号（,.. など）を、該当のキーを押すことでそのまま入力できます。左上に示される記号を入力する場合は、 を押して、そのキーを押します。

絵文字の入力

1. を 2 回押します。
2. リストから絵文字を選択し、ジョイスティックを押します。

顔文字の入力

予測入力モードがオフになっている場合は、「かお」と入力し、ジョイスティックを下または上に 2 回押して、表示される顔文字リストの中から選択して、ジョイスティックを押します。

予測入力モードの場合は、「かお」と入力し、[通常変換] を押してジョイスティックを下または上に押します。表示される顔文字リストの中から選択して、ジョイスティックを押します。

区点コードを利用した入力

区点コードを利用して文字、記号、数字を入力できます。

1. を長押しし、[区点コード挿入] を選択します。
2. 区点コードを入力して [OK] を押します。

「区点コード一覧表」（P.144）を参照してください。

編集方法

スペースの入力

ジョイスティックを右に押すか ␣/変換 を押すと、スペースを入力できます。

入力モードが半角の場合は、半角スペースが、入力モードが全角の場合は、全角スペースが入力されます。

テンキー方式の場合、半角 / 全角にかかわらず、␣/変換 を押すと半角スペースが入力されます。

改行

ジョイスティックを下に押すか、↵ を押します。

ジョイスティックを下に押して改行する場合、予測入力モードでは [通常変換] を押して、予測変換候補リストが表示されていない状態でジョイスティックを押す必要があります。予測変換候補リストを閉じるには、[キャンセル] を押します。

入力した文字を修正する

1. 修正する文字の右側にカーソルを移動します。
2. 修正する文字が消去されるまで、クリア BS を押します。
3. 正しい文字を入力します。

コピー / 貼り付け

コピー/ 貼り付け操作には、いくつかの方法があります。

記号キーを使用する場合 :

1. ↑ を押しながら、ジョイスティックを押してコピー対象の文字や語句を選択します。対象の文字や語句が範囲選択されます。
2. 記号 を長押しし、[コピー] を選択します。
3. コピー先にカーソルを移動します。
4. 記号 を長押しし、[貼り付け] を選択します。

選択した文字や語句がコピーされます。

左ソフトキーを使用する場合（テンキー方式のみ）:

1. ↑ を押しながらジョイスティックを押してコピー対象の文字や語句を選択します。
2. ↑ を押しながら [コピー] を選択します。
3. コピー先にカーソルを移動します。
4. ↑ を押しながら、[貼り付け] を選択します。

選択した文字や語句がコピーされます。

ヒント : コピー対象の文字や語句を選択後、ショートカットキーを使用してコピー / 貼り付けを行えます。
コピーは Ctrl + C を押します。貼り付けは Ctrl + V を押します。

単語登録

本機に、特殊な読み方をする漢字や、よく使用する単語を登録しておくことができます。このような単語を登録する場合は、ユーザ辞書を使用します。

単語の登録方法

1. > [ツール] > [ユーザ辞書] の順に選択します。
2. [オプション] > [新規単語登録] の順に選択します。
3. [単語] に登録する単語を入力します。
4. [読み] にひらがなで読みを入力します。

ヒント：文字入力中に単語を登録する場合は、記号 を長押しし、[単語登録] を選択してユーザ辞書を開き、登録できます。

登録した単語の呼び出し方法

1. 文字入力画面で、登録した単語の読みを入力します。
2. ジョイスティックを下方向に押し、確定します。
3. 登録した単語が入力されます。

フルキーボード方式で入力している場合は、␣/変換 を押すことによって変換候補が表示され、登録した単語を入力できます。

ローマ字入力キー対応表

行						
あ行		あ A	い I	う U	え E	お O
	（小文字）	ぁ LA XA	ぃ LI XI	ぅ LU XU	ぇ LE XE	ぉ LO XO
か行		か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
		きゃ KYA		きゅ KYU		きょ KYO
		くゎ KWA				
が行		が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
		ぎゃ GYA		ぎゅ GYU		ぎょ GYO
		ぐゎ GWA				
さ行		さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
		しゃ SYA SHA		しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
ざ行		ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
		じゃ JYA ZYA JA		じゅ JYU ZYU JU	じぇ JYE ZYE JE	じょ JYO ZYO JO

行						
た行		た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
	（小文字）			っ LTU*1 XTU		
		ちゃ TYA CYA CHA		ちゅ TYU CYU CHU	ちぇ TYE CYE CEO	ちょ TYO CYO CHO
		つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
			てぃ THI	てゅ THU		
				とぅ TWU		
だ行		だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
		ぢゃ DYA		ぢゅ DYU		ぢょ DYO
			でぃ DHI	でゅ DHU		
				どぅ DWU		
な行		な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
		にゃ NYA		にゅ NYU		にょ NYO
は行		は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
		ひゃ HYA		ひゅ HYU		ひょ HYO
		ふぁ FA	ふぃ FI		ふぇ FE	ふぉ FO
ば行		ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
		びゃ BYA		びゅ BYU		びょ BYO

行						
う゛ぁ行		う゛ぁ VA	う゛ぃ VI	う゛ VU	う゛ぇ VE	う゛ぉ VO
ぱ行		ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
		ぴゃ PYA		ぴゅ PYU		ぴょ PYO
ま行		ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
		みゃ MYA		みゅ MYU		みょ MYO
や行		や YA		ゆ YU		よ YO
	（小文字）	ゃ LYA XYA		ゅ LYU XYU		ょ LYO XYO
ら行		ら RA	り RI	る RU	れ RE	ろ RO
		りゃ RYA		りゅ RYU		りょ RYO
わ行		わ WA	うぃ WI	う WU	うぇ WE	を WO
	（小文字）	ゎ LWA XWA				
			ゐ WYI		ゑ WYE	
*2 ん行		ん NN	ん N			

*1 後ろに子音を２つ続けても"っ"となります。

*2 N に続けて子音（A.I.U.E.O 以外）を入力しても、"ん"となります。

[例] インターネット : INTA ― NETTO

共通の操作方法について

設定

本機に電源を入れると、SIM カードプロバイダが認識されて、正しい SMS、MMS および GPRS 設定が自動的に構成されます。通信事業者から、特別な SMS で設定を受け取る場合もあります。

メニュー

メニューから、本機またはメモリカード上にあるすべてのアプリケーションを開くことができます。メニューにはアプリケーションとフォルダが含まれています。フォルダは、類似するアプリケーションのグループです。画面上を上下にスクロールするにはジョイスティックを使用します。インストールしたアプリケーションはデフォルトで [インストール] フォルダに保存されます。

アプリケーションを開くには、そのアプリケーションにスクロールして、ジョイスティックを押します。

アプリケーションをリスト表示するには、[オプション] > [表示変更] > [リスト] の順に選択します。アイコン表示に戻るには、[オプション] > [表示変更] > [アイコン] の順に選択します。

アプリケーション別のメモリ消費量や本機またはメモリカードに保存されているデータを表示したり、空きメモリ量を調べるには、[オプション] > [メモリ詳細] の順に選択し、メモリを選択します。

フォルダを整理するには、移動したいアプリケーションにスクロールして、[オプション] > [移動] の順に選択します。アプリケーション名の横にチェックマークが付きます。移動先の場所にスクロールして、[OK] を選択します。

アプリケーションを別のフォルダに移動するには、移動したいアプリケーションにスクロールして、[オプション] > [フォルダへ移動] の順に選択します。移動先のフォルダを選択し、[OK] を選択します。

ウェブからアプリケーションをダウンロードするには、[オプション] > [アプリダウンロード] の順に選択します。

新しいフォルダを作成するには、[オプション] > [新規フォルダ] の順に選択します。フォルダの中に、別のフォルダを作成できます。

新しいフォルダの名前を変更するには、[オプション] > [名前変更] の順に選択します。

ヒント：開いているアプリケーション間で表示するアプリケーションを切り替えるには、 を長く押します。アプリケーション切り替えウィンドウが開き、開いているアプリケーションが表示されます。アプリケーションにスクロールし、ジョイスティックを押すとそのアプリケーションに切り替わります。

チュートリアル

本機には操作方法を中心としたチュートリアルが含まれているため、取扱説明書を参照しなくても、本機の使用中に、疑問に対する答えを見つけることができます。

チュートリアルでは、本機に関する説明と操作方法についての情報が提供されます。

チュートリアルのコンテンツの一部は、メモリカードに含まれている場合があります。そのようなコンテンツを参照するには、あらかじめメモリカードを挿入しておく必要があります。

メニューのチュートリアルを参照するには、 > [ヘルプ] を選択します。[チュートリアル] を開いて、参照するセクションを開きます。

Nokia PC Suite

Nokia PC Suite は、CD-ROM またはウェブからインストールできます。Nokia PC Suite は、Windows 2000 および Windows XP でのみ使用できます。Nokia PC Suite を使用すると、バックアップを作成したり、互換性のあるコンピュータと本機を同期させたり、互換性のあるコンピュータと本機との間でファイルを移動できます。また、本機をモデムとして使用することもできます。

スクロールと選択操作

移動や選択操作にはジョイスティックを使用します。ジョイスティックを使用して、メニュー内やさまざまなアプリケーションやリスト内で、上下、左右に移動することができます。また、ジョイスティックを押してアプリケーションやファイルを開いたり、設定を変更することができます。

テキストを選択するには、 を長く押して、左または右にスクロールして対象テキストを選択します。

メール、ファイル、電話帳などのアイテムを選択するには、上下、左右にスクロールして、選択対象のアイテムを強調表示にします。[オプション] > [マーク / マーク解除] > [マーク] の順に選択して 1 つのアイテムを選択したり、[オプション] > [マーク / マーク解除] > [すべてをマーク] の順に選択してすべてのアイテムを選択することができます。

ヒント：ほとんどすべてのアイテムを選択する場合は、最初に [オプション] > [マーク / マーク解除] > [すべてをマーク] の順に選択してから、選択対象から外すアイテムを選択して [オプション] > [マーク / マーク解除] > [マーク解除] の順に選択します。

オブジェクト（たとえば、文書の添付）を選択するには、そのオブジェクトにスクロールします。オブジェクトの横に四角のマーカが現れます。

複数のアプリケーションで共通の操作

次の操作は複数のアプリケーションで共通です。

開いているアプリケーション間で表示するアプリケーションを切り替えるには、を長く押して開いているアプリケーションのリストを表示し、アプリケーションを選択します。

モードを変更したり、本機の電源を切るまたはロックするには、電源キーを短く押します。

ファイルを保存するには、[オプション] > [保存] の順に選択します。使用しているアプリケーションによって、保存オプションは異なります。

ファイルを送信するには、[オプション] > [送信] の順に選択します。E-mail、MMS、赤外線、Bluetooth 無線接続など、使用しているアプリケーションによって送信オプションは異なります。

互換性のあるプリンタで印刷するには、[オプション] > [印刷] の順に選択します。印刷するアイテムをプレビューしたり、印刷ページの概観を編集することができます。印刷する前に、本機と互換性のあるプリンタを設定する必要があります。

ファイルを削除するには、クリア BS を押すか、[オプション] > [削除] の順に選択します。

電話をかける

電話をかけたり電話を受けるには、電源が入っている必要があります。また、SIM カードが装着されており、携帯電話ネットワークのサービスエリア内にいる必要があります。ネットワークが二重転送モードをサポートするか、本機に USIM カードが装着されており、UMTS ネットワークの範囲内にいる場合を除き、GPRS 接続は通話中、保留になります。

市外局番を含む電話番号を入力し、開始キーを押します。誤って入力した場合は、クリア BS を押します。

通話を終了するか取り消すには、終了キーを押します。

登録してある連絡先を使用して電話をかける場合は、待受画面で [電話帳] を押します。名前の最初の文字を入力し、その名前にスクロールして、開始キーを押します。「電話帳」（P.58）を参照してください。

音量キーを使用して、通話中の音量を調節します。

待受画面で留守番電話サービスセンター（ネットワークサービス）に電話をかけるには、1 Rあ を長く押すか、1 Rあ を押して開始キーを押します。

リダイヤル

開始キーを押すと、以前にかけた（またはかけようとした）電話番号の最近のものから 20 件が表示されます。電話をかける番号または名前にスクロールし、開始キーを押して電話をかけます。「発信履歴 / 着信履歴の確認」（P.47）を参照してください。

国際電話をかける

まず、国際電話用のアクセスコードを設定してください。 > [ツール] > [設定] > [通話] > [国際アクセスコード置換] の順に選択し、国際電話アクセスコードを入力して、[OK] を選択します。これで、アクセスコードが設定されます。国際電話をかける場合は、国際電話のアクセスコードの「+」記号を入力します。次に国番号、市外局番（必要に応じてはじめの「0」を省く）、電話番号の順に入力します。

緊急電話の発信について

緊急電話発信とは、「110」や「119」など、緊急時に使用する電話発信のことです。

本機がロックされているときでも、緊急電話番号として本機に登録された海外の緊急電話番号には電話をかけることができます。

本機がオフラインモードの場合は、緊急電話発信はできません。

オフラインモードで、ロックコードを入力し、緊急電話番号を含むすべての電話番号に電話をかける前に、本機を通話モードに変更する必要があります。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルを使用すると、数字キーを長く押すことで電話をかけることができます。

ワンタッチダイヤルを使用する前に、 > [ツール] > [設定] > [通話] > [ワンタッチダイヤル] > [オン] の順に設定してください。

電話番号に数字キーを割り当てるには、 > [ツール] > [ワンタッチ] の順に選択します。画面上で「2」から「9」の数字キーにスクロールし、[オプション] > [登録] を選択します。[電話帳] から、割り当てる電話番号を選びます。

数字キーに割り当てた電話番号を削除するには、ワンタッチダイヤルキーにスクロールして、[オプション] > [削除] の順に選択します。

数字キーに割り当てた電話番号を修正するには、ワンタッチダイヤルキーにスクロールして、[オプション] > [変更] の順に選択します。

電話を受ける

注意：サービスプロバイダが実際に請求する通話およびネットワークサービス料金は、ネットワーク機能、請求額の端数計算や税金などによって異なる場合があります。

電話を受けるには、開始キーを押します。着信時に通話を拒否するには、終了キーを押します。

電話を受ける代わりに着信音を消音にするには、[マナー] を選択します。（転送サービスなどが可能。）

[割込み通話サービス] 機能がオンの場合、通話中に別の電話がかかってきたら、開始キーを押して応答できます。最初の通話は保留になります。通話中の電話を終了するには、終了キーを押します。

電話を転送する

 > [ツール] > [設定] > [転送電話サービス] の順に選択します。

着信した電話を留守番電話サービスまたは別の電話番号に転送します。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

1. 次の中から電話のタイプを選択します。
   - [電話] — 着信電話
   - [データ通信およびテレビ電話] — 着信データ通信およびテレビ電話
   - [FAX 通信] — 着信 FAX 通信

2. 次の転送オプションの中から 1 つ選びます。
   - [すべての電話]、[すべてのデータ通信およびテレビ電話]、[すべての FAX 通信] — 電話、データ / テレビ、または FAX 通信をすべて転送します。
   - [通話中] — 通話中に着信した電話を転送します。
   - [応答なし] — 着信音が指定した時間鳴ったあとで、着信した電話を転送します。[呼出時間 :] フィールドに、電話を転送するまでに鳴らす時間を設定します。
   - [電源オフ / 圏外] — 電源が入っていないか、通話エリア外の場合に電話を転送します。
   - [通話不能] — 上の 3 つの設定を同時に有効にします。このオプションは、通話中、応答なし、または電源オフ / 圏外の場合に電話を転送します。
3. [開始] を選択します。

現在の転送設定を調べるには、転送オプションにスクロールして、[オプション] > [状態確認] の順に選択します。

電話の転送をやめるには、転送オプションにスクロールして、[オプション] > [停止] の順に選択します。

電話にでられないとき

発信者へ SMS を送信する

着信を拒否する場合、発信者へ電話に応答できない理由を知らせる SMS を送信することができます。

1. [オプション] > [SMS 送信] の順に選択します。
   - SMS 編集画面が表示されます。
   - SMS の本文をあらかじめ編集しておくことができます。「通話設定」(P.111) を参照してください。
2. [オプション] > [送信] の順に選択します。

メッセージを録音する

留守番電話サービスを開始すると、電波の届かない場所や通話中のため電話にでられないときなど、留守番電話サービスセンターでメッセージをお預かりします。「留守番電話サービス」(P.127) を参照してください。

通話中の操作

受話音量を調節する

通話中に音量を調整するには、音量キーを押します。

- 着信中に画面上部に表示されるインジケータは、受話音量を調節するものであって、着信音量を調節するものではありません。着信中に着信音を消音にするには、[着信音オフ] を押します。
- ミュート に設定している場合は、ジョ イスティックを右または左方向に押して音量を調節することができません。[ﾐｭｰﾄ解除] に設定してから調節します。

スピーカーを使用する

スピーカーを使用すると、電話機を持たずに近い距離で（例えば、近くのテーブルに置いて）話したり聞いたりできます。

1. 通話中に、[ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ] を押します。
2. 通常通話に戻すには、[通常通話] を押します。スピーカーがオフとなります。

警告：スピーカーの使用中は、本機を耳元で使用しないでください。音量が非常に大きくなることがあります。

その他通話中にできること

通話中に使用できるオプションの多くは、ネットワークサービスです。表示されるオプションは、状況によって異なります。

通話中に [オプション] を押します。

- 電話をかける — 通話中に別の相手へ電話をかけます。
- 通常通話に切替 / ﾊﾝｽﾞﾌﾘｰ通話に切替
- ﾜｲﾔﾚｽﾍｯﾄﾞｾｯﾄに切替 — 本機と互換性のある Bluetooth 無線接続ヘッドセットが接続されている場合に使用できます。
- 保留 / 保留解除 — 通話を保留にすることができます。
- ミュート / ミュート解除 — 通話相手への送信音声がミュートとなります。プッシュトゥートーク、スピーカーなどをご利用の際に使用すると便利です。
- 割込通話 — 通話中に別の電話がかかってきたら、開始キーを押して応答できます。最初の通話は保留になります。

着信を拒否する / 発信を禁止する

発着信規制と電話の転送機能は、同時に有効にすることはできません。

通話が規制されているときでも、特定の緊急電話番号に電話をかけることができます。

着信時に通話を拒否するには、終了キーを押します。

> [ツール] > [設定] > [発着信規制] の順に選択すると、本機（ネットワークサービス）を使用した電話の発着信を規制できます。設定を変更するには、サービスプロバイダからパスワードを入手する必要があります。発着信規制は、データ通信を含むすべての通話に影響します。

通話を規制するには、[通常電話の発着信規制] を選択し、次のオプションから選択します。

- [発信規制] — 本機から電話をかけられないようにします。
- [着信規制] — 着信電話を規制します。
- [国際発信規制（すべて）] — 海外に電話をかけられないようにします。
- [海外滞在中着信規制] — 国外からの着信を規制します。
- [国際発信規制（自国以外）] — 海外には電話をかけられないように、国内には電話をかけられるようにします。

現在の発着信規制の設定を調べるには、発着信規制オプションにスクロールして、[オプション] > [状態確認] の順に選択します。

発着信規制をすべて解除する場合は、発着信規制オプションにスクロールして、[オプション] > [全発着信規制を停止] の順に選択します。

ネット発着信規制

ネット通話を規制するには、 > [ツール] > [設定] > [発着信規制] > [ネット電話発着信規制] の順に選択します。

匿名電話からのネット通話を拒否するには、[匿名電話] > [オン] の順に選択します。

テレビ電話

テレビ電話をかけるには、WCDMA ネットワークの通話エリア内にいる必要があります。テレビ電話サービスを利用できるかどうかや申し込み方法については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。通話相手がビデオカメラ付き対応機種の携帯電話を持っている場合には、通話中、通話相手の携帯電話に静止画像を送ったり、通話相手から送られたリアルタイムの映像を見ることができます。テレビ電話は、二者の間でのみ行えます。（注：本製品はカメラ付き携帯電話ではありません。）

警告：スピーカーの使用中は、本機を耳元で使用しないでください。音量が非常に大きくなることがあります。

静止画像を通話相手にテレビ画像で送るには、[ツール] > [設定] > [通話] > [テレビ電話の静止画] の順に選択し、送信する静止画像を選びます。

テレビ電話をかけるには、電話番号を入力するか、[電話帳] から電話をかける相手を選択し、[オプション] > [電話をかける] > [テレビ電話] の順に選択します。テレビ電話を通常の電話に切り替えることはできません。

通話中に [オプション] > [無効] > [オーディオ送信] を選択してから次のオプションを選択します。

- [オーディオ] — 電話相手と会話します。
- [ハンズフリー] — 音声受信にスピーカーを使用します。

発信履歴 / 着信履歴の確認

発着信履歴を表示する

- > [通信履歴] > [発着信履歴] の順に選択します。
- 不在着信履歴、着信履歴、発信履歴 を確認することができます。
- 不在着信履歴と着信履歴は、本機の電源がオンの状態で、かつネットワーク圏内の場合にのみ記録されます。
- テレビ電話には、ビデオマーク「」が右側に表示されます。

ヒント：待受画面に不在着信履歴の通知が表示された場合に [表示] を押すと、不在着信履歴のリストを表示することができます。折り返し電話をかける場合は、名前または電話番号を選択して、開始キーを押します。

発着信履歴を消去する

> [通信履歴] > [発着信履歴] の順に選択します。

すべての履歴リストの履歴をすべて消去するには、[オプション] > [発着信履歴を消去] の順に選択します。

いずれかの履歴リストの履歴をすべて消去するには、消去するリストを開いて、[オプション] > [履歴消去] の順に選択します。

履歴を 1 件ずつ消去するには、消去するリスト開き、消去する履歴を選択し、クリア BS を押します。

通話時間表示

通話時間を表示するには、 > [通信履歴] > [通話時間] の順に選択します。

通話時間、発信履歴、着信履歴、すべての通話が表示されます。通話時間は、累計の通話時間が表示されます。

通話中に通話時間を表示するには、[通話時間] > [オプション] > [設定] > [通話時間表示] の順に選択し、[はい] を選択します。

注意：携帯電話事業者が実際に請求する通話料金は、ネットワーク機能や請求額の端数計算などによって異なる場合があります。

通話時間を消去するには、[オプション] > [通話時間記録を消去] の順に選択します。

この操作を行うには、ロックコードが必要です。「操作用暗証番号（ロックコード）」（P.26）を参照してください。

パケット接続送受信データ量を表示する

> [通信履歴] > [パケット接続] の順に選択します。

パケットデータ接続料金は、送受信したデータ量によって課金される場合があります。

すべての通信履歴を表示する

> [通信履歴] の順に選択し、右にスクロールします。

アイコン

「 」— 着信

「 」— 発信

「 」— 不在着信

- 電話、テレビ電話、SMS、パケットデータ接続の履歴を表示します。
- 通信履歴ごとに送信者と受信者の名前、電話番号、携帯電話事業者名またはアクセスポイントを表示します。
- サブ記録（複数の部分に分割されて送信されたSMS やパケットデータなど）も 1 つの通信履歴として記録されます。メールボックス、MMS センター、インターネットのページへの接続は、パケットデータ接続として表示されます。

通信履歴にフィルタをかけて表示する

[オプション] > [フィルタ] の順に選択し、表示する条件を選択します。

条件ごとにフィルタされた通信履歴が表示されます。

通信履歴1件の詳細情報を表示する

通信履歴を選択し、ジョイスティックを押します。

ヒント：通信履歴の詳細情報画面で、電話番号をクリップボードにコピーし、テキストに貼り付けることができます。[オプション]>[電話番号コピー]の順に選択します。

パケットデータ接続カウンタと接続時間

ﾊﾟｹｯﾄ の表示がある通信履歴を選択し、[オプション]>[詳細情報表示]の順に選択します。

転送したデータ量(KB 単位)や特定のパケットデータ接続時間を表示します。

すべての通信履歴を消去する

[オプション]>[通信履歴消去]の順に選択すると、メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると、全件消去されます。

通信履歴、発着信履歴、配信レポートの内容が完全に消去されます。

- 1件ずつ消去する場合は、クリア BS を押します。

通信履歴保存期間を設定する

[オプション]>[設定]>[通信履歴保存期間]の順に選択します。

通信履歴は、設定した日数の期間中、電話機メモリに保存されます。その期間を過ぎると自動的に消去されます。[通信履歴なし]を選択すると、通信履歴の内容、発着信履歴、配信レポートはすべて削除されます。

プッシュトゥートーク

 >[外部接続]>[PTT]の順に選択します。

プッシュトゥートーク（PTT）（ネットワークサービス）は、キーを押すだけで接続する直接音声通信です。プッシュトゥートークでは、携帯電話をトランシーバのように使用できます。

プッシュトゥートークを使用すると、1人の相手と会話したり、グループで会話したり、チャンネルに参加することができます。チャンネルは、チャットルームのようなものです。チャンネルに電話をかけると、オンラインの人がいるかを確認できます。チャンネル電話は、ほかの参加者にアラートを出しません。参加者は単にチャンネルに参加して、互いに会話を行うだけです。

プッシュトゥートーク通信では、1 人が話している間、ほかの参加者は内蔵スピーカーで聞きます。参加者は、交互に応答します。一度に話せるのは 1 人だけなので、自分の順番で話せる最大時間に制限があります。ご使用のネットワークでのスピーチ時間の詳細については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

プッシュトゥートーク電話での会話では、ディスプレイが見えるように本機を自分に向けて持ちます。マイクに向かって話し、スピーカーを手で覆わないでください。

プッシュトゥートークよりも、電話の呼び出しが常に優先されます。

プッシュトゥートークを使用する前に、プッシュトゥートークのアクセスポイントとプッシュトゥートークを設定する必要があります。プッシュトゥートークサービスを提供するサービスプロバイダから、特別な SMS で設定を受け取ります。

ユーザ設定

[オプション] > [設定] > [ユーザ設定] の順に選択します。

次のものを設定します。

- [PTT 着信] — プッシュトゥートークの着信通知を表示する場合には [通知する] を選択します。プッシュトゥートーク電話に自動的に応答するには [自動承認する] を選択します。プッシュトゥートーク電話を自動的に拒否するには [許可しない] を選択します。
- [PTT 着信音] — プッシュトゥートークの着信音の設定がモード設定に従う場合には、[モードで設定] を選択します。マナーモードの場合、コールバック要求を除き、ほかの人がプッシュトゥートークを使用して本機にかけることができません。
- [コールバック要求音] — コールバック要求の呼び出し音を設定します。
- [アプリケーション起動] — 本機の電源を入れたときに、プッシュトゥートークサービスにログインする場合に選択します。
- [デフォルトニックネーム] — ほかのユーザに表示されるデフォルトのニックネームを入力します（最大英数字 20 文字）。
- [マイ PTT アドレス表示] — プッシュトゥートークをかける相手に本機のプッシュトゥートークアドレスを見せる場合に設定します。プッシュトゥートークアドレスは、すべての参加者に見せることも、1 対 1 の相手またはチャンネル参加者にのみ見せることも、すべての参加者から隠すこともできます。
- [マイログイン状態表示] — プッシュトゥートークサーバにログインしていることを示すか、ほかのユーザに隠すかを設定します。

接続設定

[オプション] > [設定] > [接続設定] の順に選択します。次のものを設定します。

- [ドメイン] — サービスプロバイダから取得したドメイン名を入力します。
- [アクセスポイント名] — プッシュトゥートークアクセスポイントを選択します。
- [サーバアドレス] — サービスプロバイダから取得したプッシュトゥートークサーバの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
- [ユーザ名] — サービスプロバイダから取得したユーザ名を入力します。
- [パスワード] — プッシュトゥートークサービスにログインするためのパスワード（必要な場合）を入力します。パスワードは、サービスプロバイダから提供されます。

プッシュトゥートークサービスにログインする

[ユーザ設定] で [アプリケーション起動] を [契約ネットワークで自動] または [常時自動] に設定している場合は、電源を入れるとプッシュトゥートークサービスに自動的にログインします。設定していない場合は、手動でログインします。

プッシュトゥートークサービスにログインするには、[オプション] > [設定] > [接続設定] を選択して、ユーザ名、PTT パスワード、ドメイン、サーバアドレス、およびアクセスポイント名を入力します。[オプション] > [PTT オン] を選択します。

本機の [着信音の再生方法] が [ビープ音一回] または [着信音なし] に設定されている場合や、通話中の場合には、プッシュトゥートークを使用できません。

プッシュトゥートーク電話

警告：スピーカーの使用中は、本機を耳元で使用しないでください。音量が非常に大きくなることがあります。

[オプション] > [PTT 電話帳] の順に選択します。

プッシュトゥートーク電話をかけるには、リストから 1 人または複数の連絡先を選び、音声キーを押します。プッシュトゥートーク電話での会話では、ディスプレイが見えるように本機を自分に向けて持ちます。話す順番が自分になるとディスプレイに示されます。マイクに向かって話し、スピーカーを手で覆わないでください。話している間は、音声キーを押したままにします。話し終わったら、キーを離します。

プッシュトゥートーク電話を終了するには、終了キーを押します。

プッシュトゥートーク電話がかかってきたら、開始キーを押して電話に応答するか、終了キーを押して応答を拒否します。

コールバック要求

コールバック要求を送るには、[オプション] > [PTT 電話帳] の順に選択して送り先の連絡先にスクロールし、[オプション] > [コールバック要求送信] を選択します。

コールバック要求に応答するには、[表示] を選択して、コールバック要求を開きます。送信者にプッシュトゥートーク電話をかけるには、音声キーを押します。

電話帳を利用する

電話帳を表示、追加、修正、削除したり、電話帳に登録されている人に電話をかけるには、[オプション] > [PTT 電話帳] の順に選択します。[電話帳] 内の名前のリストが、ログインステータスと共に表示されます。

選択した相手に電話をかけるには、[オプション] > [1 対 1 通話] の順に選択します。グループに電話をかけるには、[オプション] > [PTT グループコール] の順に選択します。

相手に、自分に電話をかけるよう要求するには、[オプション] > [コールバック要求送信] の順に選択します。

チャンネルを作成する

チャンネルは、チャットルームのようなものです。チャンネルに電話をかけると、オンラインの人がいるかを確認できます。チャンネル電話は、ほかの参加者にアラートを出しません。参加者は単にチャンネルに参加して、互いに会話を行うだけです。

チャンネルを作成するには、[オプション] > [新規チャンネル] > [新規作成] の順に選択します。

[オプション] を選択して以下を設定します。

- [チャンネル名] — チャンネル名を入力します。
- [チャンネルプライバシー] — [プライベート] または [パブリック] を選択します。
- [チャンネルでのニックネーム] — ほかの参加者に表示されるニックネームを入力します（最大英数字 20 文字）。
- [チャンネル画像] — チャンネルを説明する画像を挿入します。

チャンネルを消去するには、クリア BS を押します。

プッシュトゥートークにログインすると、前回アプリケーションを閉じたときに使用していたチャンネルに自動的に接続します。

PTT チャンネルを登録する

プッシュトゥートークサービスにチャンネルを登録するには、[オプション] > [保存] の順に選択します。

チャンネルを詳細に編集するには、[オプション] > [編集] の順に選択します。

チャンネルに参加する

チャンネルに参加するには、[オプション] > [PTT チャンネル] の順に選択します。通話するチャンネルを選択して、音声キーを押します。プッシュトゥートーク電話での会話では、ディスプレイが見えるように本機を自分に向けて持ちます。話す順番が自分になるとディスプレイに示されます。マイクに向かって話し、スピーカーを手で覆わないでください。話している間は、音声キーを押したままにします。話し終わったら、キーを離します。

複数の通話中に参加するチャンネルを切り替えるには、[切替] を選択します。使用中のチャンネルが強調表示されます。

チャンネルの現在の参加者を表示するには、[オプション] > [アクティブメンバ] の順に選択します。

チャンネルに参加者を招待するには、[オプション] > [招待状送信] の順に選択します。

プッシュトゥートークログ

プッシュトゥートークログを開くには、[オプション] > [PTT ログ] の順に選択します。ログには、日付、時間、期間、およびプッシュトゥートーク電話に関するその他の詳細が示されます。

プッシュトゥートークを終了する

[オプション] > [終了] の順に選択します。[はい] を選択してログアウトし、サービスを閉じます。バックグラウンドでアプリケーションを実行させておく場合は、[いいえ] を選択します。

ネット電話

本機は、インターネット経由の音声電話をサポートします (インターネット電話)。緊急電話の場合、本機は最初に携帯電話ネットワーク経由で呼び出そうとします。携帯電話ネットワークで呼び出せなかった場合は、インターネット電話プロバイダ経由で呼び出そうとします。携帯電話の従来の特性により、緊急電話には、できる限り携帯電話ネットワークを使用してください。携帯電話ネットワークの通知エリア内では、緊急電話をかける前に、携帯電話の電源が入っており電話をかけられる状態であることを確かめてください。インターネット電話での緊急電話の使用は、WLAN ネットワークの圏内であるかインターネット電話プロバイダが緊急電話機能に対応しているかに依存します。インターネット電話プロバイダに問い合わせて、インターネット電話の緊急電話機能を確認してください。

VoIP (Voice over Internet Protocol) テクノロジーは、インターネットのような IP ネットワーク経由で電話呼び出しを行うための一連のプロトコルです。VoIP 電話呼び出しは、コンピュータ間、携帯電話間、および VoIP 機器と固定電話間で接続できます。VoIP 電話をかけたり受けたりするには、無線 LAN の圏内にいる必要があります。

ネット電話をかける前に、ネット電話プロファイルを作成する必要があります。プロファイルを作成したら、通常の音声電話をかけることができるすべてのアプリケーションからネット電話をかけることができます。数字で始まらないアドレスにネット電話をかけるには、待受画面で任意の数字キーを押します。次に、「#」を数秒間押してディスプレイを消去し、数字モードから文字モードに切り替えます。アドレスを入力して、開始キーを押します。

セッション開始プロトコル（SIP）を設定する必要があります。 > [ツール] > [設定] > [接続] の順に選択し、[SIP 設定] で設定します。VoIP 設定は、 > [ツール] > [設定] > [接続] > [インターネット電話設定] の順に選択し、設定します。詳細情報と設定については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

優先プロファイル

 > [外部接続] > [ネット電話] の順に選択して設定を変更します。

デフォルトプロファイルを選択する前に、 > [ツール] > [設定] > [接続] の順に選択して、[インターネット電話設定] でプロファイルを作成する必要があります。

ネットト電話をかけるときにデフォルトで使用するプロファイル選択するには、[優先するプロファイル] を選択して、ジョイスティックを押します。選択するプロファイルにスクロールして、ジョイスティックを押します。

プロファイルを登録する

> [ツール] > [外部接続] > [ネット電話] > [優先するプロファイル] を選択すると、すでに選択してあるプロファイルのみがリストに表示されます。

ネット電話プロファイルの登録を変更するには、ジョイスティックをもう一度押して、[登録済] または [未登録] を選択します。

最後に設定を保存するには、[戻る] を選択します。

セキュリティ

> [ツール] > [設定] > [セキュリティ] > [電話機と SIM] の順に選択します。

PIN コード、自動ロック、SIM カード変更のセキュリティ設定を修正したり、コードおよびパスワードを変更できます。

緊急電話番号に類似したコードの使用は避けてください。誤って緊急電話番号に電話をかけないようにするためです。

コードはアスタリスクで示されます。コードを変更するときは、現在のコードを入力し、次に新しいコードを 2 回入力します。

セキュリティを設定する

本機と SIM カードの設定を変更するには、変更する対象を選択してから [オプション] > [変更] の順に選択します。

電話が特定のユーザグループに制限されている場合でも、本機に登録された一般の緊急電話番号に電話をかけることができます。

次のものを設定します。

- [PIN コード要求] — [オン] を選択すると、電源を入れるたびに PIN コードの入力が求められます。この設定は、電源が切れているときは変更できません。一部の SIM カードは、PIN コード要求をオフにすることはできません。
- [PIN コード] — PIN コードを変更します。PIN コード（4 ～ 8 桁）は、SIM カードの不正使用を防止します。PIN コードは、SIM カードの購入時に提供されます。PIN コードを誤って 3 回連続して入力すると、PIN コードがブロックされます。再び SIM カードを使用するためには、PUK コードを使用してロックを解除する必要があります。
- [PIN2 コード] — PIN2 コードを変更します。PIN2 コード（4 ～ 8 桁）は、一部の機能を使用する際に必要になります。PIN2 コードは、SIM カードの購入時に提供されます。PIN2 コードを誤って 3 回連続して入力すると、PIN2 コードがブロックされます。再び SIM カードを使用するためには、PUK2 コードを使用してロックを解除する必要があります。

- [自動ロックまでの時間] — 自動的にロックされるタイムアウトを設定します。正しいロックコードを入力した場合にのみ本機を使用できます。タイムアウト時間を分で入力するか、[なし] を選択して [自動ロックまでの時間] をオフにします。本機がロックされているときでも、着信電話に応答したり、緊急電話番号として本機に登録された海外の緊急電話番号には電話をかけることができます。(注 : 日本の「 110」、「119」にはかけられませんのでご注意ください。)
- [ロックコード] — ロックコードを変更します。新しいコードの長さは 4 ~ 256 文字です。英数字および大文字小文字を使用できます。ロックコードが正しくないとメッセージが表示されます。以前に使用したロックコードは記憶されているため、同じロックコードを何度も使用することはできません。事前設定のコードは 12345 です。不正使用を防ぐために、ロックコードは変更してください。新しいコードは秘密にし、本機とは別の安全な場所で保管します。
- [SIM 変更時にロック] — 本機に新しい SIM カードが挿入されると、ロックコードを要求するように設定します。所有者のカードと認められる SIM カードのリストが保持されています。
- [リモートロック許可] — このオプションをオンにしている場合、別の電話機から事前に設定してある SMS を送信することで本機をロックできます。このオプションをオンにした場合は、リモートロックメッセージを入力し、メッセージを確認する必要があります。メッセージの長さは 5 文字以上必要です。
- [限定ユーザグループ] (ネットワークサービス) — 特定のグループの人を電話の発着信の相手に指定できます。
- [SIM サービス確認] (ネットワークサービス) — SIM カードサービスを使用している場合、確認メッセージを表示するように設定します。

規制パスワードを変更する

音声、ファックス、およびデータ通信を規制するために使用したパスワードを変更するには、 > [ツール] > [設定] > [発着信規制] > [通常電話の発着信規制] > [オプション] > [規制パスワード編集] の順に選択します。現在のコードを入力して、次に、新しいコードを 2 回入力します。規制パスワードの長さは 4 桁です。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

指定ダイヤル

指定ダイヤルが有効のときでも、緊急電話番号として本機に登録された番号には電話をかけることができます。(注 : 日本の「110」、「119」にはかけられませんのでご注意ください。」

 > [電話帳] > [オプション] > [SIM 電話帳] > [指定ダイヤル電話帳] の順に選択します。

指定ダイヤルサービスでは、かけられる電話番号を特定の電話番号のみに制限します。このサービスは、すべての SIM カードがサポートしているわけではありません。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

[オプション] を選択して、次の中から選択します。

- [指定ダイヤル使用] — 本機から発信できる番号を制限します。指定ダイヤルをオンまたはオフにしたり、指定ダイヤルの電話帳を変更するには、PIN2 コードが必要です。コードが提供されていない場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。
- [新規 SIM 電話帳登録] — 電話を許可する番号リストに電話番号を追加します。連絡先の名前と電話番号を入力します。国番号で電話を制限するには、[新規 SIM 電話帳登録] に + および国番号を入力してください。電話を許可する電話番号にはすべて、この国番号が先頭に付きます。
- [電話帳から追加] — [電話帳] の連絡先を指定ダイヤルリストにコピーします。

ヒント： 指定ダイヤルサービスが有効なときに、[SIM 電話帳] に SMS を送信するには、指定ダイヤルリストに SMS センター番号を追加する必要があります。

本機から通話できる電話番号を表示または編集するには、[オプション] > [SIM 電話帳] > [指定ダイヤル電話帳] の順に選択します。

連絡先に電話をかけるには、開始キーを押します。

電話番号を変更するには、[オプション] > [編集] の順に選択します。指定ダイヤル番号を変更するには、PIN2 コードが必要です。

連絡先を削除するには、クリア BS を押します。

電話帳

 > [電話帳] の順に選択します。

電話番号、アドレスなどのすべての電話帳情報を管理します。電話帳には個人用の着信音、ボイスタグ、サムネール画像を登録できます。電話帳情報は、互換性のある機種の携帯電話に送信することができます。また、互換性のある機種の携帯電話からビジネスカードとして受信し、自分の電話帳に追加することができます。

電話帳を登録する

連絡先を追加するには、[オプション] > [新規電話帳登録] の順に選択します。連絡先の情報を入力して、[OK] を選択します。

電話帳を編集する

電話帳の情報を編集するには、編集する連絡先にスクロールし、[オプション] > [編集] の順に選択します。次のオプションの中から選択します。

- [画像追加] — 登録してある電話番号から電話があると表示されるサムネール画像を追加します。画像は、本機またはメモリカードに事前に保存されている必要があります。
- [画像削除] — 各連絡先から画像を削除します。
- [詳細情報追加] — [肩書き] などの情報フィールドを各連絡先に追加します。
- [詳細情報削除] — 各連絡先に追加した詳細情報を削除します。
- [タイトル変更] — 各連絡先のフィールド名を変更します。

電話帳を利用する

電話帳から電話をかける

 > [電話帳] の順に選択します。

1. 電話をかける相手の電話帳を選択します。

   検索フィールドに名前の最初の文字を入力すると、合致する名前リストが表示されます。
2. 開始キーを押します。

ワンタッチダイヤルで電話をかける

あらかじめワンタッチダイヤルを利用可能に設定する必要があります。

「ワンタッチダイヤル」(P.43) を参照してください。

ワンタッチダイヤルで電話をかけるには、待受画面で、登録したダイヤルキーを長く押します。

声で電話をかける

登録されたボイスタグを発声し、電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

- ボイスタグは、電話帳 に登録されている名前やニックネームから自動生成され、ボイスタグを発声すると電話番号を呼び出します。
- 本機はメインユーザの発声に順応し、正確にボイスタグを認識する機能を持っています。

注意：ボイスタグを雑音のある場所で使用したり、緊急時に使用するのは困難な場合がありますので、音声ダイヤルにだけ頼らないようにしてください。

「ボイスキーで電話をかける」（P.131）を参照してください。

電話帳グループを設定する

電話帳グループを作成すると、同時に複数の受信者にテキストや E-mail を送信できます。

1. 右にスクロールして、**[オプション]** > **[新規グループ]** の順に選択します。
2. グループの名前を入力するか、デフォルト名をそのまま使用して、**[OK]** を選択します。
3. グループを開いて、**[オプション]** > **[メンバ追加]** の順に選択します。
4. グループに追加するメンバーにスクロールして、ジョイスティックを押し、マークします。
5. **[OK]** を選択すると、マークしたすべてのメンバーがグループに追加されます。電話帳グループ画面で **[オプション]** を選択した場合は、次のものを指定できます。
   - **[PTT オプション]** — 個人またはグループにプッシュトゥートークを発信したり、コールバック要求を送信できます。
   - **[開く]** — グループを開いて、グループメンバーを表示します。
   - **[新規メール作成]** — メールを送信します。
   - **[新規グループ]** — 新しい電話帳グループを作成します。
   - **[削除]** — 電話帳グループを削除します。
   - **[名前変更]** — 電話帳グループ名を変更します。
   - **[着信音]** — 電話帳グループに着信音を割り当てます。
   - **[電話帳情報]** — 電話帳グループの情報を表示します。
   - **[設定]** — 電話帳グループメンバーの名前表示を設定します。

デフォルト情報を管理する

各連絡先に複数の番号またはアドレスが保存されている場合、デフォルトの番号またはアドレスを割り当てることで、簡単にデフォルトの番号またはアドレスに電話をかけたり、メールを送信することができます。

各連絡先のデフォルト情報を変更するには、その連絡先を開いて、[オプション] > [デフォルト値設定] の順に選択します。デフォルトとして設定する番号またはアドレスを選択し、[OK] を選択します。

デフォルトの番号またはアドレスには、下線が付きます。

SIM フォルダ

[オプション] > [SIM 電話帳] > [SIM フォルダ] の順に選択して、SIM カードに保存されている名前と番号を表示します。SIM フォルダでは [電話帳] に番号を追加、編集、およびコピーしたり、電話をかけることができます。

SIM カードサービスの使用についての情報は、SIM カードベンダーにお問い合わせください。SIM カードベンダーとは、サービスプロバイダ、携帯電話事業者、またはその他の業者をさします。

SIM カードと内蔵メモリとの間で電話帳をコピーする

SIM カードから本機に電話帳をコピーするには、[オプション] > [SIM 電話帳] > [SIM フォルダ] の順に選択して SIM フォルダを開きます。[オプション] > [マーク / マーク解除] > [マーク / すべてをマーク] > [電話帳にコピー] の順に選択します。

本機から SIM カードに電話帳をコピーするには、[オプション] > [SIM フォルダにコピー] の順に選択します。コピーする連絡先をマークするか、[すべてをマーク] を選択してすべての連絡先をコピーします。[オプション] > [SIM フォルダにコピー] の順に選択します。

自分の電話番号を確認する

> [電話帳] > [オプション] > [SIM 電話帳] > [SIM フォルダ] の順に選択します。

[オプション] > [自局電話番号] を選択すると表示されます。

各連絡先の着信音を選択する

各連絡先または電話帳グループの着信音を選択します。発信者が電話をかけるときに電話番号を通知し、本機がその番号を認識すると登録した着信音が鳴ります。

各連絡先または各電話帳グループに着信音を指定するには、その連絡先または電話帳グループを開いて、[オプション] > [着信音] の順に選択します。着信音のリストが開きます。使用する着信音を選択して、[選択] を押します。

着信音の登録を削除するには、着信音のリストから [デフォルト音] を選択します。

ビジネスカード

 > [電話帳] の順に選択します。

各連絡先は、ビジネスカードとして vCard または Nokia コンパクトビジネスカード形式で送受信したり、表示、および保存することができます。

ビジネスカードは、SMS、MMS、E-mail や、赤外線および Bluetooth 無線接続を使用して、互換性のある電話機に送信することができます。

ビジネスカードを送信するには、電話帳から連絡先を選択し、[オプション] > [送信] の順に選択します。[SMS]、[MMS]、[E-mail]、[Bluetooth]、または [赤外線通信] から選択します。電話番号またはアドレスを入力するか、電話帳から受信者を追加します。[オプション] > [送信] の順に選択します。送信方法として SMS を選択した場合は、連絡先は画像なしで送信されます。

受信したビジネスカードを表示するには、表示された通知から [表示] を選択するか、[メール] 内の受信メールからメールを開きます。

受け取ったビジネスカードを保存するには、[オプション] > [ビジネスカード保存] の順に選択します。

また、削除するには、[オプション] > [削除] の順に選択します。

メール

> [メール] の順に選択します。

メールの送受信を行う前に、次のことを行ってください。

- 本機に SIM カードを装着して、携帯電話ネットワークのサービスエリア内であることを確認してください。
- 使用するメール機能をネットワークがサポートしていることと、その機能が SIM カードで有効になっていることを確認してください。
- インターネットアクセスポイント（IAP）を設定します。「アクセスポイント」（P.113）を参照してください。
- E-mail アカウントを設定します。「E-mail アカウントの設定」（P.76）を参照してください。
- SMS を設定します。「SMS の設定」（P.65）を参照してください。
- MMS を設定します。「MMS の設定」（P.69）を参照してください。

本機は SIM カードプロバイダを認識して、一部のメール設定を自動的に構成します。自動的に行われない場合は手動で行うか、ご契約されているサービスプロバイダ、携帯電話事業者、またはインターネットサービスプロバイダに問い合わせて設定してください。

[メール] アプリケーションのメールフォルダ内はリスト形式で表示され、最新のメールが最初に表示されます。

次の中から 1 つ選択します。

- [新規メール作成] — 新しい SMS、MMS、または E-mail を作成して送信します。
- [受信メール] — 受信したメールを表示します。ただし、E-mail およびセルブロードキャストメッセージを除きます。
- [マイフォルダ] — メールおよび定型文を保存するためのフォルダを作成します。
- [メールボックス] — 受信した E-mail を表示して返信します。
- [下書き] — 未送信のメールを保存します。
- [送信済みメール] — 送信済みのメールを保存します。
- [未送信メール] — 送信待ちのメールを表示します。
- [配信レポート] — 送信したメールの配信情報を表示します。

メールを整理する

メールを整理するために新しいフォルダを作成するには、[マイフォルダ] > [オプション] > [新規フォルダ] の順に選択します。フォルダ名を入力して、[OK] を選択します。

フォルダの名前を変更するには、フォルダを選択して、[オプション] > [フォルダ名変更] の順に選択します。新しいフォルダ名を入力して、[OK] を選択します。名前を変更できるのは、自分で作成したフォルダのみです。

メールを別のフォルダに移動するには、移動するメールを開いて、[オプション] > [フォルダへ移動] の順に選択します。フォルダを選択して、[OK] を選択します。

特定の順序でメールを並べ替えるには、[オプション] > [並べ替え] を選択します。[日付]、[送信者]、[件名]、または [メッセージタイプ] でメールを並べ替えられます。

メールを検索する

メールを検索するには、検索するフォルダを開き、[オプション] > [検索] を選択します。検索語を入力して、[OK] を選択します。

メッセージングの設定

[オプション] > [設定] の順に選択します。

メールを別の種類に設定または編集するには、[SMS]、[MMS]、[E-mail]、[サービスメッセージ]、[情報メッセージ]、または [その他] を選択します。

「SMS の設定」(P.65)、「MMS の設定」(P.69)、または「E-mail アカウントの設定」(P.76) を参照してください。

その他の設定

> [メール] > [オプション] > [設定] > [その他] の順に選択します。

次の中から選択します。

- [送信済みメッセージ保存] — 送信したメールを [送信済みメール] フォルダに保存するかどうかを指定します。
- [保存メッセージ数] — 保存する送信済みメールの数を入力します。指定した数に到達すると、最も古いメールが削除されます。
- [フォルダ表示] — 受信ボックス内のメールをどのように表示するかを設定します。
- [使用するメモリ] — 受信したメールを保存する場所を指定します。メモリカードが装着されている場合にのみ、メモリカードにメールを保存できます。

設定できる内容は異なる場合があります。

SMS

本機は、1 つのメールで送信できる文字数の制限を越えたメールの送信をサポートしています。長いメールは、複数のメールとして送信されます。サービスプロバイダは、それに応じた課金を行います。アクセント記号などの符号を使用する文字や、中国語などの言語オプションを使用すると、その分だけ多くのスペースが必要になるため、1 つのメールで送信できる文字数が少なくなります。

ナビゲーションバーのメッセージ長インジケータは、70（日本語の場合）から逆算した文字数を示します。たとえば、10 (2) は、2 つのメッセージとして送信するのに、あと 10 文字追加できることを示しています。

SMS を作成して送信する

 > [メール] > [新規メール作成] > [SMS] の順に選択します。

1. [宛先] フィールドで、[電話帳] から受信者を選びジョイスティックを押すか、受信者の携帯電話番号を直接入力します。複数の番号を入力する場合は、番号をセミコロンで区切ります。セミコロンを入力するには、記号 を押して、表示される記号リストからセミコロンを選択します。
2. SMS を入力します。定型文を使用するには、[オプション] > [挿入] > [定型文] の順に選択します。
3. [オプション] > [送信] の順に選択して、メールを送信します。

受信した SMS に返信する

SMS に返信するには、[受信メール] からメールを開きます。[オプション] > [返信] の順に選択します。SMS を入力して、[オプション] > [送信] の順に選択します。

SMS の送信者に電話をかけるには、[受信メール] からメールを開き、[オプション] > [電話をかける] の順に選択します。

SIM カード内の SMS

SMS は、SIM カード内に保存されている場合があります。SIM カード内のメールを表示するには、メールを本機のフォルダにコピーする必要があります。メールをフォルダにコピーした後で、それらのメールをフォルダで表示したり、SIM カードから削除することができます。

[オプション] > [SIM に保存されたメール] の順に選択します。

1. [オプション] > [マーク / マーク解除] > [マーク] または [すべてをマーク]（すべてのメールをマークする場合）の順に選択します。
2. [オプション] > [コピー] の順に選択します。

3. フォルダを選択して [OK] を選択するとコピーが開始されます。

SIM カード内のメールを表示するには、メールをコピーしたフォルダを開き、メールを開きます。

SIM カードから SMS を削除するには、削除するメールを選択して、クリア BS を押します。

SMS の設定

[オプション] > [設定] > [SMS] の順に選択します。

次のものを設定します。

- [メッセージセンター] — 本機で利用可能なメッセージセンターを表示します。
- [使用するメッセージセンター] — メールを送信するメッセージセンターを選択します。
- [文字エンコード] — 自動文字変換を使用して別のエンコードシステムにするには、[部分サポート] を選択します（利用可能な場合）。
- [配信レポート受信] — メールの配信レポートをネットワークから受け取る場合には、[はい] を選択します（ネットワークサービス）。
- [メッセージ有効期間] — 最初の送信に失敗したあと、メッセージセンターがメールを再送する期間を選択します（ネットワークサービス）。有効な期間内に受信者に届かない場合、メールはメッセージセンターから削除されます。
- [送信メッセージのタイプ] — メールを [SMS]、[FAX]、[ポケットベル]、または [E-mail] などの別の形式に変換します。このオプションは、メッセージセンターが SMS をこれらの形式に変換できる場合にのみ変更してください。携帯電話事業者にお問い合わせください。
- [優先する接続] — 本機から SMS を送信するときの優先接続方式を選択します。
- [同一センター経由で返信] — 同じ SMS センター番号を使用して返信メールを送信するかどうかを指定します（ネットワークサービス）。

画像メール

注意：画像メールの機能を使用するためには、ご契約されている携帯電話事業者やサービスプロバイダがそれをサポートしていなければなりません。さらに、画像メール機能を搭載した電話機でなければ、画像メールを受信し、表示することはできません。

> [メール] の順に選択します。

画像メールを表示するには、[受信メール] フォルダからメールを開きます。

画像メールを転送する

著作権保護により、一部の画像、音楽（着信音を含む）、その他のコンテンツはコピー、改ざん、譲渡、または転送が禁止されている場合があります。

1. [受信メール] で画像メールを開き、[オプション] > [転送] の順に選択します。
2. [宛先] フィールドに受信者の番号を入力するか、ジョイスティックを使用して [電話帳] から受信者を追加します。複数の番号を入力する場合は、番号をセミコロンで区切ります。
3. メッセージを入力します。最大 120 文字まで入力できます。定型文を使用するには、[オプション] > [ファイル添付] > [定型文] の順に選択します。
4. 開始キーを押して、メールを送信します。

MMS

MMS には文字や、画像、サウンドクリップ、ビデオクリップなどを含めることができます。

注意 : MMS を受信し表示できる電話機は、本機と互換性のある機能をもつものに限られます。メールがどのように表示されるかは、受信側の電話機に依存します。

本機で MMS を送受信する前に、MMS を設定する必要があります。本機は、SIM カードプロバイダを認識して、自動的に MMS 設定を構成する場合があります。構成されない場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。「MMS の設定」(P.69)を参照してください。

MMS を作成して送信する

MMS サービスのデフォルト設定は、通常オンになっています。

[新規メール作成] > [MMS] の順に選択します。

著作権保護により、一部の画像、音楽(着信音を含む)、その他のコンテンツはコピー、改ざん、譲渡、または転送が禁止されている場合があります。

1. [宛先] フィールドで、[電話帳] から受信者を選びジョイスティックを押すか、受信者の電話番号または E-mail アドレスを直接入力します。
2. [件名] フィールドに、メールの件名を入力します。表示されているフィールドを変更するには、[オプション] > [宛先フィールド] の順に選択します。
3. メッセージを入力し、[オプション] > [ファイル添付] の順に選択してメディアオブジェクトを追加します。[画像]、[サウンドクリップ]、[ビデオクリップ] などのオブジェクトを追加できます。
   無線ネットワークでは、MMS のサイズに制限があります。挿入した画像がこの制限を越えた場合、本機は画像サイズを小さくして MMS で送信します。

4. メールの各スライドには、ビデオクリップまたはオーディオクリップを 1 つだけ組み込めます。メールに複数のスライドを追加するには、[オプション] > [添付ファイル作成] > [スライド] の順に選択します。メールのスライドの順番を変更するには、[オプション] > [移動] の順に選択します。
5. 送信前に MMS をプレビューするには、[オプション] > [プレビュー] の順に選択します。
6. ジョイスティックを押して、MMS を送信します。

プレゼンテーションを作成する

[新規メール作成] > [MMS] の順に選択します。

1. [宛先] フィールドで、[電話帳] から受信者を選びジョイスティックを押すか、受信者の電話番号または E-mail アドレスを直接入力します。
2. [オプション] > [プレゼンテーション作成] の順に選択して、プレゼンテーションのテンプレートを選びます。

   ヒント : プレゼンテーションのテンプレートは、プレゼンテーションに組み込めるメディアオブジェクト、メディアオブジェクトを表示する位置、画像とスライド間での効果を設定します。
3. テキストエリアにスクロールして、テキストを入力します。
4. プレゼンテーションに画像、サウンド、ビデオ、メモを挿入するには、対応するオブジェクトエリアにスクロールして、[オプション] > [挿入] の順に選択します。

   ヒント : オブジェクトエリア間を移動するには、上下にスクロールします。
5. スライドを追加するには、[挿入] > [新規スライド] の順に選択します。
6. [オプション] を選択して、次の中から選びます。

- [プレビュー] — マルチメディアプレゼンテーションが開かれたときにどのように表示されるかを確認します。マルチメディアプレゼンテーションは、プレゼンテーションをサポートする互換性のある電話機でのみ表示されます。電話機が異なると、表示も異なる場合があります。
- [バックグラウンド設定] — プレゼンテーションの背景色や、異なるスライドに背景画像を選びます。
- [効果設定] — 画像またはスライド間の効果を選択します。

[MMS 作成モード] が [制約あり] に設定されている場合は、マルチメディアプレゼンテーションを作成できません。[MMS 作成モード] を変更するには、[メール] > [オプション] > [設定] > [MMS] の順に選択します。

利用できるオプションは異なる場合があります。

ジョイスティックを押して、MMS を送信します。

ヒント : 送信せずに [下書き] にメールを保存するには、[終了] を選択します。

MMS の受信と返信

重要 : MMS を構成する要素には、ウイルスや、本機および PC にとって有害な内容が含まれていることがあります。送信者の信頼性を確信できない場合には、添付ファイルを開かないでください。

本機で MMS を送受信する前に、MMS を設定する必要があります。本機は、SIM カードプロバイダを認識して、自動的に MMS 設定を構成する場合があります。構成されない場合は、サービスプロバイダにお問い合わせください。「MMS の設定」(P.69)を参照してください。

本機でサポートされないオブジェクトが含まれた MMS を受信した場合には、それを開くことはできません。

1. MMS に返信するには、[受信メール] からメールを開いて、[オプション] > [返信] の順に選択します。
2. [オプション] > [送信者へ返信] の順に選択して、MMS で送信者に返信するか、[オプション] > [SMS] の順に選択して SMS で返信します。
3. メッセージを入力し、ジョイスティックを押して送信します。

プレゼンテーションを表示する

[受信メール] を開いて、プレゼンテーションを含む MMS にスクロールし、ジョイスティックを押します。次に、表示するプレゼンテーションにスクロールして、ジョイスティックを押します。

プレゼンテーションを一時停止するには、ディスプレイの下にあるどちらかのソフトキーを押します。

プレゼンテーションを一時停止にするか再生を終了した場合は、[オプション] を選択して、次の中から選びます。

- [リンクを開く] —ウェブリンクを開いてウェブページを閲覧します。
- [スクロール有効] — テキストや、ディスプレイに入りきらない大きな画像をスクロールします。
- [続行] — プレゼンテーションを続きから再生します。
- [再生] — プレゼンテーションを最初から再生します。
- [検索] — プレゼンテーションに含まれている電話番号や、E-mail アドレスまたは ウェブアドレスを見つけます。これらの番号またはアドレスを使用して、電話をかけたり、メールを送信したり、ブックマークを作成することができます。

利用できるオプションは異なる場合があります。

メディアオブジェクトを表示する

[受信メール] を開いて、受信した MMS にスクロールし、ジョイスティックを押します。[オプション] > [添付リスト] の順に選択します。

メディアオブジェクトを表示または再生するには、それにスクロールしてジョイスティックを押します。

メディアオブジェクトおよびメールの添付ファイルにウイルスや、有害なソフトウェアが含まれている場合があります。送信者の信頼性を確信できない場合には、オブジェクトおよび添付ファイルを開かないでください。

メディアオブジェクトを対応するアプリケーションに保存するには、そのオブジェクトにスクロールして、[オプション] > [保存] を選択します。

対応機種の電話機にメディアオブジェクトを送信するには、そのオブジェクトにスクロールして、[オプション] > [送信] を選択します。

ヒント ：本機で開けないメディアオブジェクトを含む MMS を受信した場合は、これらのオブジェクトをコンピュータなどの別の装置に送信できます。

MMS の設定

[オプション] > [設定] > [MMS] の順に選択します。

次のものを設定します。

- [画像サイズ] — MMS の画像のサイズを変更するには、[小] または [大] を選択します。MMS の元の画像サイズを維持する場合は、[オリジナル] を選択します。
- [MMS 作成モード] — MMS に、ネットワークまたは受信側の電話機がサポートしないコンテンツを含まないようにするには、[制約あり] を選択します。このようなコンテンツが含まれている場合に警告を受けるには、[確認メッセージ付き] を選択します。添付の種類に制限なく MMS を作成するには、[制約なし] を選択します。[制約あり] を選択すると、マルチメディアプレゼンテーションを作成することはできません。
- [使用するアクセスポイント] — MMS センターに接続するデフォルトのアクセスポイントを選択します。デフォルトのアクセスポイントがサービスプロバイダによって事前に設定されている場合は、変更できない可能性があります。

- [MMS 受信] — 常に MMS を自動的に受信する場合は [常時自動] を選択します。海外旅行に行き、ご契約のネットワークの圏外にいた場合などに、メッセージセンターから取得可能な新しい MMS についての通知を受け取るには、[契約ネットワークで自動] を選択します。また、メッセージセンターから手動で MMS を取得する場合は、[手動] を選択し、MMS を受け取らない場合は [オフ] を選択します。
- [匿名メッセージ受信許可] — 知らない送信者からのメールを受信するかどうかを指定します。
- [広告受信] — 広告メールを受信するかどうかを指定します。
- [配信レポート受信] — 送信メールのステータスをログに表示するには [はい] を選択します（ネットワークサービス）。E-mail アドレス宛に送信された MMS の配信レポートは受け取ることはできません。
- [配信レポート送信拒否] — 受信した MMS の配信レポートを本機から送信しない場合は [はい] を選択します。
- [メッセージ有効期間] — メッセージセンターでメールが再送される期間を指定します（ネットワークサービス）。有効な期間内に受信者にメールが届かない場合、そのメールは MMS センターから削除されます。[最長有効期間] は、ネットワークで許可される最大時間です。

E-mail

E-mail を送受信するには、リモートメールボックスサービスが必要になります。このサービスは、インターネットサービスプロバイダ、ネットワークサービスプロバイダによって提供されます。本機は、インターネット標準の SMTP、IMAP4（リビジョン 1）、および POP3 や、別のプッシュ型の E-mail ソリューションに準拠しています。E-mail プロバイダによっては、本書で説明する設定および機能と異なるサービスを提供する場合があります。詳細については、ご契約の E-mail プロバイダおよびサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機で、メールの送受信、メッセージセンターから取得、返信、転送などの操作を行うには、次のことを行う必要があります。

- インターネットアクセスポイント（IAP）を設定します。「アクセスポイント」（P.113）を参照してください。
- E-mail アカウントを作成し、E-mail について正確に設定します。「E-mail アカウントの設定」（P.76）を参照してください。

設定の詳細については、ネットワークおよびインターネットサービスプロバイダまたは携帯電話事業者にお問い合わせください。

E-mail を設定する

E-mail アカウントを設定せずに [メールボックス] を選択すると、E-mail アカウントを設定するよう求められます。メールボックス設定ウィザードに従って E-mail アカウントの設定を開始するには、[はい] を選択します。

1. E-mail 設定を開始するには、[開始] を選択します。
2. [メールボックスタイプ] で [IMAP4] または [POP3] を選び、[次へ] を選択します。

ヒント : POP3 は、E-mail またはインターネットメールメッセージの保存および取得に使用されるポストオフィスプロトコルです。IMAP4 は、E-mail サーバが保存している E-mail にアクセスしたり、管理することができるインターネットメッセージアクセスプロトコルです。メールのダウンロードにどちらかを選ぶことができます。

3. [自分の E-mail アドレス] に E-mail アドレスを入力します。[次へ] を選択します。
4. [受信メールサーバ] に、E-mail を受信するリモートサーバの名前を入力し、[次へ] を選択します。
5. [送信メールサーバ] に、E-mail を送信するリモートサーバの名前を入力し、[次へ] を選択します。ご契約の携帯電話事業者によっては、E-mail プロバイダの送信メールサーバではなく、携帯電話会社のメールサーバを使用しなければならない場合があります。
6. [使用するアクセスポイント] で、E-mail の取得に使用するインターネットアクセスポイントを選択します。[常に確認] を選択した場合は、E-mail の取得を開始するたびに使用するアクセスポイントが確認されます。アクセスポイントを選択した場合は、自動的に接続します。[次へ] を選択します。

ヒント : [グループ選択] を選択した場合、アクセスポイントグループの中から最も適切なインターネットアクセスポイントを使用して、自動的に接続します。アクセスポイントグループを選択し、[戻る] で選択内容を保存します。

7. 新しいメールボックスの名前を入力して、[終了] を選択します。

新しいメールボックスを作成すると、[メール] メイン画面の [メールボックス] がメールボックスに指定した名前に代わります。

デフォルトのメールボックスを選択する

複数のメールボックスを設定した場合、その中から 1 つをデフォルトのメールボックスとして指定できます。デフォルトのメールボックスを設定するには、[オプション] > [設定] > [E-mail] > [デフォルト メールボックス] の順に選択して、メールボックスを選びます。

複数のメールボックスを設定した場合は、毎回新しい E-mail の作成時に使用するメールボックスを選択する必要があります。

E-mail キーを設定する

本機には E-mail キーがあります。E-mail キーを使用すると、待受画面の機能拡張画面で、E-mail のデフォルトの受信メールフォルダにアクセスしたり、デフォルトの E-mail エディタを開くことができます。メールボックスのサービスプロバイダによって機能が異なります。

E-mail キーを設定するには、 > [ツール] > [E-mail キー] の順に選択します。E-mail キーで使用する E-mail アカウントを選択します。

メールボックスに接続する

注意 : 本機は E-mail を自動的に受信しません。E-mail はリモート メールボックスで受信されます。E-mail を読むには、最初にリモート メールボックスに接続する必要があります。接続したら、本機にダウンロードする E-mail を選択します。E-mail の送受信には、E-mail サービスの登録が必要です。本機でメールボックスをセットアップするには、[メール] > [オプション] > [設定] > [E-mail] > [オプション] > [新規メールボックス] の順に選択します。正しい設定については、ご契約のサービスプロバイダにお問い合わせください。

受信した E-mail を本機にダウンロードしてオフラインで表示するには、[メール] メイン画面でメールボックスを選択します。[メールボックスに接続しますか ?] が表示されたら、[はい] を選択します。

フォルダ内の E-mail を表示するには、そのフォルダにスクロールしてジョイスティックを押します。表示するメールにスクロールして、ジョイスティックを押します。

本機に E-mail をダウンロードするには、[オプション] > [E-mail 受信] の順に選択します。ダウンロードしていない未読の新しいメールを取得するには [新着] を選択します。リモート メールボックスから選択したメールのみをダウンロードするには [選択したメッセージ] を選択します。前にダウンロードしていないメールをすべて取得するには [すべて] を選択します。

リモート メールボックスから切断するには、[オプション] > [切断] の順に選択します。

オフラインで E-mail を表示する

オフラインでの作業とは、本機がリモート メールボックスに接続していない状態を指します。E-mail をオフラインで管理することで、接続料金を節約でき、データ接続を許可しない状態での作業が可能になります。オフラインで行ったリモート メールボックスフォルダへの変更は、オンラインにして同期するとリモート メールボックスに反映されます。たとえば、オフラインのときに本機から E-mail を削除した場合、その E-mail は、次回リモート メールボックスに接続したときに削除されます。

1. [メール] > [オプション] > [設定] > [E-mail] の順に選択します。E-mail アカウントを選択して、ジョイスティックを押します。[受信設定] > [受信する E-mail] > [メッセージと添付ファイル] の順に選択すると、添付ファイルを含むすべてのメールをダウンロードします。
2. メールボックスを開いて、[オプション] > [E-mail 受信] の順に選択します。ダウンロードしていない未読の新しいメールを取得するには、[新着] を選択します。リモート メールボックスから選択したメールのみをダウンロードするには、[選択したメッセージ] を選択します。前にダウンロードしていないメールをすべて取得するには、[すべて] を選択します。オンラインになりメールボックスに接続すると、メールをダウンロードします。
3. E-mail をダウンロードしたら、[オプション] > [切断] の順に選択してオフラインモードにします。
4. E-mail を表示するには、それにスクロールしてジョイスティックを押します。

一部のオプションの使用には、リモート メールボックスへの接続が必要になる場合があります。

ヒント ：リモート メールボックスの別のフォルダに登録するには、[E-mail 設定] > [受信設定] > [フォルダ登録] の順に選択します。登録したした全フォルダ内の E-mail は、リモート メールボックスから E-mail をダウンロードすると更新されます。

E-mail 着信ライト

新着の E-mail を受け取ったときに点滅するように着信ライトを設定できます。

> [メール] > [オプション] > [設定] > [E-mail] の順に選択します。E-mail アカウントを選択して、[インジケータの設定] を選択します。点滅する時間を選択するか、点滅なしを選択します。

E-mail を読んで返信する

重要 : E-mail にはウイルスや、本機および PC にとって有害な内容が含まれていることがあります。送信者の信頼性を確信できない場合には、添付ファイルを開かないでください。

受信した E-mail を読むには、その E-mail にスクロールし、ジョイスティックを押します。

メールボックス内で E-mail を検索するには、[オプション] > [検索] の順に選択します。検索語を入力して、[OK] を選択します。

添付ファイルを開くには、[オプション] > [添付ファイル] の順に選択します。開く添付ファイルにスクロールして、ジョイスティックを押します。

E-mail の送信者にのみ返信するには、その E-mail を開いて、[オプション] > [返信] > [送信者へ返信] の順に選択します。

E-mail のすべての受信者に返信するには、その E-mail を開いて、[オプション] > [返信] > [全員に返信] の順に選択します。

ヒント : 添付ファイルを含む E-mail に返信する場合、返信メールにそのファイルは添付されません。受信した E-mail を転送する場合は、添付ファイルも転送されます。

送信する E-mail から添付ファイルを削除するには、添付ファイルを選択して、[オプション] > [添付ファイル] > [削除] の順に選択します。

メールの優先順位を設定するには、選択可能なオプションから [オプション] > [送信オプション] > [優先度] の順に選択します。

E-mail の送信者に電話をかけるには、その E-mail を開いて、[オプション] > [電話をかける] の順に選択します。

E-mail の送信者に SMS または MMS で返信するには、その E-mail を開いて、[オプション] > [新規メール作成] の順に選択します。

E-mail を転送するには、その E-mail を開いて、[オプション] > [転送] の順に選択します。

メールを削除する

メモリ容量を確保するためには、定期的に [受信メール] および [送信済みメール] フォルダからメールを削除します。

メールを削除するには、そのメールにスクロールして、クリア BS を押します。

本機のローカルの E-mail を削除して、サーバ上のオリジナルメールは保存することを選択できます。また、ローカルの E-mail とサーバ上のオリジナルメールの両方を削除することを選択することもできます。

本機からローカルの E-mail のみを削除するには、[オプション] > [削除] > [電話機] の順に選択します。

本機とリモートサーバの両方から E-mail を削除するには、その E-mail を開いて、[オプション] > [削除] > [電話機とサーバー] の順に選択します。

E-mail フォルダ

リモートサーバで IMAP4 メールボックスのサブフォルダを作成した場合、本機からこれらのフォルダを表示して管理できます。IMAP4 メールボックス内のフォルダにのみ登録できます。リモートメールボックスのフォルダに登録することで、これらのフォルダを携帯電話で表示することができます。

IMAP4 メールボックス内のフォルダを表示するには、接続してから、[オプション] > [E-mail 設定] > [受信設定] > [フォルダ登録] の順に選択します。

リモートフォルダを表示するには、フォルダを選択して [オプション] > [フォルダリスト更新] の順に選択します。オンラインになるたびに、登録したフォルダが更新されます。フォルダのサイズが大きいと多少時間がかかります。

フォルダのリストを更新するには、[オプション] > [フォルダリスト表示] の順に選択します。

E-mail を作成して送信する

E-mail を作成するには、[オプション] > [宛先追加] の順に選択して受信者の E-mail アドレスを電話帳から選ぶか、[宛先] フィールドに E-mail アドレスを入力します。受信者が複数の場合は、セミコロンで区切ります。下にスクロールして、[Cc] フィールドにこのメールのコピーを受け取る受信者を指定するか、[Bcc] フィールドにブラインドコピーを受け取る受信者を指定します。[件名] フィールドに、E-mail の件名を入力します。E-mail をテキストエリアに入力して、[オプション] > [送信] の順に選択します。

E-mail にファイルを添付するには、[オプション] > [挿入] の順に選択し、追加する添付ファイルを選択します。画像、サウンドクリップ、メモなどを添付できます。

E-mail の送信時間をセットするには、[オプション] > [送信オプション] > [メッセージ送信] の順に選択します。オフラインで作業している場合は、[直ちに送信] または [接続有効時] を選択します。

E-mail は送信される前に [未送信メール] に保管されます。E-mail を直ちに送信しない限り、[未送信メール] を開いて送信を保留および再送信したり、E-mail を表示することができます。

E-mail アカウントの設定

> [メール] > [メールボックス] > [オプション] > [開く] > [オプション] > [E-mail 設定] の順に選択します。

設定できる内容は異なる場合があります。一部の設定は、サービスプロバイダによって事前に設定されている場合があります。

まだ E-mail アカウントを設定していないときにメールボックス設定を編集しようとすると、メールボックスガイドが開きます。ガイドに従って E-mail アカウントを設定してください。

受信 E-mail サーバを設定する

[接続設定] > [受信 E-mail サーバ] の順に選択して、次の設定から選びます。

- [ユーザ名] — E-mail のユーザ名を入力します。
- [パスワード] — E-mail のパスワードを入力します。
- [受信メールサーバ] — E-mail を受信するサーバの IP アドレスかホスト名を入力します。
- [使用するアクセスポイント] — E-mail のダウンロードに使用するインターネットアクセスポイントを選択します。
- [メールボックス名] — メールボックスの名前を入力します。
- [メールボックスタイプ] — リモートメールボックスのサービスプロバイダが推奨するメールボックスプロトコルを選択します。[POP3] および [IMAP4] を選択します。この設定は一度しか選択できず、メールボックス設定を保存または終了した後で変更することはできません。POP3 プロトコルを使用する場合は、オンラインになっても E-mail は自動的に更新されません。最新の E-mail を見るには、メールボックスへの接続を切断し、新たに接続する必要があります。
- [セキュリティ (ポート)] — 接続のセキュリティを強化するために使用するセキュリティオプションを選択します。
- [ポート] — 接続に使用するポートを設定します。
- [APOP 安全ログイン]（POP3 の場合のみ）— メールボックスに接続している間、POP3 プロトコルと共に使用してリモート E-mail サーバに送信するパスワードを暗号化します。

送信 E-mail サーバを設定する

[接続設定] > [送信 E-mail サーバ] の順に選択して、次の設定から選びます。

- [自分の E-mail アドレス] — サービスプロバイダから提供された E-mail アドレスを入力します。メールへの返信は、このアドレスに送られます。
- [ユーザ名] — E-mail のユーザ名を入力します。
- [パスワード] — E-mail のパスワードを入力します。
- [送信メールサーバ] — E-mail を送信するメールサーバの IP アドレスかホスト名を入力します。ご契約の携帯電話事業者の送信サーバしか使用できない場合があります。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。
- [使用するアクセスポイント] — E-mail の送信に使用するインターネットアクセスポイントを選択します。
- [セキュリティ (ポート)] — リモートメールボックスに安全に接続するために使用するセキュリティオプションを選択します。
- [ポート] — 接続に使用するポートを設定します。

ユーザ設定

[ユーザ設定] を選択して、次の設定から選びます。

- [自分の名前] — お客様の名前を入力します。設定しておくと、入力した名前が E-mail アドレスの代わりに E-mail 受信者の電話機に表示されます。E-mail 受信者の電話機がこの機能をサポートしている必要があります。
- [メッセージ送信] — E-mail の送信方法を設定します。[直ちに送信] を選択すると、[メッセージ送信] を選択した場合、E-mail は直ちに送信されます。[次回接続時] を選択すると、E-mail は次回リモートメールボックスへ接続された場合に送信されます。
- [自分にコピー送信] — E-mail のコピーをリモートメールボックスに保存するか、[送信 E-mail] の設定で [自分の E-mail アドレス] に設定したアドレスに保存するかを選択します。
- [署名添付] — E-mail に署名を付けるかどうかを選択します。
- [新着 E-mail の通知] — メールボックスに新着 E-mail が受信されたときに通知するかしないかを選択します。
- [返信アドレス] — 返信を別のアドレスに転送する場合に選択します。[オン] を選択して、返信の宛先の E-mail アドレスを入力します。返信の宛先に指定できるのは 1 つのアドレスのみです。

- [E-mail 削除先] — E-mail を本機からのみ削除するのか、本機とメールサーバの両方から削除するのかを選択します。E-mail を削除するたびに、どこから削除するかを確認する場合は [常に確認] を選択します。

メールの受信設定

[受信設定] を選択して、次の設定から選びます。

- [受信する E-mail]（POP3 メールボックスの場合のみ）— 送信者、件名、日付などの E-mail のヘッダー情報のみを取得するか、E-mail をダウンロードするか、添付ファイルと共に E-mail をダウンロードするかを選択します。
- [受信件数] — リモートサーバからローカルのメールボックスにダウンロードする E-mail の数を選択します。

メールの自動受信設定

メールボックスを選択し、[メールボックス選択] > [E-mail 設定] > [自動受信] を選択して、[ヘッダー受信] > [オプション] > [変更] から次の内容を選びます。

- [常に有効]
- [契約ネットワーク内のみ]
- [無効]

選択後、最後に [OK] を押します。

- [ヘッダー受信] — リモートメールボックスに新着 E-mail が受信されたときに通知するかしないかを選択します。常に、リモートメールボックスから新着 E-mail を自動的に受信する場合は [常に有効] を選択します。ご契約のネットワーク圏内にいる場合にのみ、リモートメールボックスから新着 E-mail を自動的に受信するには、[契約ネットワーク内のみ] を選択します。旅行などでネットワークの圏外にいる場合は受信しません。
- [接続曜日選択] — E-mail を本機に受信する日を選択します。
- [接続時間] — E-mail を受信する時間を設定します。
- [接続開始] — 新着 E-mail を受信する間隔を選択します。

インスタント メッセージ

> [外部接続] > [IM] の順に選択します。

インスタント メッセージ（IM）（ネットワークサービス）では、ほかの人と会話したり、特定のトピックでディスカッションフォーラム（IM グループ）に参加することができます。さまざまなサービスプロバイダが IM サーバを提供しており、IM サービスに登録すると、このサーバにログインすることができます。サービスプロバイダによって、サポート方法が異なる場合があります。

ご契約の無線サービスプロバイダで IM を利用できない場合は、メニューに IM が表示されません。IM サービスの入会と利用料金については、ご契約のサービスプロバイダにお問い合わせください。IM 設定の入手方法についての情報は、ご契約の携帯電話事業者、サービスプロバイダ、またはディーラーにお問い合わせください。

IM サービスを提供する携帯電話事業者またはサービスプロバイダから、特別な SMS で設定を受け取ります。利用するサービスにアクセスするには、その設定を保存する必要があります。設定は手動で入力することも可能です。

IM サーバに接続する

IM ユーザと会話をしたり、IM 連絡先を表示または編集するには、インスタント メッセージサーバにログインする必要があります。[IM] を開いて、[オプション] > [ログイン] の順に選択します。ユーザ ID とパスワードを入力し、ジョイスティックを押してログインします。ログインに必要なユーザ名、パスワード、およびその他の設定は、サービスの登録手続きを行う際にサービスプロバイダから提供されます。

IM ユーザや IM グループを検索する

IM ユーザおよびユーザ ID を検索するには、[IM 電話帳] > [オプション] > [新規 IM 電話帳] > [サーバで検索] の順に選択します。[ユーザ名]、[ユーザ ID]、[電話番号]、および [E-mail アドレス] で検索することができます。

IM グループおよびグループ ID で検索するには、[IM グループ] > [オプション] > [検索] の順に選択します。[グループ名]、[トピック]、および [メンバ]（ユーザ ID）で検索することができます。

1人のIMユーザと会話する

[会話] 画面には、進行中の会話に参加している個人のリストが示されます。進行中の会話は、IMを終了すると自動的に終了します。

会話を表示するには、参加者にスクロールし、ジョイスティックを押します。

会話を継続するには、メッセージを入力し、ジョイスティックを押します。

会話を終了せずに会話リストに戻るには、[戻る] を選択します。会話を終了するには、[オプション] > [会話終了] の順に選択します。

新しい会話を開始するには、[オプション] > [新規会話] の順に選択します。アクティブな別の会話を行っている間に、異なる連絡先と新しい会話を開始することができます。ただし、1人に対して同時に2つのアクティブな会話を行うことはできません。

インスタントメッセージに画像を挿入するには、[オプション] > [画像送信] の順に選択してから、送信する画像を選択します。

会話の参加者をIM電話帳に保存するには、[オプション] > [IM電話帳に登録] の順に選択します。

会話画面を表示している間に、会話を保存するには、[オプション] > [チャット記録] の順に選択します。会話はテキストファイルとして保存されます。このテキストファイルは、「ノート」アプリケーションで開いたり表示することができます。

着信メッセージに自動応答を送信するには、[オプション] > [自動返信] の順に選択します。このように設定してもメッセージは受信できます。

IMグループ

[IM グループ] 画面には、保存されたIMグループか、現在参加しているグループのリストが表示されます。

[IMグループ] は、IMアプリケーションを開いてIMサーバにログインし、そのサーバがIMグループをサポートする場合にのみ利用できます。

IMグループを作成するには、[オプション] > [新規グループ作成] の順に選択します。

IMグループに参加したり、グループでの会話を継続するには、そのグループにスクロールして、ジョイスティックを押します。メッセージを入力し、開始キーを押してそれを送信します。

リストに含まれていないグループIDで、グループIDがわかるIMグループに参加するには、[オプション] > [新規グループ参加] の順に選択します。

IMグループからログアウトするには、[オプション] > [ログアウト] の順に選択します。

IMグループを削除するには、クリア BS を押します。

グループへの参加禁止

IM グループにスクロールして、[オプション] > [グループ] > [設定] > [除外リスト] の順に選択します。

IM ユーザがグループに参加しないようにするには、[オプション] > [除外リストに追加] > [ユーザ ID 入力] の順に選択し、IM ユーザの ID を入力します。

参加を禁止したユーザをグループに参加させるには、[オプション] > [削除] の順に選択します。

IM 電話帳

IM サービスへのログインが完了すると、サービスプロバイダの連絡先リストが自動的にダウンロードされます。自分の連絡先リストが利用できない場合、数分待ってから手動で連絡先リストを取得してください。

ヒント : IM 電話帳のオンラインステータスが、連絡先名の横にアイコンで示されています。

IM 電話帳を作成するには、[オプション] > [新規 IM 電話帳] の順に選択します。ユーザ ID とニックネームを入力して、[終了] を選択します。ユーザ ID は 50 文字以内です。IM サービスプロバイダは、username@domain.com の形式でユーザ ID を要求します。ニックネームの指定は任意です。

IM 連絡先にスクロールして、[オプション] を選択し、次の中から選びます。

- [会話を開く] — 連絡先とのインスタントメッセージを開始するか継続します。
- [電話帳詳細] — 連絡先カードを表示します。
- [編集オプション] — 連絡先カードを編集または削除するか、別の連絡先リストに移動するか、連絡先のオンラインステータスが変更された場合にメッセージを受信するようにします。
- [参加グループ] — 連絡先が参加している IM グループを確認します。
- [新規電話帳リスト] — IM 電話帳の特定のグループ用に連絡先リストを作成します。
- [自分の応答状態変更] — 自分の IM 電話帳のオンラインステータスを更新します。
- [ブロックオプション] — 連絡先からのメッセージを受信しないように、または受信するようにします。
- [ログイン] — アプリケーションを開いたときにログインしていなかった場合、インスタントメッセージサーバに接続します。
- [ログアウト] — IM サーバから切断します。
- [設定] — インスタントメッセージアプリケーションまたはサーバ設定を編集します。

利用できるオプションは異なる場合があります。

IM 連絡先を削除するには、クリア BS を押します。

ブロックした連絡先

[IM 電話帳] > [オプション] > [ブロックオプション] > [ブロックリスト表示] の順に選択します。

ブロックされている IM ユーザを見つけるには、ユーザ名の最初の文字を入力します。一致する名前がリストに表示されます。

ほかの IM ユーザからメッセージを受信しないようにするには、[オプション] > [新規電話帳ブロック] の順に選択します。IM 連絡先から IM ユーザを選択するか、ユーザ ID を入力します。

設定

[オプション] > [設定] > [IM 設定] の順に選択します。

次の設定から選択します。

- [スクリーンネーム使用] — IM グループ内で識別するために使用される名前を変更するには、[はい] を選択します。
- [IM プレゼンス] — すべての IM ユーザから IM グループへの招待を受信するか、自分の IM 電話帳からのみ受信するか、すべての招待の受信を拒否するかを選択します。
- [許可するメッセージ] — ほかのすべての IM ユーザからインスタントメッセージを受信するか、自分の IM 電話帳からのみ受信するか、すべてのメッセージの受信を拒否するか選択します。
- [メッセージスクロール速度] — 新しいメッセージの表示スピードを速めたり遅くするには、左または右にスクロールします。
- [IM 電話帳順序] — IM 電話帳をアルファベット順にリストするか、オンラインステータスごとにリストするかを指定します。
- [応答状態自動再読込] — IM 電話帳のオンラインステータスを自動的に更新するには、[自動] を選択します。
- [オフライン電話帳] — オフラインステータスの IM 連絡先を IM 電話帳に表示するかどうかを指定します。
- [自分のメッセージの色]
- [受信メッセージの色]
- [IM 受信音]

設定できる内容は異なる場合があります。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

IM サーバの設定

[オプション] > [設定] > [サーバ設定] を選択します。

次のオプションにスクロールし、ジョイスティックを押して IM サーバを構成します。

- [サーバ] — 新しいサーバを追加したり、サーバの編集または削除を行います。

- [デフォルトサーバ] — 本機が自動的にログインするサーバを変更します。ログインするサーバにスクロールし、ジョイスティックを押します。
- [IM ログイン方法] — 本機とデフォルトサーバとの間で自動的に接続する場合は、[自動] を選択します。ご契約のネットワーク圏内にいる場合に自動的に接続する場合は、[契約ネットワーク内自動] を選択します。メッセージアプリケーションを開いたときにサーバに接続する場合は、[アプリケーション起動時] を選択します。常に手動でサーバに接続する場合は [手動] を選択します。

特殊メッセージ

本機は、データを含むさまざまな種類のメッセージを受信できます。

- [オペレータロゴ] — ロゴを保存するには [オプション] > [保存] の順に選択します。
- [着信音] — 着信音を保存するには、[オプション] > [保存] の順に選択します。
- [構成メッセージ] — 携帯電話事業者、サービスプロバイダ、または企業情報管理部門から設定を構成メッセージで受信できます。設定を保存するには、メッセージを開き、[オプション] > [保存] の順に選択します。
- [E-mail 通知] — リモートメールボックスにある新着 E-mail の数を示します。詳細通知では、詳細情報が示されます。

サービスコマンドを送信する

サービス要求メッセージをサービスプロバイダに送信して、特定のネットワークサービスを有効にするよう要求します。

サービスプロバイダにサービス要求を送信するには、[オプション] > [サービスコマンド] の順に選択します。サービス要求を入力して、[オプション] > [送信] の順に選択します。

接続

著作権保護により、一部の画像、音楽（着信音を含む）、その他のコンテンツはコピー、改ざん、譲渡、または転送が禁止されている場合があります。

本機には、インターネット、企業イントラネット、または別の電話機や PC に接続するためのオプションがあります。無線方式には、無線 LAN、Bluetooth 無線接続、および赤外線があります。本機は、Nokia PC Suite または IP パススルー用に USB（Universal Serial Bus）ケーブル接続による有線接続をサポートします。また、ネット電話（Voice over IP）、プッシュトゥートーク、インスタントメッセージ（チャット）、およびモデムベースの接続を使用した通信も行えます。

[デバイス] — 「リモート構成ネットワークサービス」（P.135）を参照してください。

[ネット電話] — 「ネット電話」（P.54）を参照してください。

[PTT] — 「プッシュトゥートーク」（P.49）を参照してください。

[IM] — 「インスタントメッセージ」（P.79）を参照してください。

[同期] — 「データの同期」（P.135）を参照してください。

インターネットアクセスポイント

アクセスポイントとは、本機がネットワークに接続する場所のことです。E-mail やマルチメディアサービスを使用したり、インターネットに接続してウェブページを閲覧するためには、最初に、これらのサービス用にインターネットアクセスポイントを設定する必要があります。アクセスするサイトによっては、複数のインターネットアクセスポイントをセットアップする必要があります。たとえば、ウェブページの閲覧用に 1 つのアクセスポイントと、企業イントラネットへのアクセス用に別のアクセスポイントが必要になります。GPRS 経由でインターネットに接続するには、デフォルトのインターネットアクセスポイントを事前に設定しておく必要があります。

初めて本機に電源を入れたときに、SIM カードに登録されているサービスプロバイダ情報に基づいて自動的にアクセスポイントが設定されます。ご契約のサービスプロバイダから、アクセスポイント設定をメッセージで受け取ることもできます。設定を受け取った場合は、手動で入力する設定が少なくてすみます。

利用できるオプションは異なる場合があります。サービスプロバイダによって、一部またはすべてのアクセスポイントが事前に設定されていることがあります。その場合は、アクセスポイントの追加、編集、削除が行えません。

アクセスポイントとその設定については、ご契約のサービスプロバイダおよびE-mailサービスプロバイダにお問い合わせください。

「接続の設定」(P.112)を参照してください。

パケットデータ(GPRS)用にインターネットアクセスポイントをセットアップする

1. > [ツール] > [設定] > [接続] > [アクセスポイント] の順に選択します。
2. [オプション] > [新規アクセスポイント] の順に選択します。既存のアクセスポイントをもとに新しいアクセスポイントを設定する場合は、[既存の設定を使用] を選択します。アクセスポイントを最初から設定する場合は、[デフォルト設定を使用] を選択します。
3. 次のものを設定します。
    - [接続名] — わかりやすい接続名を入力します。
    - [データベアラ] — [パケット接続] を選択します。
    - [アクセスポイント名] — アクセスポイント名を入力します。名前は通常、サービスプロバイダまたは携帯電話事業者によって提供されます。
    - [ユーザ名] — サービスプロバイダに必要な場合は、ユーザ名を入力します。多くの場合、ユーザ名はサービスプロバイダによって提供され、大文字と小文字が区別されます。
    - [パスワード確認] — サーバにログインするたびにパスワードを入力する場合は [はい] を選択し、パスワードを本機のメモリに保存してログインを自動化する場合は [いいえ] を選択します。
    - [パスワード] — サービスプロバイダに必要な場合は、パスワードを入力します。多くの場合、パスワードはサービスプロバイダによって提供され、大文字と小文字が区別されます。
    - [認証] — 常にパスワードを暗号化して送信する場合は [安全] を選択し、可能な場合にパスワードを暗号化して送信する場合は [標準] を選択します。
    - [ホームページ] — このアクセスポイントを使用する場合に、ホームページとして表示するページのウェブアドレスを入力します。
4. 設定したら [オプション] > [詳細設定] の順に選択して詳細設定を行うか、[戻る] を選択して設定を保存し、終了します。

無線 LAN 用にインターネットアクセスポイントをセットアップする

1. > [ツール] > [設定] > [接続] > [アクセスポイント] の順に選択します。
2. [オプション] > [新規アクセスポイント] の順に選択します。既存のアクセスポイントをもとに新しいアクセスポイントを設定する場合は、[既存の設定を使用] を選択します。アクセスポイントを最初から設定する場合は、[デフォルト設定を使用] を選択します。
3. 次のものを設定します。
   - [接続名] — わかりやすい接続名を入力します。
   - [データベアラ] — [ワイヤレス LAN] を選択します。
   - [WLAN ネットワーク名] — 特定の無線 LAN を識別する名前のサービスセット ID（SSID）を入力するには、[手動入力] を選択します。圏内の無線 LAN からネットワークを選択するには、[ネットワーク名検索] を選択します。
   - [ネットワーク状態] — 接続先のネットワークが公開されていない場合は [非公開] を選択し、公開されている場合は [公開] を選択します。
   - [WLAN ネットワークモード] — [インフラ] を選択すると、機器は無線 LAN のアクセスポイント経由で相互に通信でき、有線 LAN 機器とも通信できます。[アドホック] を選択すると、機器は相互にデータを直接送受信することができ、無線 LAN アクセスポイントは必要ありません。
   - [WLAN セキュリティモード] — 無線 LAN アクセスポイントで使用されているセキュリティモードと同じモードを選択する必要があります。「WEP（Wired Equivalent Privacy）」、「802.1x」、あるいは「WPA（Wi-Fi Protected Access）」を選択した場合は、適切な追加設定を行う必要があります。
   - [WLAN セキュリティ設定] — 選択した [WLAN セキュリティモード] 用にセキュリティを設定します。
   - [ホームページ] — このアクセスポイントを使用する場合に、ホームページとして表示するページのウェブアドレスを入力します。

設定できる内容は異なる場合があります。

無線 LAN

 > [外部接続] > [接続状況] の順に選択します。無線 LAN が利用可能かどうかを示すには、[有効な LAN] を選択します。

ヒント：圏内のネットワークを検索することもできます。

WLAN ルータ用に本機の MAC アドレスを設定する場合は、キーパッドで *#62209526# を入力します。画面に MAC アドレスが表示されます。

ケーブル接続

ケーブル接続を行う前に、USB データケーブルドライバを PC にインストールしてください。「データ転送」は、USB データケーブルドライバをインストールしなくても使用できます。

 > [外部接続] > [ケーブル] の順に選択します。USB データケーブルを使用して、本機を互換性のある PC に接続できます。USB データケーブルを本機の Pop-Port コネクタに接続します。データケーブルを使用して本機に通常接続するデバイスタイプを変更するには、ジョイスティックを押します。

次の中から選択します。

- [接続時に確認] — データケーブルを本機に接続するたびにデバイスタイプを確認するかどうかを指定します。
- [PC Suite] — データケーブルを使用して、本機をコンピュータに接続し、Nokia PC Suite を使用します。
- [データ転送] — データケーブル接続を使用して、コンピュータの音楽や画像ファイルなどのデータにアクセスして転送します。[データ転送] モードを使用するには、Nokia PC Suite の「接続の管理」設定で、接続タイプに USB を選択していないことを確認してください。本機にメモリカードを挿入し、USB データケーブルを使用して互換性のあるコンピュータに接続します。使用しているモードを確認するメッセージが表示されたら [データ転送] を選択します。このモードでは、本機は外部記憶装置として機能します。コンピュータからは外部装置として認識されます。このオプションが選択されている場合、本機は [オフライン] モードに切り替わります。メモリカードが破損しないよう、PC からの接続（たとえば、Windows の「ハードウェアの追加と削除ウィザード」）を終了してください。接続を終了すると、本機はデータ転送モードを使用する前のモードに戻ります。
- [IP パススルー] — インターネットプロトコルを使用してデータを転送するアクセスポイントを選択します。

選択内容を保存するには、[戻る] を選択します。

Bluetooth 無線接続

一部の地域では Bluetooth 無線技術の使用に制限がある場合があります。法規制を確認するか、サービスプロバイダにご確認ください。

Bluetooth 無線接続を使用する機能では、他機能の使用中でもバックグラウンドで実行できるため、電池の使用量が多くなり、電池寿命が短くなります。

本機は Bluetooth Specification 1.2 に準拠しており、Generic Access Profile、Serial Port Profile、Dial-up Networking Profile、Headset Profile、Handsfree Profile、Generic Object Exchange Profile、Object Push Profile、File Transfer Profile、SIM Access Profile、および Basic Imaging Profile の Bluetooth プロファイルに対応しています。Bluetooth 無線技術をサポートするほかの機器との相互運用性を保証するため、Nokia が認定したこのモデル用のアクセサリを使用してください。本機との互換性については、その機器のメーカーにご確認ください。

Bluetooth 無線技術では、電子機器間が 10 メートル以内の距離で無線で接続できます。Bluetooth 無線接続を使用すると、画像、ビデオ、テキスト、ビジネスカード、カレンダーメモなどを送信できます。また、コンピュータなどの機器に無線で接続できます。

Bluetooth 無線技術を使用する機器は電波を使用して通信するため、本機と接続先の機器とが見通し線上にある必要はありませんが、10 メートル以内に配置する必要があります。ただし、壁や障害物による干渉を受ける可能性があります。

Bluetooth 無線接続を使用する

> [外部接続] > [Bluetooth] の順に選択します。

Bluetooth 無線接続をオンにするには、 と Ctrl キーを同時に押します。Bluetooth 無線接続をオフにするには、 と Ctrl キーをもう一度押します。このショートカットを使用して Bluetooth 無線接続をオンにした場合は、本機に名前を指定する必要はありません。

1. 最初に Bluetooth 無線接続をオンにしたときに、本機に名前を指定するよう求められます。周辺に複数の Bluetooth 機器がある場合は、簡単に認識できるように独自の名前を指定します。
2. [Bluetooth] > [オン] の順に選択します。
3. [自機名称公開] > [すべての機器に公開] の順に選択します。

本機、および入力した名前が、Bluetooth 無線接続を使用する他の機器のユーザに表示されるようになります。

設定

次のものを設定します。

- [Bluetooth] — Bluetooth 無線接続を使用する互換性のある他の機器と接続できるようにするには、[オン] を選択します。

- [自機名称公開] — [Bluetooth] で [オン] に設定している場合に、[すべての機器に公開] を選択すると、Bluetooth 無線接続を使用する他の機器から本機を検出できます。ほかの機器から本機を検出できないようにするには、[非公開] を選択します。
  [非公開] を選択している場合でも、ペアリングされた機器は本機を検出できます。
- [機器名] — 本機の名前を入力します。Bluetooth 無線接続を使用する機器を検索するほかの機器にこの名前が表示されます。名前の最大文字数は英数字 30 文字です。
- [リモート SIM モード] — 互換性のある車載キットなどのアクセサリが、本機に装着されている SIM カードを使用してネットワークに接続できるようにする場合は、[オン] を選択します。
  「SIM アクセスモード」(P.91)を参照してください。

オフラインモードになり、Bluetooth 無線接続がオフになった場合は、手動で Bluetooth 無線接続を使用可能にする必要があります。

セキュリティ上のヒント

Bluetooth 無線接続を使用していないときは、[Bluetooth] を [オフ] にするか、[自機名称公開] を [非公開] にします。

不明な機器とはペアリングしないでください。

データを送信する

同時に複数の Bluetooth 無線接続を使用できます。たとえば、ヘッドセットに接続しているときに、別の互換性のある機器にファイルを転送できます。

1. 送信するアイテムが保存されているアプリケーションを開きます。
2. アイテムを選択して、[オプション] > [送信] > [Bluetooth] の順に選択します。Bluetooth 無線技術を使用して受信できる範囲内にあるほかの機器を検索してリスト表示します。

   ヒント :以前に Bluetooth 無線接続を使用してデータを送信した場合、その時の検索結果が表示されます。さらに Bluetooth 機器を検索するには、[追加の機器] を選択します。
3. 接続先の機器を選択し、ジョイスティックを押して接続を設定します。もう一方の機器でデータ転送前にペアリングが必要な場合は、パスコードを入力します。
4. 接続されると、「データ送信中」が表示されます。

[メール] の [送信済みメール] フォルダには、Bluetooth 無線接続で送信したメッセージは保存されません。

Bluetooth 無線接続アイコン

Bluetooth 無線接続が動作していることを示します。

アイコンが点滅している場合、本機はほかの機器に接続しようとしています。アイコンが点滅せずに表示されている場合、Bluetooth 無線接続は接続されています。

機器をペアリングする

> [外部接続] > [Bluetooth] の順に選択し、右にスクロールして [認証済み機器] ページを開きます。

機器をペアリングする前に、独自のパスコード（1 ～ 16 桁の数字）を作成し、接続先の機器の所有者もこのコードを使用することを確認します。ユーザインタフェースのない機器には、固定のパスコードが設定されています。パスコードは、最初に機器に接続するときにのみ必要です。機器をペアリングすると、接続を認証できます。「機器を認証する」（P.91）を参照してください。一度機器をペアリングして接続を認証することで、接続毎にペアリングした機器の間で接続を毎回承認する必要がないため、接続が迅速かつ容易になります。

リモート SIM アクセスのパスコードは、16 桁でなければなりません。

1. [オプション] > [機器検索] の順に選択します。本機は、受信範囲内にある Bluetooth 機器の検索を開始します。

   ヒント ：以前に Bluetooth 無線接続を使用してデータを送信した場合、その時の検索結果が表示されます。さらに Bluetooth 機器を検索するには、[追加の機器] を選択します。

2. ペアリングする機器を選択し、パスコードを入力します。もう一方の機器にも同様に同じパスコードを入力する必要があります。
3. その機器と本機を自動接続できるようにする場合は [はい] を選択します。接続を試行するたびに確認を行う場合は [いいえ] を選択します。ペアリングすると、その機器は [認証済み機器] ページに保存されます。

ペアリングした機器にニックネームを指定するには（本機にのみ表示される）、ペアリングした機器にスクロールして、[オプション] > [ニックネーム登録] の順に選択します。

ペアリングを削除するには、削除する機器を選択し、[オプション] > [削除] の順に選択します。すべてのペアリングを削除するには、[オプション] > [すべて削除] の順に選択します。

ヒント ：現在接続している機器とのペアリングを取り消すと、ペアリングは直ちに削除され、接続が切断されます。

機器を認証する

ペアリングした機器を認証する場合、本機への自動接続が許可できます。次のオプションの中から選択します。

- [自動接続を設定] — 本機とほかの機器間の接続は、自動的に行われます。個別に承認または認証する必要はありません。自分が使用している互換性のあるヘッドセットや PC などの機器や、自動接続を事前許可している人が所有する機器に対して、このオプションを使用してください。
- [自動接続を解除] — ほかの機器からの接続要求を、毎回個別に承認する必要があります。

データを受信する

Bluetooth 無線接続を使用してデータを受信するには、[Bluetooth] > [オン] を選択して、[自機名称公開] > [すべての機器に公開] の順に選択します。Bluetooth 無線接続を通してデータを受信すると、音が鳴り、メッセージを受け取るかどうかが尋ねられます。受信を了解すると、そのメッセージは [メール] の [受信メール] フォルダに入ります。

ヒント : File Transfer Profile Client サービスをサポートする互換性のある機器（ラップトップコンピュータなど）を使用して、機器内またはメモリカード内のファイルにアクセスできます。

SIM アクセスモード

無線機器がリモート SIM モードの場合は、車載キットなどの互換性のある接続アクセサリを使用してのみ、電話をかけたり受けることができます。無線機器がこのモードのときは、本機に登録されている緊急電話番号以外に電話をかけることはできません。本機から電話をかけるには、最初にリモート SIM モードを終了する必要があります。電話機がロックされている場合は、コードを入力してロックを解除してください。

SIM アクセスモードを使用すると、互換性のある車載キット機器から、本機の SIM カードにアクセスすることができます。これにより、SIM カードデータにアクセスして GSM ネットワークに接続するために、個別の SIM カードが不要になります。

SIM アクセスモードを使用するには、次のものが必要です。

- Bluetooth 無線技術をサポートする互換性のある車載キット機器
- 本機で使用できる SIM カード

車載キット機器および本機との互換性に関する情報については、www.nokia.com にアクセスして該当する車載キットの取扱説明書を参照してください。

SIM アクセスモードを管理する

1. > [外部接続] > [Bluetooth] の順に選択して、本機で Bluetooth 無線接続を起動します。

2. リモート SIM アクセスを使用するには、[リモート SIM モード] にスクロールして、ジョイスティックを押します。
3. 車載キット機器の Bluetooth 無線接続を起動します。
4. 車載キット機器を使用して、互換性のある機器の検索を開始します。手順については、該当する車載キット機器の取扱説明書を参照してください。
5. 互換性のある機器のリストから、本機を選択します。
6. 機器をペアリングするには、車載キット機器のディスプレイに表示された Bluetooth パスコードを本機に入力します。
7. 車載キット機器を認証します。 > [外部接続] > [Bluetooth] の順に選択し、「認証済み機器」ページにスクロールします。車載キット機器にスクロールして、Bluetooth パスコードを入力します。自動的に接続するかを尋ねられたら、[はい] を選択します。本機と車載キット機器間の接続は、承認または認証なしで行われます。[いいえ] を選択した場合は、この機器からの接続要求は、毎回承認する必要があります。

ヒント ：ユーザモードを使用して、すでに車載キットから SIM カードにアクセスしていた場合は、車載キットは自動的に SIM カードを持つ機器を検索します。車載キットが本機を検出しており、自動認証がオンになっている場合は、車のエンジンをかけると車載機器が自動的に GSM ネットワークに接続します。

リモート SIM アクセスモードをオンにした場合は、ネットワークまたは SIM サービスを必要としないアプリケーションを本機で使用できます。

本機からリモート SIM アクセス接続を終了するには、 > [外部接続] > [Bluetooth] > [リモート SIM モード] > [オフ] の順に選択します。

赤外線

IR（赤外線）ビームを人の目に向けたり、ほかの IR 機器を妨害しないようにしてください。この機器は、クラス 1 レーザ製品です。

赤外線は、2 つの機器を接続して、それらの間でデータを転送するために使用します。赤外線を使用すると、ビジネスカード、カレンダーメモ、メディアファイルなどのデータを互換性のある機器に転送できます。

データの送受信

1. 本機の赤外線ポート部分が、相手側の赤外線ポート部分に向くようにします。機器の位置は、角度や距離よりも重要です。
2. > [外部接続] > [赤外線] の順に選択して、ジョイスティックを押して本機の赤外線をオンにします。もう一方の機器の赤外線をオンにします。
3. 赤外線で接続されるまで、数秒待ちます。
4. データを送信するには、対象ファイルをアプリケーションまたはファイルマネージャで選択して、[オプション] > [送信] > [赤外線通信] の順に選択します。

赤外線ポートをオンにした後 1 分以内にデータ転送が開始されない場合は、接続が取り消されるため、再び接続する必要があります。

赤外線で受信したすべてのアイテムは、[メール] の [受信メール] に入ります。

本機の赤外線ポート部分を相手側の赤外線ポート部分から外すと、接続は切断されます。ただし、赤外線ライトビームはオフになるまで本機でオンのままとなります。

データ接続

パケットデータ

GPRS（汎用パケット無線サービス）は、携帯電話がデータネットワークに無線アクセスできるようにします（ネットワークサービス）。GPRS は、携帯電話ネットワーク上で情報を小さい単位で大量に送信するパケットデータ技術を使用します。データをパケットで送信する利点は、データを送信または受信しているときのみネットワークが使用される点です。GPRS はネットワークを効率的に使用するため、迅速にデータ接続をセットアップでき、データ転送速度も速くなります。

GPRS サービスを利用するには、手続きが必要です。GPRS を利用できるかどうかや申し込み方法については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

拡張 GPRS（EGPRS）は GPRS に似ていますが、より速い接続が可能になります。EGPRS を利用できるかどうかやデータ転送速度の詳細については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。GPRS をデータベアラとして選択している場合で、EGPRS がネットワークで利用可能な場合は、GPRS の代わりに EGPRS が使用されます。

音声通話中は GPRS 接続を行えません。また、ネットワークが二重転送モードをサポートしていない場合には、音声通話中は既存の GPRS 接続が保留になります。

UMTS（WCDMA）

UMTS（ユニバーサルモバイルテレコミュニケーションシステム）は、3G モバイル通信システムです。音声およびデータのほかに、UMTS は無線機器へのオーディオおよびテレビ配信を可能にします。

本機は自動的に GSM と UMTS ネットワーク間を切り替えます。

使用するネットワークを選択するには、 > [ツール] > [設定] > [ネットワーク] の順に選択して、[ネットワークモード] でネットワークを選択します。自動的にネットワーク間を切り替える場合は、[デュアルモード] を選択します。

GSM ネットワークは、 アイコンで示され、UMTS ネットワークは 3G アイコンで示されます。

GSM と UMTS ネットワークで本機を使用すると、同時に複数のデータ接続がアクティブになり、アクセスポイントがデータ接続を共有する場合があります。UMTS ネットワークでは、音声通話中でもデータ接続はオンのままです。たとえば、以前通話中に同時に行えたウェブページの閲覧がより速く行えます。

無線ローカルエリアネットワーク（WLAN）

本機は、無線ローカルエリアネットワークを検知して接続できます。

フランスなど一部の地域では、無線 LAN の使用に制限があります。詳細については、各地域の法規制をご確認ください。

無線 LAN を利用する機能では、他機能の使用中でもバックグラウンドで実行できるため、電池の使用量が多くなり、電池寿命が短くなります。

本機を無線 LAN の圏内で別の場所に移動したり、無線 LAN アクセスポイントの圏外に移動した場合、ローミング機能により本機は自動的に同じネットワークに属する別のアクセスポイントに接続されます。同じネットワークに属するアクセスポイントの圏内であれば、本機はネットワークに接続された状態のままです。

ヒント : 無線 LAN インターネットアクセスポイントを使用してデータ接続すると無線 LAN に接続されます。データ接続を終了すると、その無線 LAN 接続も終了します。

本機では、無線 LAN で異なる種類の通信が行えます。インフラストラクチャとアドホックの 2 つの動作モードがあります。

- インフラストラクチャモードでは、2 種類の通信が行えます。無線 LAN アクセスポイントを通して無線機器同士の通信、あるいは、有線 LAN 機器との通信が行えます。インフラストラクチャモードの利点は、アクセスポイントを経由して通信を行うため、ネットワーク接続を制御できる点にあります。無線機器は、通常の有線 LAN で利用可能なサービス（企業のデータベース、E-mail 、インターネット、およびその他のネットワークリソースなど）にアクセスできます。
- アドホックモードでは、互換性のある無線 LAN サポート（印刷など）を使用してほかの機器にデータを送信したり、受信することができます。これらの機能を使用するためには、サードパーティのアプリケーションが必要になります。無線 LAN アクセスポイントは必要ありません。適切な構成を設定し、通信を開始するだけです。アドホックネットワーキングは、簡単にセットアップできますが、通信は圏内にある機器に限られ、互換性のある無線 LAN 技術のみがサポートされます。

接続マネージャ

 > [外部接続] > [接続状況] の順に選択します。データ接続または接続終了のステータスを表示するには、[使用データ接続] を選択します。圏内で利用可能な無線 LAN を検索するには、[有効な WLAN] を選択します。

使用中の接続の表示と終了

注意：サービスプロバイダが実際に請求する通話料金は、ネットワーク機能、請求額の端数計算などによって異なる場合があります。

アクティブな接続画面では、使用中のデータ接続（データ通話、パケットデータ接続、および無線 LAN 接続）が表示されます。

ネットワーク接続の詳細情報を表示するには、リストから接続を選択して、[オプション] > [詳細] の順に選択します。表示される情報の種類は、接続タイプにより異なります。

ネットワーク接続を終了するには、リストから接続を選択して、[オプション] > [切断] の順に選択します。

使用中のネットワーク接続をすべて同時に終了するには、[オプション] > [すべてを終了する] の順に選択します。

ネットワークの詳細を表示するには、ジョイスティックを押します。

無線 LAN を検索する

圏内で利用可能な無線 LAN を検索するには、 > [外部接続] > [接続状況] > [有効な WLAN] の順に選択します。検索されたネットワークのリストが表示されます。

利用可能な無線 LAN の画面には、圏内の無線 LAN のリストが、ネットワークモード（インフラストラクチャまたはアドホック）、信号強度アイコン、およびネットワーク暗号アイコンと共に表示されます。また、ネットワークと接続されているかどうかも示されます。

ネットワークの詳細を表示するには、ジョイスティックを押します。

ネットワークでインターネットアクセスポイントを作成するには、[オプション] > [アクセスポイント定義] の順に選択します。

モデム

> [外部接続] > [モデム] の順に選択します。

互換性のあるコンピュータと共に、本機をモデムとして使用してウェブに接続することができます。

本機をモデムとして使用するには、次のことが必要です。

- ご契約のサービスプロバイダまたはインターネットサービスプロバイダから、適切なネットワークサービスに申し込む必要があります。
- USB データケーブル、Bluetooth 無線接続、または赤外線接続に対応するコンピュータが必要です。
- Nokia PC Suite がコンピュータにインストールされている必要があります。
- コンピュータに適切なドライバがインストールされている必要があります。ケーブル接続用にドライバをインストールする必要があります。また、Bluetooth 無線接続または赤外線のインストールまたは更新が必要な場合もあります。Nokia PC Suite をインストールしたら、コンピュータのディスプレイに表示される指示に従ってドライバをインストールし、本機をコンピュータに接続します。

Nokia PC Suite と適切なケーブルドライバをインストールしたら、コンピュータで Nokia PC Suite を開始します。[インターネットに接続] を選択して、コンピュータのディスプレイに表示される指示に従います。

本機をモデムとして使用しているときは、一部の通信機能が使用できない場合があります。

モバイル VPN

> [ツール] > [設定] > [接続] > [VPN] の順に選択します。

Nokia モバイル仮想プライベートネットワーク（VPN）クライアントは、互換性のある企業イントラネットおよびサービス（ E-mail など）へ安全に接続されます。本機は、インターネット経由で携帯電話ネットワークから企業 VPN ゲートウェイ（互換性のある企業ネットワークの入り口として機能する）に接続します。VPN クライアントは、IPSec（IP Security）技術を使用します。IPSec は、IP ネットワーク上での安全なデータ交換をサポートするオープンスタンダードフレームワークです。

VPN ポリシーは、VPN クライアントと VPN ゲートウェイが相互に認証するために使用する方式と、データの機密性を保持するために使用する暗号化アルゴリズムを設定します。VPN ポリシーについては、各企業にお問い合わせください。

VPN をアプリケーションと共に使用するには、そのアプリケーションが VPN アクセスポイントに関連付けられている必要があります。VPN アクセスポイントは、インターネットアクセスポイントと VPN ポリシーで構成されます。

VPN を管理するには、[VPN 管理] > [オプション] > [開く] の順に選択して、次のオプションから選択します。

- [VPN ポリシー] — VPN ポリシーのインストール、表示、更新を行います。
- [VPN ポリシーサーバ] — VPN ポリシーのインストールと更新を行う VPN ポリシーサーバの接続を設定します。
- [VPN ログ] — VPN ポリシーのインストール、更新、同期、およびほかの VPN 接続のログを表示します。

E-mail のデータローミング

> [ツール] > [設定] > [接続] > [アクセスポイントグループ] の順に選択します。

本機は、E-mail 用に無線アクセス技術（WLAN や GPRS）間のローミングをサポートします。たとえば、自宅で開始した E-mail セッションを通勤中も継続することができます。セッションは中断されず継続しながら、本機は WLAN から GPRS に切り替えられ、勤務先に到着すると WLAN に戻ります。

アクセスポイントグループ

アクセスポイント グループを作成するには、[アクセスポイント グループ] > [オプション] > [新規グループ] の順に選択します。[グループ名] フィールド にグループの名前を入力します。[接続切替] フィールド で、本機のディスプレイに接続切り替えプロセスを表示するかどう かを設定します。[アクセスポイント] セクションでは、このグループに属するアクセスポイント を選んだり 編集します。

アクセスポイントグループからアクセスポイントを削除するには、削除するアクセスポイントを選択して、[オプション] > [削除] の順に選択します。

ウェブ

 > [インターネット] の順に選択します（ネットワークサービス）。

[インターネット] は、本機に 2 つあるブラウザのうちの 1 つです。[インターネット] では、通常のウェブサイトを閲覧できます。ここでは、XHTML（eXtensible Hypertext Markup Language）またはHTML（HyperText Markup Language）がサポートされます。WAP ページを閲覧したい場合は、 > [メディア] > [サービス] の順に選択します。両ブラウザとも同じブックマークを使用します。受信メッセージ中のリンクは、サービスブラウザで開きます。

サービスが利用できるかどうか、価格、および利用料金については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。サービスプロバイダによりサービスの利用方法についての説明書も提供されます。

アクセスポイント

ウェブを閲覧するには、インターネットアクセスポイントを設定する必要があります。データ通信または GPRS 接続を使用している場合は、無線ネットワークがデータ通信または GPRS をサポートする必要があり、データサービスが SIM カード用に動作している必要があります。本機は、SIM カードの情報に基づいて自動的にインターネットアクセスポイントが設定されています。設定されていない場合は、ご契約のサービスプロバイダにお問い合わせください。

ヒント： インターネットアクセスポイント設定は、サービスプロバイダから特殊な SMS で受信するか、携帯電話事業者またはサービスプロバイダの ウェブページから入手する場合があります。

インターネットアクセスポイント設定は手動で入力することもできます。「インターネットアクセスポイント」（P.84）を参照してください。

ウェブページを閲覧する

ウェブを閲覧するには、ブックマークを選択して、ジョイスティックを押します。ウェブアドレスを入力してジョイスティックを押すこともできます。サービスにアクセスする際は、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

ヒント：アドレスを入力し始めると、入力と一致する以前にアクセスしたページのアドレスが表示されます。ページを開くには、そのアドレスにスクロールして、ジョイスティックを押します。

ウェブリンクを開くには、そのリンクにスクロールして、ジョイスティックを押します。ウェブページでは、新しいリンクには青の下線が付き、以前にアクセスしたリンクには紫の下線が付きます。リンクとして機能する画像は、画像の周りの枠が青になります。

アクセスしたページのアドレスは、[自動ブックマーク]フォルダに保存されます。

ショートカットキー：

- 1 を押すと [ブックマーク] が開きます。
- 2 を押すとテキストを検索します。
- 3 を押すと前のページに戻ります。
- 5 を押すと開いている複数のブラウザウィンドウ間を切り替えます。
- 8 を押すとページオーバービューを開きます。
- 9 を押すと URL の入力画面になります。

ブックマーク

本機には、Nokia のサイトとは関連のないブックマークがあらかじめ登録されている場合があります。Nokia はそれらのサイトを保証していません。それらのサイトにアクセスする際は、他のインターネットのサイトにアクセスするときと同様に、セキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

ブックマークの付いたウェブページを開くには、そのブックマークにスクロールして、ジョイスティックを押します。

別のウェブページを閲覧するには、[オプション] > [ナビゲーション] > [URL 入力] の順に選択し、ページアドレスを入力して、[開く] を選択します。

ブックマークを削除するには、そのブックマークにスクロールして、クリア BS を押します。

ブックマークを追加するには、 > [インターネット] > [オプション] > [ブックマーク管理] > [ブックマーク追加] の順に選択します。わかりやすくブックマーク名を入力するには [名前] にスクロールし、ウェブページアドレスを入力するには [アドレス] にスクロールし、ウェブページに接続するためのアクセスポイントを変更するには [アクセスポイント] にスクロールします。また、サービスプロバイダからユーザ名とパスワードを要求された場合には [ユーザ名] または [パスワード] にスクロールして入力します。ブックマークを保存するには、 [戻る] を選択します。

アイテムをダウンロードする

重要 : ゲームやアプリケーションをインストールする際は、そのサイトのセキュリティやコンテンツが信頼性のあるものかどうか確認してください。

着信音、画像、ロゴ、テーマ、およびビデオクリップなどの異なるアイテムをダウンロードできます。アイテムをダウンロードするには、そのアイテムにスクロールして、ジョイスティックを押します。これらのアイテムは無料で提供される場合と有料の場合があります。ダウンロードしたアイテムは本機の対応するアプリケーションで使用できます。

アイテムを購入する :

1. アイテムをダウンロードするには、そのアイテムにスクロールして、ジョイスティックを押します。
2. アイテムを購入するための適切なオプションを選択します。
3. 表示されたすべての情報をよく読みます。

接続を終了する

接続を終了してオフラインでブラウザページを表示するには、 [オプション] > [詳細オプション] > [切断] の順に選択します。接続を終了してブラウザを閉じるには、 [オプション] > [終了] の順に選択します。

キャッシュを消去する

キャッシュとは、データを一時的に格納するために使用されるメモリの場所のことです。パスワードの入力が必要な機密性のある情報にアクセスを試みたり、実際にアクセスした場合は、アクセス後に本機のキャッシュを空にしてください。アクセスした情報やサービスはキャッシュに格納されます。

キャッシュを消去するには、 [オプション] > [詳細オプション] > [キャッシュをクリア] の順に選択します。

ニュースフィードとブログ

> [インターネット] > [Web フィード] の順に選択します。

フィードとはさまざまなウェブページ内の xml ファイルであり、通常、最新のニュースやほかのトピックに関するヘッドラインや記事が含まれます。ウェブページ上の興味のあるフィードを申し込むことができます。[オプション] > [登録] の順に選択します。

ヒント：ブログとはウェブログ（Weblog）を短縮したもので、継続的に更新されるウェブ上の個人的な日記です。

フィードおよびブログをダウンロードするには、それにスクロールして、ジョイスティックを押します。

フィードまたはブログを追加するには、[オプション] > [番組管理] > [新規番組] の順に選択して、情報を入力します。

フィードまたはブログを編集するには、そのフィードにスクロールして、[オプション] > [番組管理] > [編集] の順に選択して、情報を変更します。

ウェブの設定

> [インターネット] > [オプション] > [設定] の順に選択します。

次のものを設定します。

- [アクセスポイント] — ウェブページに接続するためのアクセスポイントにスクロールして、ジョイスティックを押します。
- [ホームページ] — ホームページとして表示するページを選択します。アクセスポイントのホームページを使用する場合は [デフォルト] を選択し、ホームページのアドレスを入力する場合は [ユーザ定義] を選択します。
- [画像と音声のロード] — [いいえ] を選択すると、ページ内の画像をロードしないため、閲覧時にページのロードが速くなります。個々のページの閲覧時に画像をロードすることを選択することもできます。[オプション] > [画像表示] の順に選択します。
- [デフォルトエンコード] — 使用している言語の正しい文字エンコードを選択します。
- [自動ブックマーク保存] — [オン] を選択すると、アクセスしたウェブページアドレスが自動的に [自動ブックマーク保存] フォルダに保存されます。フォルダを非表示にするには、[フォルダ表示なし] を選択します。
- [画面サイズ] — [全画面表示] を選択すると、ウェブページの表示にディスプレイエリア全体を使用します。フルスクリーンモードで閲覧しているときに、左ソフトキーを押して [オプション] を開き、利用可能なオプションを使用できます。

- [ミニマップ] — 表示しているページ上にそのページの概観を縮小して表示するかどうかを選択します。
- [履歴リスト] — 閲覧履歴を戻って表示するときに、アクセスしたページの縮小版を表示するかどうかを選択します。
- [クッキー] — クッキーの送信または受信を許可または拒否するかを選択します。クッキーは、ネットワークサーバが収集する、アクセスしたさまざまな ウェブページについての情報です。クッキーは、ウェブショッピングを行う場合に必要です。たとえば、購入したアイテムをレジに進むまで保持するのに必要になります。ただし、情報が誤用される可能性もあります。たとえば、不要な広告メールを受信してしまう場合があります。
- [Java/ECMA スクリプト] — 一部の ウェブページには、ページの概観やページとブラウザ間の対話に影響するプログラムコマンドが含まれている場合があります。このようなスクリプトの使用を拒否するには、[無効] を選択します（たとえば、ダウンロードするのに問題がある場合など）。
- [セキュリティ警告] — 閲覧中に受信したセキュリティ警告を表示または非表示にするには、[表示] または [非表示] を選択します。
- [シリアル番号送信] — オン / オフの切り替えをジョイスティックを押して選択します。
- [ポップアップブロック] — ポップアップを表示するかどうかを選択します。一部のポップアップ（たとえば、ウェブベースのメールシステムで E-mail を作成する小さなウィンドウ）は必要ですが、不要な広告が表示される場合があります。

ウェブサービス

 > [メディア] > [サービス] の順に選択します（ネットワークサービス）。

[サービス] は、本機に 2 つあるブラウザのうちの 1 つです。[サービス] を使用すると、携帯端末用にデザインされている WAP ページを閲覧できます。たとえば、携帯電話事業者より提供されている携帯端末用の WAP ページを閲覧できます。通常の ウェブページを閲覧するには、 > [インターネット] の順に選択してもう一方のブラウザを使用してください。

サービスが利用できるかどうか、価格、および利用料金については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。サービスプロバイダは、提供するサービスの利用方法についても説明します。

ヒント : 接続を開始するには、待受画面で を長く押します。

メディアアプリケーション

著作権保護により、一部の画像、音楽（着信音を含む）、その他のコンテンツはコピー、改ざん、譲渡、または転送が禁止されている場合があります。

> [メディア] の順に選択します。

[メディア] には、画像を表示したり、音声を録音したり、サウンドクリップを再生するためのさまざまなメディアアプリケーションが含まれています。

ギャラリー

> [メディア] > [ギャラリー] の順に選択します。

[ギャラリー] を使用すると、画像、映像、音楽、音声などのさまざまな種類のメディアにアクセスしたり、使用することができます。表示したすべての画像や映像、受信したすべての音楽や音声は、自動的に [ギャラリー] に保存されます。[ギャラリー] ではフォルダを閲覧したり、開いたり、作成することができます。また、アイテムをマークしたり、コピーしたり、フォルダに移動することもできます。サウンドクリップは「ミュージック」アプリケーションで、ビデオクリップおよびストリーミングリンクは「RealPlayer」アプリケーションで開けます。

ファイルまたはフォルダを開くには、ジョイスティックを押します。画像はイメージビューアで開けます。

[ギャラリー] の主なフォルダに、ブラウザを使用してファイルをダウンロードするには、フォルダを開いて [画像ダウンロード]、[ダウンロード]、[トラックダウンロード]、または [サウンドダウンロード] を選択します。ブラウザが開くので、ブックマークを選択するか、ダウンロードするサイトのアドレスを入力します。

ファイルを検索するには、[オプション] > [検索] の順に選択します。検索文字列（たとえば、検索するファイルの名前や日付）を入力し始めると、検索文字列と一致するファイルが表示されます。

画像

> [メディア] > [ギャラリー] > [画像] の順に選択します。

[画像] は、2 つのビューで構成されます。

- イメージブラウザビューでは、本機またはメモリカード内に保存されている画像を送信、整理、削除、および名前変更を行えます。

- イメージビューア（イメージブラウザビューで画像を選択すると開く）では、個々の画像を表示して、送信することができます。画像をディスプレイの壁紙に設定できます。

サポートされているファイル形式は、JPEG、BMP、PNG、および GIF 87a/89a です。本機は、ファイル形式の全変種をサポートしているとは限りません。

表示する画像を開くには、イメージブラウザビューで画像を選択し、[オプション] > [開く] の順に選択します。画像がイメージビューアで開かれます。

次の画像または前の画像を開くには、イメージビューアで右または左にスクロールします。

ディスプレイに表示されている画像を拡大するには、[オプション] > [ズームイン] の順に選択するか、5 または 7 を押します。縮小する場合は、[ズームアウト] を選択するか、0 を押します。

画像をフルスクリーンサイズで表示するには、[オプション] > [全画面表示] の順に選択するか、7 を 2 度押します。通常のビューに戻すには、[オプション] > [標準画面] の順に選択します。

画像を回転させるには、その画像を選択して、[オプション] > [回転] の順に選択します。画像を右回りに 90 度回転させるには [右] を選択し、左回りに 90 度回転させるには [左] を選択します。

画像ファイルを管理する

著作権保護により、一部の画像、着信音、その他のコンテンツはコピー、改ざん、譲渡、または転送が禁止されている場合があります。

画像の詳細情報を表示するには、その画像を選択して、[オプション] > [詳細情報表示] の順に選択します。ファイルのサイズおよび形式、最後に変更された時間と日付、画像の解像度（ピクセル）が表示されます。

画像を送信するには、その画像を選択し、[オプション] > [送信] の順に選択して、送信方法を選びます。

画像の名前を変更するには、その画像を選択して、[オプション] > [名前変更] の順に選択します。新しい名前を入力して、[OK] を選択します。

画像を壁紙に指定するには、その画像を選択して、[オプション] > [壁紙に設定] の順に選択します。

画像を電話帳に追加するには、画像を選択して、[オプション] > [電話帳へ登録] の順に選択します。電話帳画面が開くので、画像を追加する連絡先を選択します。

RealPlayer

著作権保護により、一部の画像、着信音、その他のコンテンツはコピー、改ざん、譲渡、または転送が禁止されている場合があります。

> [メディア] > [RealPlayer] の順に選択します。

RealPlayer は、内蔵メモリまたはメモリカードに保存されているか、E-mail または互換性のある PC から本機に転送されたか、あるいは ウェブから本機にストリーミングされるビデオクリップおよびオーディオファイルを再生できます。

RealPlayer がサポートする形式は、MPEG-4、MP4（ストリーミングではない）、3GP、RV、RA、AAC、AMR、および Midi です。RealPlayer は、メディアファイル形式のすべてをサポートしているとは限りません。

ヒント：オーディオおよびビデオファイルのストリーミングとは、最初に本機にダウンロードしなくても直接 ウェブからそれらを再生できることを意味します。

ビデオクリップおよびストリームリンクを再生する

RealPlayer で再生するオーディオおよびビデオファイルを選択するには、[オプション] > [開く] の順に選択して、本機またはメモリカードのメディアクリップにスクロールします。

ストリーミングメディアを再生するには、メディアクリップへの ウェブリンクを選択して [再生] を選択します。あるいは、ウェブに接続してビデオクリップまたはオーディオファイルにブラウズし、[再生] を選択します。RealPlayer は、2 種類のリンクを認識します。rtsp:// URL と、RAM ファイルへリンクする http:// URL です。コンテンツがストリーミングを開始する前に、本機が ウェブサイトに接続し、そのコンテンツをバッファに入れる必要があります。ネットワーク接続で再生エラーが生じた場合、RealPlayer は自動的にインターネットアクセスポイントへの再接続を試みます。

メディアクリップを保存するには、[オプション] > [保存] の順に選択して、内蔵メモリまたはメモリカード上のフォルダにスクロールし、[保存] を選択します。ウェブ上のメディアファイルへのリンクを保存するには、[リンクを保存する] を選択します。

再生中に早送りまたは巻き戻しを行うには、上または下にスクロールします。

再生中に音量を上げたり下げたりするには、右または左にスクロールします。

設定

> [メディア] > [RealPlayer] > [オプション] > [設定] の順に選択します。

ビデオの設定

ビデオクリップの再生終了後に自動的にもう一度再生させるには、[ビデオ] > [繰り返し] > [オン] の順に選択します。

接続の設定

[接続] を選択して、次の項目にスクロールし、ジョイスティックを押して設定します。

- [プロキシ] — プロキシサーバを使用するかどうか、またプロキシサーバの IP アドレスとポート番号を入力するかどうかを選択します。
- [ネットワーク] — インターネットに接続し、接続したときに使用するポート範囲を設定するアクセスポイントを変更します。

プロキシの設定

プロキシサーバは、メディアサーバとそのユーザとの間に位置する中間サーバです。一部のサービスプロバイダは、セキュリティの強化とメディアファイルを含む ウェブページへのアクセスを高速化するために、プロキシサーバを使用します。

正しい設定については、ご契約のサービスプロバイダにお問い合わせください。

[接続] > [プロキシ] を選択して、次の項目にスクロールし、ジョイスティックを押して設定します。

- [プロキシ使用] — プロキシサーバを使用するには [はい] を選択します。
- [プロキシサーバアドレス] — プロキシサーバの IP アドレスを入力します。この設定は、プロキシサーバの使用を選択した場合にのみ使用できます。
- [プロキシポート番号] — プロキシサーバのポート番号を入力します。この設定は、プロキシサーバの使用を選択した場合にのみ使用できます。

ネットワークの設定

正しい設定については、ご契約のサービスプロバイダにお問い合わせください。

[接続] > [ネットワーク] を選択して、次の項目にスクロールし、ジョイスティックを押して設定します。

- [デフォルトアクセスポイント] — インターネットに接続するためのアクセスポイントにスクロールして、ジョイスティックを押します。
- [オンライン時間] — ネットワークリンクを使用して再生するメディアクリップを一時停止したときに RealPlayer がネットワークから切断される時間を設定します。[ユーザ定義] を選択して、ジョイスティックを押します。時間を入力して、[OK] を選択します。
- [最小 UDP ポート] — サーバポート範囲の下限ポート番号を入力します。最小値は、1024 です。
- [最大 UDP ポート] — サーバポート範囲の上限ポート番号を入力します。最大値は、65535 です。

ミュージックプレイヤー

警告：スピーカーの使用中は、本機を耳元で使用しないでください。音量が非常に大きくなることがあります。

> [メディア] > [ミュージック] の順に選択します。

ミュージックプレイヤーでは、音楽ファイルを再生したり、曲のリストを作成したり聴くことができます。ミュージックプレイヤーは、MP3 および ACC などの拡張子の付いたファイルをサポートします。

音楽を聴く

警告：音楽は適度な音量で聴いてください。大音量で聴き続けると、聴覚に影響する可能性があります。スピーカーの使用中は、本機を耳元で使用しないでください。音量が非常に大きくなることがあります。

曲を選択するには、[オプション] > [ミュージックライブラリ] の順に選択します。[すべてのトラック] は、すべての曲をリストします。分類した歌を表示するには、[アルバム]、[アーティスト]、[ジャンル]、または [作曲者] を選択します。曲を再生するには、その曲にスクロールして、[オプション] > [再生] の順に選択します。曲が再生されているときに、再生と一時停止を行うには、▶ と ❚❚ を押します。曲を停止するには、■ を押します。

本機に音楽ファイルを追加または削除した後、[ミュージックライブラリ] を更新してください。[オプション] > [ミュージックライブラリ更新] の順に選択します。プレイヤーは内蔵メモリで音楽ファイルを検索し、それらを [ミュージックライブラリ] に更新します。

前の曲または次の曲を選択するには、ジョイスティックを上または下にスクロールします。

繰り返し音楽を再生するには、[オプション] > [繰り返し] の順に選択します。現在のフォルダ内のすべての曲を繰り返す場合は [全曲] を選択し、選択した曲を繰り返す場合は [1 曲] を選択し、繰り返しを止める場合は [オフ] を選択します。

ランダムな順番で音楽を再生するには、フォルダを選択して、[オプション] > [ランダム再生] の順に選択します。

音楽の音量を調節する

音楽の音量をコントロールするには、音量キーを押します。音量を消音にするには、消音になるまで音量を下げるキーを押します。

トラックリスト

新しいトラックリストを作成してそれに曲を追加したり、保存されたトラックリストを選択することができます。

新しいトラックリストを作成するには、[オプション] > [ミュージックライブラリ] > [トラックリスト] > [オプション] > [新規トラックリスト] の順に選択します。新しいトラックリストの名前を入力して、[OK] を選択します。

トラックリストに曲を追加するには、リストを開いて、[オプション] > [トラック追加] の順に選択します。

イコライザ

> [メディア] > [ミュージック] > [オプション] > [イコライザ] の順に選択します。

[イコライザ] を使用して、音楽ファイルを独自のものにできます。クラシックまたはロックなど、音楽のスタイルに基づくプリセットの周波数設定を使用できます。また、自分の好みに基づいて設定をカスタマイズできます。

[イコライザ] を開いている間は [ミュージック] のほかの機能は使用できません。

[イコライザ] を使用して、音楽の再生中に周波数を上げたり下げたりすることができ、音楽の再生方法を変更できます。本機にはプリセットの周波数があります。

音楽の再生時にプリセットの周波数設定を使用するには、使用する周波数設定にスクロールして、[オプション] > [使用開始] の順に選択します。

独自の周波数設定を作成する

1. 独自の周波数設定を作成するには、[オプション] > [新規プリセット] の順に選択します。
2. プリセットの周波数設定の名前を入力して [OK] を選択します。
3. 上下にスクロールして周波数帯間を移動して、各帯域の周波数を設定します。帯域間を移動するには、左または右にスクロールします。
4. [戻る] を選択して新しい周波数設定を保存するか、[オプション] > [デフォルトにリセット] の順に選択して帯域をニュートラルな周波数に設定し、最初からやり直します。

音声メモ

> [メディア] > [音声メモ] の順に選択します。

[音声メモ] では、音声メモを最大 60 秒録音することができます。録音した音声はサウンドクリップとして保存し、再生できます。[音声メモ] は、AMR 形式をサポートします。

音声キーを押して [音声メモ] を起動します。プッシュトゥートークにログインしている場合は、音声キーはプッシュトゥートークキーとして機能するため、[音声メモ] を起動しません。

音声メモを録音するには、[オプション] > [サウンドクリップ録音] の順に選択します。録音を一時停止するには [一時停止] を選択し、録音を再開するには [録音] を選択します。録音を終了したら、[停止] を選択します。サウンドクリップが自動的に保存されます。

音声メモの最大長は 60 秒です。ただし、内蔵メモリまたはメモリカード上で使用できる容量により異なります。

音声メモを再生する

録音したばかりの音声を聴くには、「再生」アイコン ▶ を選択します。再生を取り消すには [停止] を選択します。進捗バーに再生時間、位置、音声メモの長さが表示されます。

音声メモの再生を一時停止するには、[一時停止] を選択します。[再生] を選択すると再び再生されます。

受信または録音した音声メモは、一時ファイルです。一時ファイルを残す場合は保存する必要があります。

Flash player

> [メディア] > [Flash] の順に選択します。

[Flash] では、携帯端末用に作成されたフラッシュファイルを表示、再生、または操作することができます。

フォルダを開いたり、フラッシュファイルを再生するには、フォルダまたはファイルにスクロールして、ジョイスティックを押します。

互換性のある装置にフラッシュファイルを送信するには、そのファイルにスクロールして、開始キーを押します。著作権保護により、フラッシュファイルの中には送信できないものもあります。

内蔵メモリまたはメモリカード上に保存された複数のフラッシュファイル間を切り替えるには、左または右にスクロールします。

利用できるオプションは異なる場合があります。

設定

> [ツール] > [設定] の順に選択します。

本機はさまざまな設定または変更を行えます。これらの設定を変更すると、いくつかのアプリケーションで本機の動作に影響があります。

設定の一部は、本機に事前設定されていたり、携帯電話事業者またはサービスプロバイダから構成メッセージとして送信されていたりする場合があります。このような設定は変更できない場合もあります。

設定する項目までスクロールして、ジョイスティックを押すと、次のことができます。

- 2 つの値（オンまたはオフなど）を切り換えます。
- リストから値を選択します。
- テキストエディタを開いて値を入力します。
- スライダを開いて、左右にスクロールして、値を増減できます。

電話機の設定

[電話機] を選択すると、本機の言語の設定、待受画面の設定、および表示の設定を変更できます。

一般設定

[一般] を選択して、次のオプションから選択します。

- [電話機言語] — リストから言語を選択します。言語を変更すると、本機のすべてのアプリケーションに影響します。言語を変更すると、本機は再起動します。
- [予測辞書リセット] — ジョイスティクを押すと [日本語予測辞書をリセットしますか？] と表示されるので、[はい] か [いいえ] を選択します。
- [日本語予測] — オン / オフを選択します。[オン] にすると、入力された文字に続く語句を予測して候補が表示され、目的の語句を選択できます。
- [キー入力タイムアウト] — テキスト入力時に、次の文字にカーソルが移動するまでの時間を選択することができます。
- [ウェイクアップメッセージ / ロゴ] — [デフォルト] を選択すると、デフォルトの画像が使用されます。[テキスト] を選択すると、独自のウェルカムメッセージを入力できます。[画像] を選択すると、ギャラリーから画像を選択できます。ウェルカムメッセージまたは画像は、本機に電源を入れるたびに短時間表示されます。

- [デフォルト設定に戻す] — 本機のオリジナルの設定を復元します。この作業を行うには、本機のロックコードが必要になります。リセット後、本機の電源が入るまで少し時間がかかることがあります。文書、連絡先情報、カレンダーのエントリ、およびファイルは影響を受けません。

待受画面の設定

[待受画面のキー設定] を選択して、次のオプションから選択します。

- [待受画面機能拡張] — [オン] を選択すると、別のアプリケーションへのショートカットを待受画面の機能拡張画面で利用できます。
- [左ソフトキー]、[右ソフトキー] — 待受画面で左右のソフトキーから開くショートカットを変更します。ジョイスティックを押して、リストから機能を選択し、[OK] を選択します。
- [ナビゲーションキー右]、[ナビゲーションキー左]、[ナビゲーションキー下]、[ナビゲーションキー上]、[決定キー] — 別の方向にスクロールするときに開くショートカットを変更します。[待受画面機能拡張] > [オン] を選択している場合、これらの設定は利用できません。
- [待受画面ショートカット設定] — 待受画面の機能拡張画面に登録するアプリケーションを選択します。
- [待受画面メールボックス] — 待受画面の機能拡張画面に表示する受信メールまたはメールボックスを選択します。

表示設定

[画面] を選択して、次のオプションから選択します。

- [ライトセンサー] — 本機の画面を明るくするのに必要なライトの強さを調整します。
- [パワーセーバータイムアウト] — スクリーンセーバーが起動するまでの時間を選択します。スクリーンセーバーを起動すると、本機の動作時間が長くなります。
- [照明点灯時間] — 最後にキーを押してから画面を暗くするまでの時間を設定します。

通話設定

[通話] を選択して、次のオプションから選択します。

- [発信者番号通知] — [はい] を選択すると、自分の電話番号が通話先の電話に表示されます。[契約時デフォルト設定] を選択すると、自分の呼び出し ID を通話先の電話に送信するかどうかをネットワークが設定します。
- [ネット電話番号通知] — この機能をオンに設定すると、自分のネット呼び出し ID が通話先の電話に表示されます。
- [割込通話サービス] — [開始] を選択すると、通話中に新しい着信があった場合に通知します。[状態確認] を選択すると、この機能がネットワーク上で利用できるかをチェックします。

- [インターネットコールウェイティング] — この機能を有効にすると、ネット通話中に新しい着信があった場合に通知します。
- [インターネット着信通知] — [オン] を選択すると着信したネット通話に応答します。[オフ] を選択すると、着信したネット通話に話し中であることを通知します。
- [デフォルト電話タイプ] — [通常] を選択すると、電話番号に通常の電話をかけます。[インターネット] を選択すると、VoIP を使って電話番号またはアドレスに電話をかけます。
- [通話拒否時 SMS 送信] — [はい] を選択すると、電話をかけてきた相手に、電話に出られない理由を知らせる SMS を自動的に送信します。
- [通話拒否時定型文] — 電話に出られない理由をテキストに入力します。このテキストは、電話に出られないときに自動的に SMS として送信されます。
- [テレビ電話の静止画] — [ユーザ定義] を選択すると、テレビ電話中に映像の代わりに表示する静止画像を選択します。[なし] を選択すると、テレビ電話中に静止画像は送信されません。
- [国際アクセスコード置換] — [はい] を選択すると「+」で登録された電話番号は、あらかじめ登録された日本からの国際電話アクセスコードに自動的に置き換えられます。
- [自動リダイヤル] — [オン] を選択すると、電話がつながらない場合、自動的にリダイヤルします。電話がつながるまで、最大 10 回までリダイヤルします。
- [通話後の情報表示] — [オン] を選択すると、直前の通話のおおよその時間が短時間表示されます。
- [ワンタッチダイヤル] — [オン] を選択すると、本機の短縮ダイヤルを使用できます。ワンタッチダイヤルキー「2 ～ 9」に割り当てられた電話番号にダイヤルするには、そのキーを長く押します。

  「ワンタッチダイヤル」（P.43）を参照してください。
- [エニーキーアンサー] — [オン] を選択すると、着信時、どのキーを押しても電話に応答できます（終了キーを除く）。

接続の設定

> [ツール] > [設定] > [接続] を選択して、次のオプションから選択します。

- [アクセスポイント] — 新しいアクセスポイントを設定したり、既存のアクセスポイントを編集したりします。いくつかのアクセスポイントがサービスプロバイダによって事前に設定されている場合もあり、このようなアクセスポイントは作成、編集、または削除できない場合があります。

- [アクセスポイントグループ] — 新しいアクセスポイントグループを設定したり、既存のアクセスポイントグループを編集したりします。アクセスポイントグループは、自動接続の確立や E-mail のローミングで使用されます。
- [パケット接続] — いつパケットデータ接続を使用するかを設定して、本機をコンピュータのモデムとして使用する場合のアクセスポイントを入力します。
- [インターネット電話設定] — ネット通話用の設定をします。
- [SIP 設定] — セッション開始プロトコル (SIP) のプロファイルを表示または作成します。
- [データ通信] — データ通信接続が自動的に終了するまでのタイムアウト期間を設定します。
- [VPN] — VPN ポリシーのインストールおよび管理、VPN ポリシーサーバの管理、VPN ログの表示、VPN アクセスポイントの作成および管理をします。
- [ワイヤレス LAN] — 無線 LAN が利用できることを示すインジケータを表示するかどうかを設定し、ネットワークを検索する頻度を設定します。
- [構成] — 信頼できるサーバを表示または削除します。信頼できるサーバからは、構成の設定を受信できます。

無線 LAN やパケットデータサービスへの加入について、適切な接続と構成の設定についての情報を取得する方法については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

設定できる内容は異なる場合があります。

アクセスポイント

> [ツール] > [設定] > [接続] > [アクセスポイント] を選択します。

アクセスポイントとは、本機がデータ接続のためにネットワークに接続する場所のことです。E-mail やマルチメディアサービスを使用したり、ウェブページをブラウズするには、まず、これらのサービス用のアクセスポイントを設定する必要があります。

アクセスポイントグループは、アクセスポイントをグループ化して優先順位を付けるときに使用します。アプリケーションは接続方式として、1 つのアクセスポイントではなく、アクセスポイントグループを使用できます。この場合、E-mail やローミングの接続に、アクセスポイントグループの中で最適なアクセスポイントが使用されます。

一部のアクセスポイントがサービスプロバイダによって事前に設定されている場合もあり、このようなアクセスポイントは作成、編集、または削除できない場合があります。

「インターネットアクセスポイント」(P.84) を参照してください。

アクセスポイントグループ

 > [ツール] > [設定] > [接続] > [アクセスポイントグループ] の順に選択します。

アクセスポイントグループは、アクセスポイントをグループ化して優先順位を付けるときに使用します。アプリケーションは接続方式として、1 つのアクセスポイントではなく、アクセスポイントグループを使用できます。この場合、E-mail やローミングの接続に、アクセスポイントグループの中で最適なアクセスポイントが使用されます。「アクセスポイントグループ」(P.97) を参照してください。

パケットデータ

 > [ツール] > [設定] > [接続] > [パケット接続] の順に選択します。

本機は、GSM ネットワークの GPRS などのパケットデータ接続をサポートしています。本機を GSM や WCDMA のネットワークで使用している場合、同時に複数のデータ接続を有効にできます。つまり、アクセスポイントはデータ接続を共有でき、そして、(たとえば、音声通話中に)、データ接続をオンのままにしておくことができます。「接続マネージャ」(P.95) を参照してください。

パケットデータの設定

パケットデータの設定は、パケットデータ接続を使用するすべてのアクセスポイントに影響を与えます。

次のオプションから選択します。

- [パケット接続] — [可能時] を選択すると、サポートされるネットワークで本機をオンにしたときに、本機をパケットデータネットワークに登録します。[必要時] を選択すると、アプリケーションまたはアクションが必要とするときだけ、パケットデータを接続します。
- [アクセスポイント] — 本機をコンピュータのパケットデータモデムとして使用する場合のアクセスポイント名 (サービスプロバイダより提供される) を入力します。

これらの設定は、パケットデータ接続を使用するすべてのアクセスポイントに影響します。

ネット通話の設定

この設定を行うには、先に SIP 設定を行う必要があります。

 > [ツール] > [設定] > [接続] > [インターネット電話設定] の順に選択します。[オプション] > [新規プロファイル] または [オプション] > [編集] の順に選択します。

[名前] までスクロールし、ジョイスティックを押して、プロファイルの名前を入力し、[OK] を選択します。

[SIP プロファイル] までスクロールし、ジョイスティックを押して、プロファイルを選択し、[OK] を選択します。SIP プロトコルは、1 人または複数の参加者とのネット通信などの通信セッションを作成、変更、および終了するときに使用されます。SIP プロファイルには、このようなセッション設定がされています。

設定を保存するには、[戻る] を押します。

データ通信の設定

> [ツール] > [設定] > [接続] > [データ通信] の順に選択します。

データが転送されなくなった場合に、データ通信を自動的に終了するまでのタイムアウト期間を設定するには、[オンライン時間] を選択して、ジョイスティックを押します。[ユーザ定義] を選択した場合、独自のタイムアウト期間を入力します。[無制限] を選択した場合、[オプション] > [切断] の順に選択されるまで接続は有効なままになります。

VPN

VPN アクセスポイント

VPN アクセスポイントを管理するには、[VPN] > [VPN アクセスポイント] > [オプション] の順に選択して、次のオプションから選択します。

- [編集] — 選択したアクセスポイントを編集します。アクセスポイントが使用中であるか、その設定が保護されている場合、そのアクセスポイントは編集できません。
- [新規アクセスポイント] — 新しい VPN アクセスポイントを作成します。
- [削除] — 選択したアクセスポイントを削除します。

VPN アクセスポイントの設定

アクセスポイントの正しい設定については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

VPN アクセスポイントの設定を編集するには、そのアクセスポイントを選択して、[オプション] を選択します。

次のオプションから選択します。

- [接続名] — VPN 接続の名前を入力します。この名前の最大長は 30 文字です。
- [VPN ポリシー] — このアクセスポイントで使用する VPN ポリシーを選択します。
- [インターネットアクセスポイント] — この VPN アクセスポイントで使用するインターネットアクセスポイントを選択します。
- [プロキシサーバアドレス] — この VPN アクセスポイントのプロキシサーバのアドレスを入力します。
- [プロキシポート番号] — プロキシポートの番号を入力します。

無線 LAN

> [ツール] > [設定] > [接続] > [ワイヤレス LAN] の順に選択します。

現在の場所で利用できる無線 LAN があることを示すインジケータを表示するには、[応答状態表示] > [はい] の順に選択します。

本機が利用できる無線 LAN をスキャンして、インジケータを更新する時間間隔を選択するには、[ネットワークスキャン] を選択します。[応答状態表示] > [はい] の順に選択していない場合、この設定は表示されません。

WLAN の高度な設定

> [ツール] > [設定] > [接続] > [ワイヤレス LAN] > [オプション] > [詳細設定] の順に選択します。無線 LAN の高度な設定は通常、自動的に設定されるため、これらを変更することは推奨されません。

これらの設定を手動で編集するには、[自動設定] > [無効] の順に選択して、次のものを設定します。

- [再試行頻度（小）] — 本機がネットワークから受信確認信号を受信しなかった場合に転送をやり直す最大回数を入力します。
- [再試行頻度（大）] — 本機がネットワークから clear-to-send（送信可）信号を受信しなかった場合に転送をやり直す最大回数を入力します。
- [RTS しきい値] — 無線 LAN アクセスポイント装置がパケットを送信する前に発行する送信要求のデータパケットサイズを選択します。
- [TX 電力レベル] — データを送信するときの本機の電源レベルを選択します。
- [ラジオ測定] — 無線測定をオンまたはオフにします。
- [パワーセービング] — 電池を省電力設定にするかどうかを選択します。

すべての設定をオリジナルの値に復元するには、[オプション] > [デフォルトに戻す] の順に選択します。

無線 LAN アクセスポイントのセキュリティの設定

WEP セキュリティの設定

> [ツール] > [設定] > [接続] > [アクセスポイント] の順に選択します。[オプション] > [新規アクセスポイント] の順に選択して、無線 LAN アクセスポイントを作成するか、無線 LAN アクセスポイントを選択して、[オプション] > [編集] の順に選択します。

アクセスポイントの設定で、[WLAN セキュリティモード] > [WEP] の順に選択します。

データはWEP（Wired Equivalent Privacy）暗号化方式で暗号化されてから送信されます。必要なWEP鍵を持っていないユーザからのネットワークへのアクセスは拒否されます。WEPセキュリティモードを使用しているとき、WEP鍵で暗号化されていないデータパケットを本機が受信した場合、そのデータは破棄されます。

アドホックネットワークでは、すべてのデバイスが同じWEP鍵を使用する必要があります。

[WLANセキュリティ設定]を選択して、次のオプションから選択します。

- [使用するWEPキー]— 使用するWEP鍵を選択します。
- [認証タイプ]—[オープン]または[共有]を選択します。
- [WEPキー設定]— WEP鍵を設定します。

WEP鍵の設定

> [ツール] > [設定] > [接続] > [アクセスポイント]の順に選択します。[オプション] > [新規アクセスポイント]の順に選択するか、アクセスポイントを選択して、[オプション] > [編集]の順に選択します。

アクセスポイントの設定で、[WLANセキュリティモード] > [WEP]の順に選択します。

アドホックネットワークでは、すべてのデバイスが同じWEP鍵を使用する必要があります。

[WLANセキュリティ設定] > [WEPキー設定]の順に選択して、次のオプションから選択します。

- [WEP暗号化]— 使用するWEP暗号化鍵の長さを選択します。
- [WEPキー形式]— WEP鍵データを[ASCII]または[16進]のどちらの形式で入力するかを選択します。
- [WEPキー]— WEP鍵データを入力します。

802.1xセキュリティの設定

アクセスポイントの設定で、[WLANセキュリティモード] > [802.1x]の順に選択します。

802.1xは、無線ネットワークにアクセスする装置を認証および承認して、認証プロセスが失敗した場合はそのアクセスを拒否します。

[WLANセキュリティ設定]を選択して、次のオプションから選択します。

- [WPAモード]— [EAP]（Extensible Authentication Protocol）または[事前共有キー]（デバイス識別に使用される秘密鍵）を選択します。
- [EAPプラグイン設定]— [WPAモード] > [EAP]の順に選択した場合、本機に定義されているどのEAPプラグインをアクセスポイントで使用するかを選択します。
- [事前共有キー]— [WPAモード] > [事前共有キー]の順に選択した場合、接続しようとしている無線LANに本機を識別させるための共有秘密鍵を入力します。

設定できる内容は異なる場合があります。

WPA セキュリティの設定

アクセスポイントの設定で、[WLAN セキュリティモード] > [WPA/WPA2] の順に選択します。

[WLAN セキュリティ設定] を選択して、次のオプションから選択します。

- [WPA モード] — [EAP](Extensible Authentication Protocol)または [事前共有キー](デバイス識別に使用される秘密鍵)を選択します。
- [EAP プラグイン設定] — [WPA モード] > [EAP] の順に選択した場合、本機に設定されているどの EAP プラグインをアクセスポイントで使用するかを選択します。
- [事前共有キー] — [WPA モード] > [事前共有キー] の順に選択した場合、接続しようとしている無線 LAN に本機を識別させるための共有秘密鍵を入力します。
- [TKIP 暗号化] — [許可する] を選択すると、TKIP 暗号化がオンになります。この暗号化は、誤用を防ぐ程度の頻度で変更される一時的な鍵を使用します。無線 LAN 内のすべての装置は、TKIP 暗号化の使用を許可または拒否する必要があります。

設定できる内容は異なる場合があります。

EAP

本機に現在インストールされている EAP (Extensible Authentication Protocol) プラグインを表示するには (ネットワークサービス)、 > [ツール] > [設定] > [接続] > [アクセスポイント] の順に選択します。[オプション] > [新規アクセスポイント] の順に選択して、無線 LAN をデータベアラとして使用するアクセスポイントを設定し、セキュリティモードとして、[802.1x] または [WPA/WPA2] を選択します。[WLAN セキュリティ設定] > [WPA モード] > [EAP] の順に選択して、[EAP プラグイン設定] までスクロールして、ジョイスティックを押します。

EAP プラグインを無線ネットワークで使用すると、無線装置と認証サーバを認証できます。また、異なる EAP プラグインを使用することで、さまざまな EAP 認証方法を使用できます(ネットワークサービス)。

アクセスポイントを使用して WLAN に接続するときに EAP プラグインを使用するには、使用するプラグインを選択して、[オプション] > [有効] の順に選択します。このアクセスポイントで使用できる EAP プラグインの隣にはチェックマークが入っています。プラグインを使用しない場合は、[オプション] > [無効] の順に選択します。

EAP プラグインを設定するには、[オプション] > [構成] の順に選択します。

EAP プラグイン設定の優先順位を変更するには、[オプション] > [優先順位を上げる] または [オプション] > [優先順位を下げる] の順に選択します。前者を選択した場合、アクセスポイント経由によるネットワーク接続の認証において、そのプラグインは他のプラグインより前に使用されます。後者を選択した場合、そのプラグインは他のプラグインより後に使用されます。

利用できるオプションは異なる場合があります。

構成の設定

信頼できるサーバ用の構成の設定を表示または削除するには、 > [ツール] > [設定] > [接続] > [構成] の順に選択します。

信頼できるサーバ用の構成の設定を持つ携帯電話事業者、サービスプロバイダ、または企業情報管理からは、メッセージを受信できます。これらの設定は自動的に [構成] に保存されます。信頼できるサーバからは、アクセスポイント、マルチメディア、または E-mail サービスの構成の設定、および IM または同期の設定を受信できます。

信頼できるサーバの構成を削除するには、そのサーバまでスクロールして、クリア BS を押します。これにより、このサーバが提供している他のアプリケーション用の構成の設定も削除されます。

日付と時刻の設定

「日付と時刻の設定」(P.128) を参照してください。

セキュリティの設定

「セキュリティを設定する」(P.55) を参照してください。

アクセサリの設定

 > [ツール] > [設定] > [アクセサリ] の順に選択します。

警告 : ヘッドセットを使用すると、外の音が聞こえにくくなります。安全が損なわれる可能性がある場所では、ヘッドセットを使用しないでください。

次の設定は、ほとんどのアクセサリで選択できます。

- [デフォルトモード] — 本機にアクセサリを装着したときにオンになるモードを選択します。
- [自動応答] — アクセサリを装着しているときには、本機が自動的に着信に応答するようにします。[オン] を選択すると、本機は着信すると 5 秒後に自動的に応答します。モードメニューで呼び出し音の種類を [ビープ音一回] または [マナー] に設定している場合、自動応答は無効になります。
- [ライト] — [オン] を選択すると、アクセサリを装着している間、本機が点灯します。

オーガナイザー

> [オーガナイザ] の順に選択します。

オーガナイザーには、日常生活やビジネスにおいて、さまざまな情報の整理や管理に役立つツールが用意されています。

カレンダー

カレンダーに会議や記念日を登録して、設定した日時に通知を受けたり、To-do リストやメモなどを保存して仕事や用事のスケジュールを管理することができます。

> [オーガナイザ] > [カレンダー] の順に選択します。

カレンダーを表示する

カレンダーの画面を、月表示、週表示、および To-do リスト表示に切り替えることができます。デフォルトは月表示に設定されています。

エントリを登録すると、月表示の場合、日付の右下隅に小さな三角形が表示されます。

週表示の場合には、メモ、記念日、To-do のアイコンが曜日の下に表示されます。

カレンダー表示を変更する

月表示画面で、 を押します。

週表示画面が表示されます。

- を続けて押すと、日表示、To-do リスト表示に画面が切り替わります。

ヒント：[カレンダー] を開いた時の表示タイプや、週表示の週開始日を指定することが可能です。

[オプション] > [設定] の順に選択します。「カレンダーを設定する」（P.124）を参照してください。

特定の日に移動する

1. 日 / 週 / 月 表示で、[オプション] > [指定日へ移動] の順に選択します。

   日付の入力画面が表示されます。
2. 日付を入力し、[OK] を押します。

   指定した日時にカーソルが移動します。

今日の日付に移動する

1. を押します。

   今日の日付にカーソルが移動します。

カレンダーエントリを登録する

[カレンダー] には、[会議]、[記念日]、[メモ]、[To-do] エントリを登録することができます。

会議を登録する

1. エントリを登録する日 を選択します。
2. [オプション] > [新規エントリ] > [会議] の順に選択します。
   エントリの入力画面が表示されます。
3. それぞれのフィールドに内容を入力します。
   入力できるのは、次のフィールドです。
   - 件名
   - 場所
   - 開始時刻
   - 終了時刻
   - 開始日
   - 終了日
   - アラーム - イベントを通知するよう設定する場合は、[オン] を選択します。アラームの日時を入力します。
   - 繰り返し - エントリを一定間隔で繰り返す場合に選択します。
   - 同期 - Nokia PC Suite などを利用して、互換性のある PC のカレンダーと同期する場合に選択します。[プライベート] : カレンダーがオンラインになったときに会議が他のユーザから隠されます。
     [パブリック] : カレンダーがオンラインになったときにエントリがすべてのユーザに表示されます。[なし] : エントリは同期されません。「データの同期」(P.135) を参照してください。
4. [OK] を押します。
   エントリが保存されます。

ヒント : ショートカット : > [オーガナイザ] > [カレンダー] > 任意のキー (A ～ Z) の順に選択すると、[会議] エントリの入力画面が開きます。

会議の詳細データを追加する

会議エントリではエントリの詳細を入力し、フィールドに追加することができます。会議エントリを開き、[オプション] > [詳細データの追加] > [新規作成] の順に選択します。

[オーガナイザ] の [ノート] に登録した内容を会議エントリに追加することもできます。[オプション] > [詳細データの追加] > [既存ノートを使用] の順に選択します。

ヒント：カレンダーから新規作成した詳細データは、オーガナイザのノートには登録されません。

メモを登録する

1. [オプション] > [新規エントリ] > [メモ] の順に選択します。
   エントリの入力画面が表示されます。
2. それぞれのフィールドに内容を入力します。
   入力できるのは、次のフィールドです。
   - 件名
   - 開始日
   - 終了日
   - 同期
3. [OK] を押します。
   エントリが保存されます。

記念日を登録する

1. [オプション] > [新規エントリ] > [記念日] の順に選択します。
   エントリの入力画面が表示されます。
2. それぞれのフィールドに内容を入力します。
   入力できるのは、次のフィールドです。
   - 行事
   - 日付
   - アラーム - 設定すると毎年その日を通知します。
   - 同期
3. [OK] を押します。
   エントリが保存されます。

To-do を登録する

1. [オプション] > [新規エントリ] > [To-do] の順に選択します。
   エントリの入力画面が表示されます。
2. それぞれのフィールドに内容を入力します。
   入力できるのは、次のフィールドです。
   - 件名
   - 期限日 - タスクの完了期限を入力します。
   - アラーム
   - 優先度 - タスクの重要度を高、標準、低 から設定します。
   - 同期
3. [OK] を押します。
   エントリが保存されます。
   - To-do 表示で任意のキーを押すと、To-do ノートエントリが開きます。To-do 表示にするには、「カレンダー表示を変更する」（P.120）を参照してください。

- 完了した To-do にチェックマークを付けるには、[オプション] > [完了マーク] の順に選択します。完了マークを付けると、カレンダーからエントリの表示が消えますが、To-do リストからは削除されません。完了マークを解除するには、全 To-do ノート表示で、[オプション] > [完了マーク解除] の順に選択します。

アラームを設定する

メモエントリにアラームを設定することはできません。

アラームを登録 / 解除する

1. アラームを登録するエントリを選択 > [オプション] > [開く] の順に選択します。
   エントリ入力画面が表示されます。
2. [アラーム] > [オン] または [オフ] > [OK] の順に選択します。

アラーム音を選ぶ

それぞれのエントリに異なったアラーム音を設定することができます。

1. アラーム音を設定するエントリ > [オプション] > [設定] > [カレンダーアラーム音] の順に選択します。
   サウンドリストが表示されます。
2. アラーム音を選択 > [選択] の順に押します。
   アラーム音にカーソルを合わせると、そのアラーム音を聞くことができます。

アラームが鳴ったときの操作

- アラーム音が鳴っている時に [消音] を押すと消音します。消音を押しても、通知メッセージは画面に表示されたままです。
- アラーム音をいったん停止し、5 分後に再開するには、スヌーズ を押します。
- アラーム音が鳴っている時に [停止] を押すと、アラームが停止します。

カレンダーエントリを送信する

互換性のある機器に、SMS、MMS、E-mail 、Bluetooth、赤外線通信を利用して、カレンダーエントリを送信することができます。

1. 送信するカレンダーエントリを選択します。
2. [オプション] > [送信] > 送信タイプの順に選択します。
   送信リストが表示されます。
   「SMS を作成して送信する」（P.64）、「MMS を作成して送信する」（P.66）、「E-mail を作成して送信する」（P.75）、「Bluetooth 無線接続」（P.87）、「赤外線」（P.92）を参照してください。

E-mail で送信するには、本機のメールボックスが定義されている必要があります。受信する機器により送信方法が限られる場合があります。「E-mail を設定する」(P.71)を参照してください。

カレンダーエントリを削除する

1 件削除する

1. 削除するカレンダーエントリを選択します。
2. [オプション] > [削除] の順に選択します。
3. [はい] を押します。
   カレンダーエントリが削除されます。

全件削除する

1. > [オーガナイザ] > [カレンダー] の順に選択します。
   - カレンダーが月表示でない場合は、を押して、月表示にしてください。
2. 月表示画面で、[オプション] > [エントリ削除] > [すべてのエントリ] の順に選択します。
3. [はい] を押します。
   カレンダエントリが全件削除されます。

指定日より前のエントリを削除する

日付を指定し、その日より前に登録してあるエントリを削除することができます。

1. 月表示画面で、[オプション] > [エントリ削除] > [指定日より前を削除] の順に選択します。
2. 指定日を入力 > [OK] の順に押します。
   指定日より前のエントリが削除されます。

カレンダーを設定する

> [オーガナイザ] > [カレンダー] > [オプション] > [設定] の順に選択します。

次のオプションを設定することができます。

- [カレンダーアラーム音] -「アラームを設定する」(P.123)を参照してください。
- [デフォルト表示] - カレンダーを開いたときに、月表示、週表示、日表示、To-do 表示にするかを選択します。
- [週開始日] - 週表示でカレンダーを開いたときに、先頭にくる曜日を選択します。

- [週表示タイトル] - 週開始日を月曜日にすると選択できます。週表示のタイトルを週番号にするか、週の日付にするかを選択します。週番号は、週開始日を月曜日にすると、画面に表示されます。その年の 1 番最初の月曜日を第 1 週とします。

ヒント : カレンダーエントリを Bluetooth 機能搭載の互換性のある BPP (Basic Print Profile) プリンタで印刷することができます。[オプション] > [印刷] の順に選択します。

電卓

> [オーガナイザ] > [電卓] の順に選択します。

注意 : この計算機は単純な計算用に設計されており、精度には限界があります。

計算の実行

1. 計算する最初の数字を入力します。
   - 小数点を追加するには、 を押します。
2. 使用する演算子を選択し、ジョイスティックを押します。
3. 次の数字を入力します。
   - 計算を続ける場合は、演算子と数字を入力します。
4. 計算を実行するには、「=」を選択し、ジョイスティックを押します。

計算機のオプション設定

オプションから次の機能が選択できます。

- [前回の結果] - 前回の計算結果を表示します。
- [メモリ] > [保存] - エディタフィールドの数字を保存します。1 回に 1 つの数字しか保存できません。
- [メモリ] > [再呼び出し] - 保存したメモリを呼び出します。
- [メモリ] > [クリア] - 保存したメモリを削除します。
- [画面クリア] - 画面を消去して新しい計算を開始します。

コンバータ

コンバータでは単位の変換が可能です。例えば、長さの単位を ヤード から メートル に変換することができます。

本機のコンバータ は簡易版です。四捨五入の際には誤差を生じることがあります。

> [オーガナイザ] > [コンバータ] の順に選択します。

コンバータを操作する

1. [タイプ] フィールドを押します。
   タイプリストが表示されます。
2. 変換する値の種類を選択してから [OK] を押します。
3. 上の [単位] フィールド > 変換元の単位を選択 > [OK] の順に押します。
4. 最初の [数量] フィールドを選択 > 変換する値を入力します。
5. 下の [単位] フィールド > 変換先の単位を選択 > [OK] を押します。
   下の数量フィールドに変換された値が表示されます。

基本通貨と通貨交換レートの設定

通貨換算を行う前に、基本通貨を選択して交換レートを入力する必要があります。

通貨の換算方法

例として、日本円を米ドルへ変換します。

1. [タイプ] フィールド > [通貨] > [OK] の順に選択します。
2. [単位] フィールド > [自国通貨] > [OK] の順に押します。
   自国通貨を日本円と考えます。
3. [オプション] > [通貨レート] の順に選択します。
4. 外貨フィールドを選択 > 交換レートを入力 > [OK] の順に押します。
   - 交換レートは、自国通貨を 1 とした場合の変換先通貨の比率になります。ここでは日本円を 1 とした米ドルの値を入力します。
   - フィールドの「外貨」表示を、実際の通貨名に変更することができます。[オプション] > [通貨名変更] の順に選択し、ジョイスティックを押し、例えば「米ドル」と入力します。
   - 設定したフィールドを削除するには、[オプション] > [通貨削除] の順に選択します。
5. 上の数量フィールドを選択し、変換元の値を入力します。

下の数量フィールドに換算された金額が表示されます。

基本通貨を変更する場合は、基本通貨にする通貨を選択 > [オプション] > [基本通貨に設定] の順に選択します。

注意 : 基本通貨を変更すると、前に設定した交換レートがゼロになるので、新しいレートを入力する必要があります。

留守番電話サービス

 > [オーガナイザ] > [留守電] の順に選択します。

初めて留守番電話サービスアプリケーションを開く場合、自分の留守番電話サービス番号の入力が必要です。この番号を変更するには、[オプション] > [電話番号変更] の順に選択します。この番号にかけるには、[オプション] > [留守電センター呼び出し] の順に選択します。

時計

> [時計] の順に選択します。

時計の種類を変更するには、[オプション] > [設定] > [時計のタイプ] > [アナログ] または [デジタル] の順に選択します。

日付と時刻の設定

日付と時刻、その表示形式およびアラーム音を変更し、時刻の自動更新を設定するには、[オプション] > [設定] の順に選択して、次のオプションから選択します。

- [時刻] — 時刻を入力して、[OK] を選択します。
- [タイムゾーン] — タイムゾーンを入力して、[OK] を選択します。
- [日付] — 日付を入力して、[OK] を選択します。
- [日付形式] — 日付が表示される形式を変更します。表示する形式までスクロールして、[OK] を選択します。
- [日付区切り文字] — 日、月、そして年を区切る記号を変更します。変更する記号までスクロールして、[OK] を選択します。
- [時間表示形式] — [24 時間制] または [12 時間制] を選択します。
- [時刻区切り文字] — 時間と分を区切る記号を選択します。
- [時計のタイプ] — [アナログ] または [デジタル] を選択します。
- [アラーム音] — 目覚まし時計として使用する場合のアラーム音を選択します。
- [ネットワーク時刻] — 時刻、日付、およびタイムゾーン情報を自動的に更新します（ネットワークサービス）。[自動更新] を選択すると、オンになります。このサービスは、すべてのネットワークで利用できるわけではありません。

アラーム時計

本機の電源を切っているときにアラーム時刻になった場合は、自動的に電源が入り、アラーム音が鳴り始めます。[停止] を選択すると、電話の発着信をできる状態にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。[いいえ] を選択すると電源が切れ、[はい] を選択すると、電話の発着信ができる状態になります。携帯電話の使用により電波干渉や危険が生じるおそれのあるときは、[はい] を選択しないでください。

アラームを設定するには、[オプション] > [アラーム設定] の順に選択します。アラーム時刻を入力して、[OK] を選択します。

アラームを表示または変更するには、[アラーム変更] を選択します。

アラームを解除するには、[アラーム解除] を選択します。

ツール

> [ツール] の順に選択してください。

[ツール] フォルダには、本機を設定したり、他のアプリケーションを構成したりするためのアプリケーションがあります。

[アプリ] —「アプリケーションマネージャ」(P.133) を参照してください。

[メモリ] — 「メモリカード」(P.23) を参照してください。

[データ転送] — 「機器間でデータを転送する」(P.24) を参照してください。

[モード] —「モード」(P.137) を参照してください。

[テーマ] —「テーマ」(P.140) を参照してください。

[設定] — 「設定」(P.110) を参照してください。

[E-mail] キー —「E-mail キーを設定する」(P.72) を参照してください。

[ワンタッチダイヤル] — 「ワンタッチダイヤル」(P.43) を参照してください。

[ボイスキー] — 「ボイスキー」(P.131) を参照してください。

位置情報

位置情報サービスを使用すると、本機の場所に基づいて、天気や交通などの情報をサービスプロバイダから受信できます（ネットワークサービス）。

> [ツール] > [位置情報] の順に選択してください。

位置情報の識別方式を選択するには、位置情報の識別方式までスクロールして、[オプション] > [有効] の順に選択します。位置情報の使用をやめるには、[オプション] > [無効] の順に選択します。

[Bluetooth] 位置情報の識別方式を使用すると、Bluetooth GPS アクセサリを使用して位置情報を求めることができます。[ネットワークベース] 位置情報の識別方式は、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにより提供されます。どちらの位置情報の識別方式も同時に使用できます。

ナビゲータ

この機能は、電話使用時に起こりえる位置情報要求をサポートするようには設計されていません。位置情報に基づく緊急電話サービスに関する法規制への本機の対応については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

正確な位置情報を求めるのに GPS を使用しないでください。また、GPS 受信機からの位置情報データだけに頼らないでください。

> [ツール] > [ナビゲータ] の順に選択してください。

ナビゲータは、現在位置を表示し、目的地までの道順を見つけ、その道のりをたどるための GPS アプリケーションです。このアプリケーションには、Bluetooth GPS アクセサリが必要です。また、 > [ツール] > [位置情報] の順に選択して、Bluetooth GPS 位置情報の識別方式をオンにしておく必要があります。

このアプリケーションを移動のために使用するには、少なくとも 3 つの衛星から位置情報を受信する必要があります。このアプリケーションを変更すると個人情報に影響する可能性があるため、十分に注意して使用する必要があります。

次のオプションから選択してください。

- [ナビゲーション] — 目的地までのナビゲーション情報を表示します。
- [位置] — 現在いる場所に関する位置情報を表示します。
- [移動距離] — 移動した距離や時間、平均移動速度や最大移動速度などの旅行情報を表示します。

ランドマーク

> [ツール] > [ランドマーク] の順に選択してください。

ランドマークとは、地理的な場所を示す位置情報です。ランドマークを本機に保存しておけば、位置に基づくサービスで利用できます。ランドマークを作成するには、Bluetooth GPS アクセサリまたはネットワークが必要です（ネットワークサービス）。「ナビゲータ」（P.129）を参照してください。

ランドマークを作成するには、[オプション] > [新規ランドマーク] の順に選択してください。[現在位置] を選択すると、現在いる場所の経度と緯度を求めるネットワーク要求を行います。[手動入力] を選択すると、必要な位置情報（名前、カテゴリ、住所、経度、緯度、高度など）を自分で入力します。

ランドマークを削除するには、そのランドマークまでスクロールして、クリア BS を押します。

ボイスキー

[icon] > [ツール] > [ボイスキー] の順に選択してください。

ボイスキーは、電話をかけたり、本機のアプリケーション、モード、その他の機能を起動したりするのに使用します。

本機は、電話帳のエントリ用のボイスタグと、[ボイスキー] アプリケーションで指定された機能用のボイスタグを作成します。ボイスキーが発声されると、本機は、発声された単語と本機のボイスタグを比較します。

ボイスキーで電話をかける

電話帳のボイスタグは、[電話帳] の各連絡先に保存されている名前またはニックネームです。ボイスタグを聞くには、その連絡先を開いて、[オプション] > [ボイスタグ再生] の順に選択してください。

1. ボイスキーで電話をかけるには、音声キーを長押しします。
2. 呼び出し音が聞こえるか、メッセージが表示されたら、電話帳に保存されている名前をはっきりと発声します。
3. 連絡先が認識されると、その連絡先のボイスタグが本機で選択されている言語で再生されて、その連絡先の名前と電話番号が表示されます。タイムアウトの後、本機はその番号に電話をかけます。認識された連絡先が正しくない場合は、[次へ] を選択すると、他の候補が表示されます。電話をキャンセルするには、[終了] を選択します。

ボイスキーでアプリケーションを起動する

本機は、[ボイスキー] アプリケーションリストにあるアプリケーション用のボイスタグを作成します。

ボイスキーでアプリケーションを起動するには、音声キーを長押しして、アプリケーション用のボイスキーをはっきりと発声します。認識されたアプリケーションが正しくない場合は、[次へ] を選択すると、他の候補が表示されます。キャンセルするには、[終了] を選択します。

このリストにアプリケーションを追加するには、[オプション] > [新規アプリケーション] の順に選択します。

アプリケーションのボイスキーを変更するには、そのアプリケーションまでスクロールして、[オプション] > [コマンド変更] の順に選択します。新しいボイスキーを入力して、[OK] を選択します。

ボイスキーでモードを変更する

本機は、モードごとにボイスタグを作成します。ボイスキーでモードを設定するには、音声キーを長押しして、そのモード名を発声します。

ボイスキーを変更するには、そのモードまでスクロールして、[モード] > [オプション] > [コマンド変更] の順に選択します。

ボイスキーの設定

本機で選択している言語で、認識したボイスキーを再生するシンセサイザーをオフに切り換えるには、[設定] > [シンセサイザ] > [オフ] の順に選択します。

本機を主に使用するユーザが代わったとき、音声認識の情報をリセットするには、[音声認識を削除] を選択します。

音声補助

> [ツール] > [音声補助] の順に選択してください。

音声補助アプリケーションを使用すると、画面を見なくても、本機の基本機能を使用できます。

次のオプションから選択してください。

- [発着信履歴] — 不在着信、応答した着信、発信した番号、および頻繁にかける電話番号を表示します。
- [電話帳] — 電話帳のエントリを表示します。
- [ダイヤラー] — 電話番号にダイヤルします。
- [留守番電話] — 音声メッセージを取得します。
- [時計] — 現在の日付と時刻を発声します。

[オプション] を選択すると、さらに使用できるオプションを選択できます。

設定ウィザード

設定ウィザードは、本機のオペレータ（MMS、GPRS、およびインターネット）、E-mail 、プッシュトゥートーク（ネットワークサービス）、およびビデオ共有（ネットワークサービス）を、ご契約されている携帯電話事業者の情報に基づいて設定します。

これらのサービスを使用するには、携帯電話事業者またはサービスプロバイダに連絡して、データ接続などのサービスを有効にしてもらう必要があります。

これらの設定を編集するには、 > [ツール] > [ウィザード] の順に選択して、設定する項目を選択します。

設定ウィザードを使用できない場合、www.nokia.co.jp/phonesettings の Nokia 電話設定ウェブサイトにアクセスしてください。

アプリケーションマネージャ

> [ツール] > [アプリ] の順に選択してください。アプリケーションマネージャを開くと、インストールされているすべてのソフトウェアパッケージが表示され、その名前、バージョン番号、種類、およびサイズが表示されます。アプリケーションマネージャを使用すると、インストールされているアプリケーションの詳細を表示したり、本機からアプリケーションを削除したり、アプリケーションのインストール設定を指定したりできます。

証明書管理

重要 : 証明書によってリモート接続とソフトウェアインストールにおける危険性はかなり軽減されますが、正しく使用しなければ、セキュリティは強化されません。証明書が存在するだけで、本機が保護されるわけではありません。証明書の管理者が正規の証明書、認証された証明書、または信頼できる証明書を提供しなければ、セキュリティは強化されません。証明書の有効期間は限られています。証明書が有効であるにもかかわらず、[期限切れ] が表示される場合は、本機の現在の日付と時刻が正しいかどうか確認してください。

証明書の設定を変更する前には、証明書の所有者が信頼できること、そして、その証明書が表示された所有者に属することを確認する必要があります。

デジタル署名は、ソフトウェアの出所を確認するだけで、その安全性を保証するものではありません。証明書には、認証機関証明書、ユーザ証明書、そしてサーバ証明書 の 3 つの種類があります。安全に接続しているときに、サーバからサーバ証明書を本機に送信することがあります。受信したサーバ証明書は、本機に格納されている認証機関証明書を通じてチェックされます。サーバ証明書を認証できなかった場合、あるいは、本機が正しい証明書を所有していなかった場合は、通知されます。

証明書は、ウェブサイトからダウンロードするか、E-mail の添付として受信するか、Bluetooth 無線接続 または赤外線接続で送信されるメッセージとして受信します。証明書は、オンラインバンクやリモートサーバに接続して、機密性が高い情報を転送するときに使用する必要があります。また、ソフトウェアを本機にダウンロードしてインストールする場合には、ウィルスや悪意のあるソフトウェアの危険性を減らし、ソフトウェアの信憑性をチェックするために、証明書を使用する必要があります。

ヒント : 新しい証明書を追加するときには、その信憑性をチェックしてください。

Nokia Catalogs

 > [ツール] > [カタログ] の順に選択してください。免責条項に同意するには、[OK] を選択してください。

Nokia Catalogs（ネットワークサービス）は、本機で利用できるモバイルコンテンツショップです。Nokia Catalogs を使用すると、ゲーム、着信音、壁紙、サービス、およびアプリケーションなど、本機のコンテンツを見つけ、プレビュー、購入、ダウンロード、およびアップグレードできます。利用できるコンテンツは、携帯電話事業者とサービスプロバイダによって異なります。

Nokia Catalogs はユーザのネットワークサービスを使用して、最新のカタログコンテンツにアクセスします。Nokia Catalogs で利用できるアイテムについては、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

Nokia Catalogs は継続的に更新されており、携帯電話事業者またはサービスプロバイダから最新のコンテンツが本機に提供されます。カタログを手動で更新するには、[オプション] > [リスト更新] の順に選択してください。

データとソフトウェアの管理

リモート構成ネットワークサービス

> [外部接続] > [デバイス] の順に選択してください。

サーバと接続して、本機の構成の設定を受信できます。サーバのプロファイルやさまざまな構成の設定は、携帯電話事業者、サービスプロバイダ、および企業情報管理部門から受信できます。構成の設定には、本機のさまざまなアプリケーションが使用する接続などの設定が含まれます。利用できるオプションは異なる場合があります。

リモート構成接続は通常、本機の設定を更新する必要があるときに、サーバ側から起動されます。

リモート構成の設定

[デバイス] のメイン画面で、[オプション] を選択して、次の中から選択します。

- [設定開始] — サーバに接続して、本機の構成の設定を受信します。
- [新規サーバプロファイル] — 新しいサーバプロファイルを作成します。
- [プロファイル編集] — プロファイルの設定を変更します。
- [削除] — 選択したプロファイルを削除します。
- [設定を有効にする] — サーバプロファイルのあるすべてのサーバから、構成の設定を受信します。
- [設定を無効にする] — サーバプロファイルのあるすべてのサーバから、構成の設定を受信することを停止します。
- [ログ表示] — 選択したプロファイルの構成ログを表示します。

データの同期

> [外部接続] > [同期] の順に選択してください。

[同期] を使用すると、電話帳、カレンダー、またはノートを、互換性のあるコンピュータまたはリモートのインターネットサーバ上にある対応するアプリケーションと同期することができます。同期の設定は、同期プロファイルに保存されます。アプリケーションは SyncML 技術を使用してリモート同期を行います。SyncML 互換性については、本機と同期をさせるアプリケーションのメーカーにお問い合わせください。

同期できるアプリケーションはさまざまです。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

ヒント：同期設定は、サービスプロバイダからメッセージとして受信することがあります。

同期プロファイルの作成

プロファイルを作成するには、[オプション] > [新規同期プロファイル] の順に選択して、次のオプションから選択します。

- [同期プロファイル名]— プロファイルの名前を入力します。
- [アプリケーション]— プロファイルを同期するアプリケーションを選択します。
- [接続設定]— 必要な接続設定を指定します。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

カスタマイズ

モード

警告：オフラインモードでは、緊急電話番号を含む電話をかけることも受けることもできません。また、ネットワークが必要なその他の機能も使用できません。電話をかけられるようにするには、まず、モードを変更して、電話機能をオンにする必要があります。本機がロックされている場合、ロックコードを入力します。

> [ツール] > [モード] の順に選択してください。

さまざまなイベント、環境、または発信者グループに合わせて、本機の着信音や警告音などを設定およびカスタマイズできます。

モードをカスタマイズするには、カスタマイズするモードまでリストをスクロールして、[オプション] > [カスタマイズ] の順に選択してください。

次のものを設定します。

- [着信音] — リストから着信音を選択します。また、[着信音ダウンロード] を選択すると、ブックマークのリストが含まれるブックマークフォルダが開き、ブラウザを使用して着信音をダウンロードできます。選択した音を聞くには、[再生] を選択します。2 つの代替回線を使用している場合、回線ごとに着信音を指定できます。
- [テレビ電話音] — テレビ電話用の着信音を選択します。
- [発信者名を発音] — この機能をオンにすると、電話帳に登録してある人から電話がかかってきたときに、その人の名前が着信音と同時に発声されます。
- [着信音の再生方法] — 着信音をどのように鳴らすかを選択します。
- [着信音量] — 着信音の音量を選択します。
- [メッセージ受信音] — SMS を受信したときの着信音を選択します。
- [E-mail 受信音] — E-mail を受信したときの着信音を選択します。
- [バイブレータ] — 着信したときに本機を振動させるかどうかを選択します。
- [キー確認音] — 本機のキーパッド音の音量を設定します。
- [警告音] — 警告音をオンまたはオフに設定します。
- [着信通知対象グループ] — 選択した電話帳グループに属する電話番号から着信した場合にのみ、着信音を鳴らすことを設定します。そのグループ以外から着信した場合、着信音は鳴りません。

- [モード名] — 新しいモードに名前を指定するか、既存のモードの名前を変更できます。[通常] と [オフライン] のモード名は変更できません。

  [オフライン] モードは、誤って、本機の電源をオンにしたり、メールを送受信したり、あるいは、Bluetooth 無線接続を使用したりすることを防ぎます。また、このモードを選択しているときには、インターネットへの接続もできません。[オフライン] モードでは、無線 LAN への接続はできます。したがって、無線 LAN を接続および使用するときには、適用されるすべての安全策に従ってください。

モードを変更するには、変更するモードまでリストをスクロールして、[オプション] > [開始] の順に選択してください。[オフライン] モードを選択した場合、メールを送受信したり、WLAN を使用して E-mail を読んだりすることはできません。

新しいモードを作成するには、[オプション] > [新規モード作成] の順に選択して、これらを設定してください。

マナーモード

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしましょう。

- 劇場や映画館、美術館などでは、周囲の迷惑にならないように電源を切りましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないよう気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中では、社内のアナウンスや指示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーモードでは、以下の場合は無音になりません。

- Real Player でのコンテンツ再生音
- 時計のアラーム音
- 通話時のスピーカーからの音声
- ブラウザのプラグインからの音声
- カメラのシャッター音
- ビデオの録音開始・終了音

マナーモード設定

マナーモードを設定 / 解除する

マナーモードにするには、待受画面で、 を約 1 秒以上押します。

マナーモード に変更され、画面上部に表示されます。

マナーモードを解除するには、マナーモード設定中に待受画面で、 を約 1 秒以上押すと、通常モード に変更されます。
他のモードに変更する場合は、電源キーを短く押し、リストからモードを選択します。

マナーモードの設定内容を変更する

「モード」（P.137）を参照してください。

電波の送受信を停止する

オフラインモード

オフラインモード を使用すると、ネットワークに接続せずに、本機を使用することができます。オフラインモード を使用するとネットワーク接続が切断され、電波強度インジケータに「✖」が表示されます。本機ですべての無線通信ができなくなります。オフラインモードでメールを送信する場合、メールは未送信メールフォルダに保存され、オフラインモードを解除し、ネットワーク接続が可能になったときに送信されます。

警告 : オフラインモード では、緊急電話番号に電話をかけたり、ネットワーク接続が必要な機能を使用したりできません。電話をかけるには、モードを変更して電話機能を有効にします。本機がロックされている場合は、ロック解除コードを入力してから、モードを変更して電話をかける必要があります。

オフラインモードを終了する

1. 待受画面で 、電源キーを短く押します。
   モードリストが表示されます。
2. リストからオフラインモード以外のモードを選択します。
   - 無線通信が可能になります。
   - Bluetooth 無線接続がオンのときに、オフラインモード に設定すると、Bluetooth 無線接続は無効となります。オフラインモード を解除すると、自動的に Bluetooth 無線接続はオンとなります。「設定」（P.88）を参照してください。

テーマ

 > [ツール] > [テーマ] の順に選択してください。

本機の画面の外観は変更できます。画面の外観を変更するには、使用するテーマを選択して、[オプション] > [適用] の順に選択してください。

テーマを編集するには、編集するテーマを選択して、[オプション] > [編集] の順に選択します。[壁紙] を選択すると、スタンバイモードでの背景画像を変更します。[パワーセーバー] を選択すると、何もキーを押さずに一定の時間が過ぎたときに、テキストまたは日付と時刻をスクリーンセーバーとして画面に表示します。

テーマをダウンロードするには、本機と互換性があり、テーマをダウンロードできるインターネットソースとネットワーク接続する必要があります。

テーマをダウンロードするには、[テーマダウンロード] を選択してください。テーマをダウンロードするリンクを入力します。テーマのダウンロードが完了したら、起動、および編集できます。

テーマをプレビューするには、プレビューするテーマを選択して、[オプション] > [プレビュー] の順に選択します。[適用] を選択すると、新しいテーマが使用されます。

ショートカット

本機で使用できるショートカットキーを示します。ショートカットを使用すると、アプリケーションを効率的に使用できます。

一部のショートカットはアプリケーションに固有であり、すべてのアプリケーションで利用できるわけではありません。

待受画面機能拡張

左ソフトキー +	キーパッドのロックとロック解除。
開始キー	[発信履歴] を開きます。
	キーを長く押して [サービス] を開き、ウェブに接続します。
	キーを長く押してマナーモードにします。
	キーを長く押して、留守番電話サービスセンターに電話をかけます。
数字キー（ - ）	ワンタッチダイヤルを使用して電話をかけます。電話をかける前にワンタッチダイヤルをオンにする必要があります。 > [ツール] > [設定] > [通話] > [ワンタッチダイヤル] > [オン] の順に選択してください。

アプリケーション内

テキストの選択。 を長く押し、ジョイスティックを使用して右または左にスクロールしてテキストを選択	シフト + ジョイスティック
コピー	Ctrl+C
切り取り	Ctrl+X
貼り付け	Ctrl+V
やり直し	Ctrl+Z
斜体	Ctrl+I

太字	Ctrl+B
大文字と小文字を切り替える	↑ を押す

イメージビューア

画像を送信する	開始キー
縮小する	0 Mわ
拡大する	5 Gな
拡大する。全画面サイズにするには、2回押す	7 Vま
拡大した画像で左にスクロールする	4 Fた
拡大した画像で右にスクロールする	6 Hは
拡大した画像で上にスクロールする	2 Tか
拡大した画像で下にスクロールする	8 Bや
右回りに回転する	3 Yさ
左回りに回転する	1 Rあ
全画面ビューと通常ビューを切り替える	* U

サポート情報

このたびはノキアの携帯電話をお買い上げいただきありがとうございます。

ノキアのウェブ・サポートサービスをぜひご活用ください。

携帯電話の使い方を知りたい

チュートリアルでは携帯電話の特徴、シミュレーション、ヒントや使用方法を紹介しています。

http://www.nokia.co.jp/E61/support

PC と携帯電話の同期方法は？

Nokia PC suite を使ってカレンダーや連絡先が同期できます。

http://www.nokia.co.jp/pcsuite

携帯電話のソフトウェアをダウンロードしたい

ソフトウェアセクションでダウンロードできます。

http://www.nokia.co.jp/software

Nokia PC Suite には携帯電話と PC を接続してカレンダー、連絡先、音楽ファイルまたは画像の管理をしたり等、様々な機能が備わっています。

よくある質問は？

携帯電話やその他のノキア製品についてのよくある質問は FAQ セクションでご覧いただけます。

http://www.nokia.co.jp/faq

ノキアの最新情報を知りたい

ニュースメールにご登録いただければ、携帯電話の最新ニュースを中心に、ノキアに関する情報をダイレクトにお届けします。メール会員様だけにお知らせするキャンペーン情報や、プレゼント情報などの特典もいっぱいです。

http://www.nokia.co.jp/top/newsmail.shtml

詳細は http://www.nokia.co.jp/support をご覧ください。

区点コード一覧表

区点 1～3 行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010			、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						

区点 1～3 行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼

区点 1～3 行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
					【 あ 】					
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
					【 い 】					
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
					【 う 】					
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
					【 え 】					
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
					【 お 】					
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
					【 か 】					
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨

区点 1～3 行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
					【 き 】					
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均

区点 1～3 行目	区点4行目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
					【 く 】					
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
					【 け 】					
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
					【 こ 】					
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑

区点1～3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	【 さ 】									
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	【 し 】									
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	【 す 】									
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
	【 せ 】									
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
	【 そ 】									
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	【 た 】									
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
	【 ち 】									
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	【 つ 】									
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	【 て 】									
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	【 と 】									
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
	【 な 】									
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
	【 に 】									
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	【 ぬ 】									
390									濡	
	【 ね 】									
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
	【 の 】									
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
	【 は 】									
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	【 ひ 】									
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
	【 ふ 】									
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	【 へ 】									
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
	【 ほ 】									
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
	【 ま 】									
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
	【 み 】									
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
	【 む 】									
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
	【 め 】									

区点コード一覧表

区点	区点4行目									
1～3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
				【	も	】				
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
				【	や	】				
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
				【	ゆ	】				
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
				【	よ	】				
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
				【	ら	】				
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
				【	り	】				
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
				【	る	】				
466	瑠	塁	涙	累	類					
				【	れ	】				
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
				【	ろ	】				
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路

区点	区点4行目									
1～3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
				【	わ	】				
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔

区点	区点4行目									
1～3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸

区点	区点4行目									
1～3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭

区点	区点4行目									
1～3行目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚

区点 1～3行目	区点4行目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

Nokia 純正アクセサリ

本機とご利用いただけるアクセサリのバリエーションがさらに広がりました。お客様のコミュニケーションニーズに合ったアクセサリをお選びください。本機に対応するアクセサリについていくつかここでご紹介します。

注）こちらでご紹介している製品の外観、仕様は予告なく変更されることがあります。ご了承ください。

本機対応のアクセサリリスト：

オーディオ

Nokia Boom Headset HDB-4

Nokia Fashion Stereo Headset HS-3

Nokia Wireless Boom Headset HS-4W

Nokia Bluetooth Headset BH-200

Nokia Bluetooth Headset BH-700

車載キット

Nokia Advanced Car Kit CK-7W

Nokia Mobile Charger DC-4

データ

Nokia Connectivity Cable CA-53

電源

Nokia Travel Charger AC-4

Nokia Battery BP-5L

アクセサリのご購入については、製品お買い上げ店に確認してください。アクセサリのご使用にあたっては、次の注意事項をお守りください。

- お子様の手の届く所に置かないでください。
- アクセサリの電源コードを外す際は、コードではなくてプラグを持って抜いてください。
- 車内の携帯電話機器は､適切に取り付けられ､正常に動作しているか定期的に確認してください。

Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。それ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、危機が及ぶ場合があります。

電池

タイプ	仕様	連続通話時間 #	連続待受時間 #
BP-5L	Li-Ion	最大約 300 分 (WCDMA) 最大約 570 分 (GSM)	最大約 456 時間

USIM カード、ネットワークおよび使用設定、使用方法、環境によって、連続通話時間および連続待受時間が異なる場合があります。

Nokia Wireless Boom Headset HS-4W

スタイリッシュなデザインのワイヤレスヘッドセットです。Bluetooth 無線技術に対応している本機をはじめ互換性のある電話機にも対応しています。これにより移動中でもオフィスでも自由にハンズフリー通話ができます。

Nokia Digital Pen SU-1B

デジタルペンでカラフルで個性的なメッセージを作成し、互換性のある電話機に Bluetooth 無線技術で送信したり、MMS で転送したりできます。デジタルペンで書いた内容を互換性のある PC に保存することもできます。

Nokia Advanced Car Kit CK-7W

Nokia Advanced Car Kit を利用すると､車内でハンズフリーの通話をすることができます。本アクセサリは、Bluetooth 無線技術を使用しており、様々な種類の互換性のある電話機との通信に幅広く対応します。

主要機能：

- ハンズフリー通話
- ２種類の接続オプション：
- Bluetooth 接続および､Pop-Port™を利用したケーブル接続
- リモートコントロールボタンを利用した通話操作や音量調節
- カーラジオミュート機能
- 外部ラウドスピーカー出力
- オーディオ音声出力
- ボイスタグ呼出機能 - 電話機からのサポートが必要

Nokia Travel Charger AC-4

高速で効率よく電話機の電池を充電できます。頻繁に旅行される方に適した、旅行に便利な多電圧対応の充電器です。

注意：プラグのタイプは地域によって異なります。

本書に記載されているアクセサリは、国､（または使用地域）によってはお取り扱いしていない場合があります。

電池について

本機は、充電できる電池を電源として使用しています。新しい電池を使用する際には、完全充電と放電のサイクルを 2、3 回繰り返すと、完全に充電できるようになります。電池は数百回充電と放電を繰り返すことができますが、次第に消耗します。使用時間（通話時間と待受時間）が極端に通常より短くなった場合は、電池を取り替えてください。Nokia 認定の電池以外は使用しないでください。また、Nokia 認定の充電器以外を用いて電池の充電をしないでください。

充電器を使用していないときは、コンセントから外してください。過充電は電池の寿命を短くする場合がありますので、充電が完了した電池を充電器に接続したまま放置しないでください。完全に充電された電池は使用しなくても徐々に放電します。

電池が完全になくなった状態で充電を開始すると、充電中を示すインジケータが画面に表示されるまで、または電話がかけられるようになるまで数分かかる場合があります。

本来の目的以外にこの電池を使用しないでください。損傷した充電器または電池を使用しないでください。

電池をショートさせないでください。金属物（コイン、クリップ、またはペン）が電池の金属部分のプラス端子およびマイナス端子（電池の金属部分）に直接接続した場合、偶発的に電池がショートすることがあります。このような事故は、ポケットまたは財布に予備のバッテリーを携帯している場合などに起こる可能性があります。端子をショートさせると、電池または接続物が損傷することがあります。

夏の閉め切った車中や寒い冬の日など、高温または低温の場所に電池を放置しておくと、電池の容量と寿命が短くなります。電池は常に 15 ℃ ～ 25 ℃（59 °F ～ 77 °F）の温度範囲で保管するようにしてください。高温または低温状態の電池は、完全に充電されていても取り付けたときに一時的に本機が動作しない場合があります。0 ℃ 以下では、電池の性能が著しく制限されます。

爆発する可能性があるため、火の中へは絶対に電池を投げ込まないでください。電池は、リサイクル処分など地域の条例に従って処理してください。一般廃棄物として廃棄しないでください。

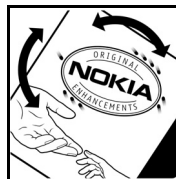
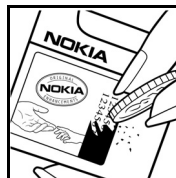
Nokia 純正電池の認証確認

安全のため、必ず Nokia 純正電池をお使いください。Nokia 純正電池を確実に入手できるよう、電池は Nokia の指定販売店から購入してください。パッケージの Nokia Original Enhancements ロゴを確認し、次の手順に従って電池のホログラムラベルを確認してください。

次の手順どおりに確認しても、電池の認定が必ず保証されるわけではありません。電池が Nokia Original Enhancements 認定を受けていない疑いがある場合は、直ちに使用を中止し、ハローノキア (0570-0-66542) にご相談ください。

認証ホログラムでの確認方法

1. 電池に付いているホログラムのラベルを確認します。見る角度に応じて、2 つの手のイラストまたは Nokia Original Enhancements ロゴが映し出されます。

2. ホログラムを傾けると、ロゴの周囲にドットが見えます。ドットは、ロゴの左側に 1 つ、右側に 2 つ、下に 3 つ、上に 4 つあります。

3. ラベルのスクラッチ部分を削って電池に付いている 20 桁の認証コードを確認します（例：12345678919876543210）。20 桁の認証コードは、上の段の数字に下の段の数字を続けたものです。

4. 20 桁のコードが有効なものかどうかは、www.nokia.co.jp/batterycheck にあるインストラクションで確認できます。

SMS（ショートメッセージ）に 20 桁のコード（例：12345678919876543210）を入力し、宛先「+61 427151515」に送信します。

SMS の通信には、通信事業者の SMS 料金がかかります。

SMS を送信後、認証コードが有効かどうかを知らせるメッセージが返信されます。

（注 1）: 通信事業者によっては SMS による確認を行うことが出来ない場合があります。

電池が認定を受けていない場合

ご使用になられている電池のホログラムラベルで、Nokia 純正電池の認証が確認できなかった場合は、電池の使用を中止してください。製造者の承認を受けていない電池の使用は危険な場合があり、性能の劣化および機器やアクセサリの破損に及ぶ場合もあります。また、機器の認証や保証が無効となる場合があります。

Nokia 純正電池について詳しくは、www.nokia.co.jp/batterycheck を参照してください。

注意：SMS による認証コードの確認および送信された携帯電話番号等の個人情報の管理はノキアのオーストラリア法人（NOKIA AUSTRALIA PTY LTD）およびシンガポール法人（NOKIA PTE LTD）にて行います。

ノキア製品の安全・安心な使用のため、非純正電池をお使いの場合には、ノキアよりお客様にご連絡を差し上げる場合もございますのであらかじめご了承ください。

お手入れとメンテナンス

本機の製造には、優れたデザインと技術が採用されています。お取り扱いには十分ご注意ください。保証の対象範囲をお守りいただけるよう、次の記載事項をお読みください。

- 湿気のある場所に置かないでください。雨水、湿気、および液体はミネラルを含み、電気回路を腐食させます。本機が濡れた場合、電池を取り外し、本機を完全に乾かしてから取り付けてください。
- ほこりが多く、清潔でない場所で使用または保管しないでください。電話機の可動部と電子部品が損傷することがあります。
- 高温の場所で保管しないでください。高温状態では、電子機器の寿命を短くするだけでなく、電池が損傷したり、特定のプラスチック部品が変形したり、溶けたりする原因となります。
- 低温の場所で保管しないでください。電話機を通常の温度まで暖めると、本体の内部に結露が発生し、電気回路基板に損傷をきたすことがあります。
- 本書で指示された以外の方法で本機を分解しないでください。
- 本機を落としたり、たたいたり、振ったりしないでください。手荒に扱うと、内部の回路基板と優れた構造に損傷をきたすことがあります。
- 本機のお手入れをする場合、刺激の強い化学薬品、洗浄液、または強い洗剤を使用しないでください。
- 本機を塗装しないでください。塗装すると装置の可動部を詰まらせ、適切に動作しなくなることがあります。
- レンズ（カメラレンズ、近接センサー、ライトセンサーレンズ等）のお手入れには、柔らかくて清潔な、乾いた布をお使いください。
- 付属の、または Nokia が認定した交換アンテナのみを使用してください。無許可のアンテナ、改造、付属品の取り付けは、電話機の損傷の原因となり、無線装置についての規定に違反する場合があります。
- 屋内で充電してください。
- 本機をサービス機関に送るときは、電話帳やカレンダーなどのデータのバックアップを必ず作成するようにしてください。

これらの注意事項は、電話機の本体、電池、充電器、またはその他のアクセサリすべてに適用されます。適切に動作しない機器がある場合は、製品お買い上げ店までご相談ください。

安全についての追加情報

本機やアクセサリには、小さな部品がついています。小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

操作環境

本機の利用について特別な規則がある場所では、それらの規則に従ってください。本機の使用が禁止されている、または電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。本機を通常の操作位置以外で、ご使用にならないでください。本機は、通常の耳元での操作位置、または人体から最低 2.2cm 離した位置で使用された場合に RF 暴露のガイドラインに適合します。本機をキャリーケース、ベルトクリップ、またはホルダーとともに人体に身に付ける場合は、金属製物質と一緒に身に付けず、本機が人体から最低 2.2cm 離れたところに位置するようにしてください。

データファイル、またはメッセージを転送するために、本機はネットワークとの状態の良い接続を必要とします。場合によっては、データファイル、またはメッセージの転送は、ネットワークの状態が良くなるまで遅れることがあります。転送が完了するまで本機が人体から 2.2cm 離れていることを確認してください。

本機は磁気部品を使用しており、金属物が本機に引き寄せられる場合があります。本機の近くにクレジットカードや、その他の磁気記憶媒体を置かないでください。記憶された情報が消去されてしまうことがあります。

医療機器

携帯電話を含む無線送信機の動作は、十分に保護されていない医療機器の機能を妨害する可能性があります。医療機器が外部の RF 信号から十分に遮蔽されているかを判断する際、またはご不明な点がありましたら、医師または医療機器メーカーにご相談ください。医療施設などで本機の電源を切るよう規則が掲示してある場合は、その指示に従ってください。病院または医療施設では、外部の RF 信号に対して感度の高い電気医療機器を使用している場合があります。

ペースメーカー

ペースメーカー製造業者は、ペースメーカーの誤作動を防ぐため、携帯電話をペースメーカーから 15.3cm 以上離すことを勧めています。以下の勧告は、「Wireless Technology Research」が独自に行った研究に基づいて推奨されるものです。ペースメーカーを装着されている方は、次の事項を守ってください。

- 常に本機をペースメーカーから 15.3cm 以上離してください。
- 胸ポケットに本機を入れて持ち運ぶのはおやめください。
- ペースメーカーの誤作動を最小限にするため、ペースメーカーを装着している側の反対の耳で本機をご使用ください。
- ペースメーカーの誤作動が疑われる場合は、すぐに本機の電源を切り、本機を離れたところに置いてください。

補聴器

デジタル無線機が一部の補聴器の動作を干渉する場合があります。万が一、そのような干渉があった場合は、ご契約されているサービスプロバイダまでご相談ください。

乗り物

RF 信号は、適切に取り付けられていない、または十分に遮蔽されていない自動車の電子装置（電子燃料噴射システム、電子アンチロックブレーキ装置、電子速度制御装置、およびエアバック装置など）に影響を与える場合があります。詳しい情報につきましては、自動車および追加装備した装置のメーカー、または代理店にご確認ください。

資格を有するスタッフ以外は、本機の修理、または自動車への本機の取り付けをしないでください。誤った取り付けや修理は危険を伴うことがあるだけでなく、本機に適用されるすべての保証が無効になる場合があります。車内の無線機は、適切に取り付けられ、正常に動作していることを定期的に確認してください。可燃性の液体、ガス、または爆発性物質を、本機、その部品、またはアクセサリと一緒に車内に保管、または持ち運ばないでください。エアバックを装備した自動車では、エアバックが強い力で膨らみます。エアバックの上の部分、またはエアバックが膨らむ範囲に、固定無線機と移動無線機の両方を含めて、物を置かないでください。車内の無線機が適切に取り付けられていない場合、エアバックが膨らんだときに重傷を負うことがあります。

飛行中に本機を使用することは禁止されています。航空機に搭乗する前に本機の電源を切ってください。航空機内で携帯電話を使用すると、航空機の操作に危険をもたらし、無線通信が混信する原因にもなります。また機内での携帯電話の使用は違法となる場合もあります。

爆発の危険がある場所

爆発の危険がある場所では、本機の電源を切り、すべての標識や指示に従ってください。爆発の危険がある場所とは、通常自動車のエンジンを停止するよう指示されている場所を含みます。そのような場所で発生する火花は、爆発または火災の原因となり、怪我や死につながる恐れがあります。ガソリンスタンドのガソリンポンプの近くといった給油地点では、本機の電源を切ってください。給油箇所、燃料貯蔵、燃料販売場所、化学工場、または爆破作業が行われている現場での無線機の使用に関する規制に従ってください。爆発の危険がある場所は、たいていの場合は明確に表示されていますが、常にそうであるとは限りません。そのような場所としては、船のデッキの下、化学物質の搬送または保管施設、液化石油ガス（プロパンまたはブタン等）を使用する自動車、大気中に結晶粒、ほこり、または金属粉末といった化学物質または微粒子が含まれる場所があります。

緊急通報

重要：他の携帯電話と同じように、本機は無線信号、無線ネットワーク、有線ネットワーク、およびお客様によってプログラムされた機能も使用しているため、すべての条件で接続を保証できるものではありません。従って、救急車を呼ぶ場合といった非常に重要な連絡には、無線機だけに頼らないようにしてください。

緊急電話番号に電話をかけるには

1. 本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。電波が十分に届いていることを確認してください。

   ネットワークによっては、有効な SIM カードを電話機に挿入するよう要求される場合があります。
2. 必要な数だけ終了キーを押して画面をクリアし、電話がかけられる状態にします。
3. 現在いる地域の緊急電話番号を入力します。地域によって緊急電話番号は異なります。
4. 開始キーを押して電話をかけます。

使用中の機能によっては、緊急電話番号に電話をかける前に機能を終了する必要があります。本機がオフラインモードまたはフライトモードの状態で緊急電話番号に電話をかけるには、モードを変更して電話の機能を有効にする必要があります。詳細は本書を参照の上、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

緊急電話番号に電話をかける場合、必要な情報をできる限り正確に伝えることを心がけてください。事故現場では、お客様の無線機が唯一の通信手段となる場合があります。指示があるまでは電話を切らないでください。

証明情報 - 携帯電話機の比吸収率（SAR）

このモデルの携帯電話は、電磁波暴露に関するガイドラインに適合しています。

本機は無線送受信機です。本機は、国際ガイドライン推奨の電磁波暴露限度を超えないよう設計されています。これらのガイドラインは、独立科学機関 ICNIRP によって策定されており、年齢や健康状態に関係なく、すべての人の安全を確保するのに十分な安全率を含んでいます。

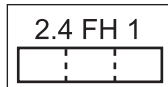
携帯電話の暴露基準には、SAR（比吸収率）という測定単位を採用しています。ICNIRP ガイドラインで指定される SAR 限度は、生体組織 10g あたり 2.0W/kg（ワット / キログラム）です。SAR 試験は、すべての試験周波数帯において通常の電話機の操作位置で、認証を受けた最大送信電力で行われます。操作中の電話機の実際の SAR レベルは、その最大値を下回る値となります。これは、ネットワークとの通信に必要最小限の送信電力となるように、電話機が設計されているためです。実際の値は、基地局にどのくらい近い位置にいるか等といった様々な要因によって異なります。本機を耳元で使用した試験の場合、ICNIRP ガイドラインに基づいた SAR の最大値は、0.79W/kg です。デバイスアクセサリやアクセサリの使用は、異なる SAR 値になる場合があります。SAR 値は、各国の報告要件、試験要求事項、およびネットワークの帯域によって異なる場合があります。SAR の追加情報については、www.nokia.com にある製品情報でご覧ください。

Bluetooth、無線 LAN 機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
3. その他、不明な点や何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先：ハローノキア
0570-0-66542
http://www.nokia.co.jp/

2.4 FH 1

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。

変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定与干渉距離は 10m 以下です。

2.4OF · DS 4

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。

変調方式として OFDM 方式及び DS-SS 方式を採用しています。想定与干渉距離は 40m 以下です。

索引

ら

り

る

ろ

わ

保証とアフターサービス

保証について

X01NK 本体をお買い上げいただいた場合は保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、ソフトバンクは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「サポート情報」(P.143)を参照の上、もう一度お確かめください。

それでも異常がある場合はご契約いただいた各地域の故障受付 ⇒ P.167

または最寄のソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター

総合案内：
ソフトバンク携帯電話から 157(無料)

紛失・故障受付：
ソフトバンク携帯電話から 113(無料)

ソフトバンク国際コールセンター

海外からのお問合せおよび盗難・紛失のご連絡

+81-3-5351-3491(有料)

一般電話からおかけの場合

- 北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県

総合案内	0088-240-157（無料）
紛失・故障受付	0088-240-113（無料）

- 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県

総合案内	0088-241-157（無料）
紛失・故障受付	0088-241-113（無料）

- 大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県

総合案内	0088-242-157（無料）
紛失・故障受付	0088-242-113（無料）

- 広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

総合案内	0088-250-157（無料）
紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

ソフトバンクで取り扱いのないアクセサリのお問い合わせは、ノキアコンタクトセンター「ハローノキア」までご相談ください。

ハローノキア
TEL:0570-0-66542
メール : http:// www.nokia.co.jp/asknokia